

2025 年度

教育・研究業績報告集

神戸女学院大学 専任教員

2026 年 6 月発行

神戸女学院大学 学長室 (FD センター)

TEL (0798) 51-8582

目次

国際学部 英語学科

教授

Nathaniel CARNEY.....	1
松尾 歩.....	2
白井 由美子.....	4
和氣 節子.....	6
James G. WONG.....	7
山内 理恵.....	8

准教授

Susan E. JONES.....	9
古東 佐知子.....	11
中村 昌弘.....	12

国際学部 グローバル・スタディーズ学科

教授

Shawn BANASICK.....	14
山崎 幸治.....	15
米川 正子.....	17

准教授

南出 和余.....	19
瀬戸 智子.....	21
Goran VAAGE.....	23

文学部 総合文化学科

教授

岩間 文雄.....	25
景山 佳代子.....	26
金田 知子.....	27
川瀬 雅也.....	30
河島 真.....	32
桐生 裕子.....	34
北川 将之.....	35
小林 隆道.....	37
藏中 さやか.....	38
栗山 圭子.....	40
三木 順子.....	41

三杉 圭子	43
中野 敬一	45
奥野 佐矢子.....	46
清水 学.....	48
建石 始.....	49
准教授	
傅 喆.....	51
藤岡 達磨	53
大澤 香.....	54
朴 秀娟.....	55
戸江 哲理	58
専任講師	
佐藤 園子	59
田村 美由紀.....	61
音楽学部 音楽学科	
教授	
Xavier John LUCK.....	63
松本 薫平	71
松浦 修.....	74
なかにし あかね.....	78
岡田 将.....	81
佐々 由佳里.....	82
島崎 徹.....	85
准教授	
古田 昌子	87
稲本 渡.....	89
崎谷 明弘	92
心理学部 心理学科	
教授	
石谷 真一	95
木村 昌紀	97
小林 知博	100
須藤 春佳	102
鶴田 英也	105
矢野 円郁	107
吉益 光一	109

准教授	
西嶋 雅樹	111
若佐 美奈子	113

専任講師	
文山 知紗	116
宮脇 英子	117

生命環境学部 生命環境学科

教授	
上 泰	118
三宅 志穂	121
中川 徹夫	124
佐藤 友亮	128
高橋 大輔	130
高岡 素子	132
横田 弘文	134

准教授	
西海 信	135

専任講師	
高林 裕	137
高木 俊人	139

体育研究室

教授	
小坂 美保	142

准教授	
安田 友紀	146

共通英語共通教育センター

教授	
Margaret KIM	147

准教授	
田岡 千明	149

- ・掲載対象は2026年4月の在職教員（職名は2025年4月時点）
- ・新任教員は除く。
- ・学科、アルファベット順

Nathaniel CARNEY

学位						
B.A., M.A., MET, Ph.D.						
専門分野						
Education/Applied Linguistics						
研究課題						
Education/Applied Linguistics						
教育活動						
<u>担当授業 (大学)</u>						
English I ,English III ,Studies of Language Use,Semantics II ,Graduation Thesis Seminar I ,Graduation Thesis Seminar II , クローバーゼミ						
<u>担当授業 (大学院)</u>						
-						
研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
"Second language listening and connected speech"	2026.1.10	<i>Routledge Handbook of AI and World Language</i>	共	pp. 429-442		
学術論文						
学会発表						
"Personalized Vocabulary Learning with Google Sheets"	2025.7.19	JALTCALL 2025	単			
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
社会貢献活動						
公開講座						
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名等					
海外での活動						
期間	国名	概要				

松尾 歩

学位						
文学士, M.A., Ph.D.						
専門分野						
言語学						
研究課題						
第1言語習得						
教育活動						
<u>担当授業 (大学)</u>						
Introduction to Japanese Culture, Introduction to Linguistics I, Introduction to Linguistics II, Syntax, Psycholinguistics, Graduation Thesis Seminar I, Graduation Thesis Seminar II						
<u>担当授業 (大学院)</u>						
統語論演習, 言語学特論						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
ダウン症当事者による講演会企画		2月6日	E359心理言語学者履修生	障がいのある方の言語習得についての講演会		
障がい者の生活、自治体の支援について：日英の比較		6月20日	芦屋市	イギリス視察団、および玉井浩医師、竹田契一医師、高島芦屋市長とのワークショップ		
KCSSES: 神戸女学院英語英文学会企画		10月31日	英文学科の職員、学生	今年度は言語学のテーマで大学院生2名と関西学院大学下谷奈津子先生に日本手話についての講演を賜った		
研究活動						
名称		発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等	
著書・CD						
学術論文						
Novel Compound Nouns in English and Japanese: Grammatical but awkward in Japanese (査読あり)		2025.6.25	Word Formation Theories VII Typology and Universals in Word Formation VI	共	共著Giulio Chferri-Muramatsu, Yasuhiro Kido, and William Snyder / pp.41-42	
学会発表						
Novel Compound Nouns in English and Japanese: Grammatical but awkward in Japanese		2025.6.25	Word Formation Theories VII Typology and Universals in Word Formation VI	共	共著Giulio Chferri-Muramatsu, Yasuhiro Kido, and William Snyder / 口頭発表	
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル		助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度 終了年度
学内研究助成金						
日本語マッカーサー乳幼児言語発達質問紙を用いた文法指標の算出		研究助成(総額)		代	300	
産官学連携						
Setting Child's Linguistic Parameters		コネチカット大学		代	-	

学会役員				
就任期間	学会役員名			
2018.9.01-現在	日本英語学会、評議員			
社会貢献活動				
公開講座				
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名等			
海外での活動				
期間	国名	概要		
2025.8.3-10	イギリス	イーストアングリア大学との交換留学提携の話し合い		

白井 由美子

学位			
文学士, P.G.Diploma, M.A.			
専門分野			
英語教育			
研究課題			
英語科教授法, 早期英語教育, 誤答分析			
教育活動			
担当授業 (大学)			
初期神戸女学院, English Proficiency, Graduation Thesis Seminar I, Graduation Thesis Seminar II, 英語科教育法 I, 英語科教育法 II, 英語科教育法 III, 英語科教育法 IV, 教職実践演習(中・高), 教育実習 I			
担当授業 (大学院)			
-			
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要
教育実習事前指導・反省会	2025.05.15 2026.01.22	英文学科教育実習生	2025年度に教育実習に行く英文学科の学生を対象に、事前指導を行い、教育実習に対する姿勢、心構えを改めて指導した。また、実習後の反省会も行い、今後教職についた時の意識を高める機会とした。
保護観察官を招いての講義	2025.10.30	英文学科教職課程3年次、4年次学生	学校現場での様子や今の社会で起きている若者の問題について、また、その問題を起こした若者がどのように更生していくのか等、話を聞いた。
帝塚山学院中学校1年生への体験授業	2025.11.22	教職課程履修中の英文学科4年次学生4名と帝塚山学院中学校1年生90名	英文学科教職課程履修中の4年次学生が、本学にて帝塚山学院中学校1年生90名の生徒を対象に、クイズ形式で本学のことを学べる授業を行った。準備のために事前に数回指導を行った。
日ノ本学園高等学校1年生への大学紹介	2025.12.09	英文学科4年次ゼミ生	本学を訪問した日ノ本学園高等学校1年生に対して、大学での学びや大学についてプレゼンを行った。
OG教員を招いての授業	2026.01.11	英文学科教職課程3年次、4年次学生	英文学科教職課程科目(英語科教育法、教職実践演習)に、本学を卒業して、教諭として教壇に立っているOG教員に来ていただき、現場での様子を話していただいた。
総合型選抜試験、指定校推薦合格者のための国際学部交流会	2026.02.04	総合型選抜試験合格者、及び、指定校推薦合格者	総合型選抜試験、及び、指定校推薦合格者のために、国際学部が開催する交流会にて、TOEICの学習の仕方を伝えた。入学前にクラス分け試験として、TOEICを受験することから、すぐに準備を始められるよう学習に必要なことを話すと同時に、激励をした。
教職志望学生への指導	2025年度	英文学科学生	教員志望の学生に対して、教員採用試験や、講師登録の仕方について指導した。(2025年度は、公立中学校常勤講師1名という結果になった。)
英語科教育法における模擬授業のための指導	2025年度後期	英語科教育法履修中の学生	中学、高校用の模擬授業のためのレッスンプランを各自に作成させる前に、コンサルテーションを、そして作成後には、それぞれのレッスンプランを最低2回ずつチェックし、よりよいレッスンプランを作成するために授業時間外にも個別指導を行った。また、模擬授業後も個人面談を行い、授業方法の向上について話し合った。
卒業論文作成に関するケア	2025年度後期	英文学科4年次ゼミ生	卒業論文がはかどらない学生に対して、重点的に指導を行った。

研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
2025.04.01-現在	大学英語教育学会(JACET)関西支部研究企画委員					
社会貢献活動						
公開講座						
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要		
西宮苦楽園高等学校「キター！WakuWaku楽園祭」	2026.03.09	兵庫県立西宮苦楽園高等学校	単	探究発表会コメンテーター		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名等					
1997.04-現在	日本英語検定協会英語検定試験面接委員					
2013.05-現在	アカデミック英語能力判定試験(TEAP)連絡協議会参加大学委員					
2017.04-現在	社会福祉法人ソフィア福祉会 パラホーム保育所評議員					
その他社会活動上特記すべき事項						
2010.07-現在						
<p>西宮市立山口小学校、西宮浜義務教育学校で教職課程4年次学生が英語活動ボランティアとして活動を行っている。その事前指導、同行指導を行った結果、学生が大変良い活動を行い、校長先生や先生方、また、保護者からも高い評価を得ていることが分かった。活動を体験した児童も「また英語を習いたい」と活動の継続を希望している。実際に、外国からの学校への客人に対しても気さくに話しかける児童の様子が見られる等、英語活動の効果についても校長先生から伺っている。来年度も今年度に引き続き活動をさせていただくことになっており、このボランティア活動は地域貢献、社会貢献につながる活動であると言える。</p> <p>また、活動を通して、学生も教えることに対する意識を深め、多くのことを学んでいる。実際に卒業後、この活動に携わった学生の多くが教職の道に進んでおり、小学校にとっても、学生、大学にとってもプラスの関係を築くことができている。</p>						
海外での活動						
期間	国名	概要				

和氣 節子

学位					
文学士, 文学修士, 博士 (文学)					
専門分野					
イギリスロマン派文学・思想					
研究課題					
S.T.Coleridgeにみられるプラトニズム, 比較思想 (ドイツ観念論や密教とイギリスロマン主義の接点), 英文学と聖書, 環境文学					
教育活動					
<u>担当授業 (大学)</u>					
Role Play Workshop, Romantic Literature and Culture, Poetry and Poetics, Graduation Thesis Seminar I, Graduation Thesis Seminar II					
<u>担当授業 (大学院)</u>					
-					
研究活動					
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等	
著書・CD					
学術論文					
学会発表					
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)					
研究タイトル	助成金種類、支給元	代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金					
学会役員					
就任期間	学会役員名				
2014.4-現在	日本英文学会関西支部役員				
社会貢献活動					
公開講座					
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要	
学外機関委員等					
就任期間	機関名・委員名・役職名等				
海外での活動					
期間	国名	概要			

James G. WONG

学位						
San Francisco State University, MA : TESL/TEFL; University of California, Berkeley, BA: History						
専門分野						
英語教育学						
研究課題						
言語学習の動機づけ						
教育活動						
<u>担当授業 (大学)</u>						
English II ,Advanced Writing,English III,Academic Writing,Academic Writing,2nd Language Acquisition,Syntax II ,Graduation Thesis Seminar I ,Graduation Thesis Seminar II						
<u>担当授業 (大学院)</u>						
-						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
English Zone Coordination		Spring/Fall				
Course Coordination E140ab, E244ab		Spring/Fall				
研究活動						
名称		発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等	
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル		助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度 終了年度
学内研究助成金						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
社会貢献活動						
公開講座						
講座名、講演名		年月	場所	単/共	概要	
学外機関委員等						
就任期間		機関名・委員名・役職名等				
海外での活動						
期間		国名	概要			

山内 理恵

学位						
学士（文学士），修士（英文学），Master of Arts（English Language in Literary Studies），Master of Arts（English Literature），博士（学術）						
専門分野						
イギリス文学						
研究課題						
Victorian and 20th century British literature (The Bronte Sisters, D. H. Lawrence, etc.)						
教育活動						
担当授業（大学）						
Introduction to Literature I, Introduction to Literature II, Victorian Literature and Culture, British Literature and History, Comparative Literature, Graduation Thesis Seminar I						
担当授業（大学院）						
-						
研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
「繰り返された<越境>-D. H. ロレンスの人生と創作」	2026年3月23日	日本ブロンテ協会関西支部2026年大会	単	シンポジウムの中での発表。		
学外研究助成金						
(支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
2025年4月1日-現在	日本ブロンテ協会関西支部運営委員					
2025年4月1日-現在	日本ブロンテ協会評議員					
社会貢献活動						
公開講座						
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名等					
海外での活動						
期間	国名	概要				

Susan E. JONES

学位				
B.S.S., M.A.				
専門分野				
Translation				
研究課題				
Children's Literature in Translation, Media Translation, Teaching Translation, Machine Translation				
教育活動				
担当授業 (大学)				
Introduction to Japanese Culture, Translation I, Translation: Theory and Technique II, Graduation Thesis Seminar I, Translation Theory and Technique (III), Graduation Thesis Seminar II				
担当授業 (大学院)				
翻訳の理論と実践 II				
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要	
"Discover Bunraku" 観覧	2025.6	留学生	Cu226日本文化受講生を国立文楽劇場に見学	
教育実習の見学	2025.6	4年生ゼミ生1名	東洋大学附属姫路中学校でゼミ生の教育実習を見学	
いたばし国際絵本翻訳大賞の課題指導	2025.10-11	3年生ゼミ生3名	いたばし国際絵本翻訳大賞に参加した絵本翻訳について指導	
Nisei Veteran's Memorial Center ウェブサイト翻訳	2025.10-2026.1	通訳翻訳プログラム3年生	アメリカ人二世兵士記念センター (ハワイ・マウイ島) のウェブサイトの一部を翻訳実践	
"Collaborative Online International Learning"	2025.11	文学研究科 英文学専攻 通訳・翻訳コース 院生 3名	モナッシュ大学 (オーストラリア) ・リーズ大学 (イギリス) と共同教育を指導。	
「英語で稼ぐ! ? 実務翻訳者のキャリアとAI時代のホントのところ」講演	2025.11	全大学生にオープン	加藤祥子氏を招いて講演を行う手配	
研究活動				
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等
著書・CD				
スギヤマカナヨ作『いちにのさん!』翻訳	2025.7.7	童心社	共	原文: スギヤマ カナヨ、他言語翻訳: 唐 亜明、田崎 広野、大竹 聖美、栗原 陽紀、Angel Tuason、Jose Koueti Aizawa、野津 治仁、F. Javier de Esteban Baquedano
学術論文				
学会発表				
"AI in Translation: Friend or Foe?"	2025.5.10	IJET-33 (International Japanese-English Translation Conference)	単	

その他の研究発表、演奏					
翻訳者座談会 「赤ちゃんを楽しむ絵本の文とオノマトペ～「びろーん！」や「しゅぽ！」どう翻訳する?～」	2025.10.17	Book House Café(東京)	共	スギヤマカナヨさん(日本語)、唐亜明さん(中国語)、大竹聖美さん(韓国語)、Jose Koueti Aizawaさん(ポルトガル語)、野津治仁さん(ネパール語)、田崎広野さん(ベトナム語)	
"Susan Jones on Translating a Multilingual Picture Book"	2025.11.17	SCBWI Japan Blog	共	『いちにのさん!』翻訳についてインタビューされた	
学外研究助成金					
(支給額は当該年度の直接経費配分額)					
研究タイトル	助成金種類、支給元	代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金					
その他(著書、学術論文以外)の執筆および訳書					
"Lisa Wilcut on Translating a Bilingual Picture Book"	2025.7.28	SCBWI Japan Translation Blog	単		
学会役員					
就任期間	学会役員名				
社会貢献活動					
公開講座					
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要	
学外機関委員等					
就任期間	機関名・委員名・役職名等				
2023.1.1-現在	Society of Children's Book Writers & Illustrators Japan・翻訳コーディネーター				
2021.1.1-現在	Society of Writers, Editors, & Translators・運営委員				
その他社会活動上特記すべき事項					
2025.4-3月 "Found in Translation" 文学翻訳サークル運営					
2025.6-10月 第16回 神戸女学院大学 絵本翻訳コンクール運営、審査、受賞者の集い					
海外での活動					
期間	国名	概要			

古東 佐知子

学位						
修士（言語文化学）, M.A., 博士（言語文化学）						
専門分野						
アメリカ文学						
研究課題						
アフリカ系アメリカ人の文学、ポストコロニアル批評						
教育活動						
<u>担当授業（大学）</u>						
Role Play Workshop, Introduction to Literature I, Introduction to Literature II, Modern Literature and Culture, American Literature and History, Graduation Thesis Seminar I, Graduation Thesis Seminar II						
<u>担当授業（大学院）</u>						
-						
研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
アフリカ系アメリカ人の文学から考える マイノリティと排外主義	2026.12.21	多民族研究学会第44回全 国大会（九州アメリカ文 学会・多民族研究学会	単	研究発表とトークセッション「<排 外主義>の時代における人文学」の 登壇		
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
アフリカ系のディアスポラ作家達による モダニズム形成	日本学術振興会科学研究費補助金 若手研 究		代	200	2023	2026
学内研究助成金						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
2025.4-2027.3	日本アメリカ文学会関西支部役員・地区委員（神戸）					
2019.8-現在	多民族研究学会・大会運営委員					
社会貢献活動						
公開講座						
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名等					
海外での活動						
期間	国名	概要				

researchmap ; <https://researchmap.jp/sakoto>

中村 昌弘

学位						
学士（法学），修士（法学）						
専門分野						
神経生物学, 通訳学・通訳教育学						
研究課題						
三叉神経の運動感覚に関する解剖・生理学的研究, 情報デザインとしての通訳, 分析力・理解力・表現力を高める通訳教育						
教育活動						
<u>担当授業（大学）</u>						
Interpreting I ,Interpreting: Theory and Technique II ,Interpreting: Theory and Technique III,Business Interpreting,Graduation Thesis Seminar I ,Graduation Thesis Seminar II ,クローバーゼミ						
<u>担当授業（大学院）</u>						
翻訳理論・教授法Ⅰ,逐次通訳演習Ⅰ,逐次通訳演習Ⅱ,同時通訳演習Ⅰ,同時通訳演習Ⅱ,通訳実践特別講義						
その他教育活動上特記すべき事項						
	年月	対象者	概要			
Kotoba Keeper手帳制作	2026年3月	通訳・翻訳プログラム履修者	Jones先生の発案で、プログラム履修者が自分のためだけに自分で作る単語帳を伊藤手帳に依頼して制作した。入稿用のデータをAdobe社のInDesignを用いて作成した。			
研究活動						
	名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等	
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
	研究タイトル	助成金種類、支給元	代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金						
学会役員						
	就任期間	学会役員名				
社会貢献活動						
公開講座						
	講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要	
	『AIと英語と笑いと新たな自分』	2026.9.23	L-28教室	共	大人世代の女性向けに（社会人入学を促すべく）、国際学部トークイベントを企画・開催した。Carney先生、Jones先生、Vaage先生にも登壇してもらった。	
学外機関委員等						
	就任期間	機関名・委員名・役職名等				
その他社会活動上特記すべき事項						
2025.6.2-10月 絵本翻訳コンクール（募集要項作成、応募方法解説動画作成、SNS告知、審査、受賞者の集い開催）						

海外での活動		
期間	国名	概要

Shawn BANASICK

学位						
B.A., M.A., Ph.D.						
専門分野						
International Relations						
研究課題						
US-Japan security agreement, regional development, US military bases in Okinawa, Q methodology						
教育活動						
<u>担当授業 (大学)</u>						
Tutorial for Exchange Student, International Relations, Topics in International Relations, Graduation Thesis Seminar I , Graduation Thesis Seminar II , Life Skills for a Global World, Sustainability and Data Literacy, Field Study in Global Cities, Field Study in Okinawa, International Relations, Geopolitics						
<u>担当授業 (大学院)</u>						
-						
研究活動						
	名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等	
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
	研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度 終了年度
学内研究助成金						
学会役員						
	就任期間	学会役員名				
その他研究活動上特記すべき事項						
	事項	年月	概要			
	Quince v1.0.0 - v1.0.7 (academic software)	9/29/2025	https://github.com/shawnbanasick/quince			
	Quince Configurator v1.0.0 - v1.0.7	9/29/2025	https://github.com/shawnbanasick/quince-configurator			
社会貢献活動						
公開講座						
	講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要	
学外機関委員等						
	就任期間	機関名・委員名・役職名等				
海外での活動						
	期間	国名	概要			

山崎 幸治

学位						
社会学士、M.Sc., Ph.D. (Economics)						
専門分野						
開発経済学						
研究課題						
貧困削減、紛争と民族間格差、社会開発						
教育活動						
<u>担当授業 (大学)</u>						
Introduction to Global Studies I ,Global Business,Topics in Global Business,Graduation Thesis Seminar I ,Graduation Thesis Seminar II ,Introduction to Sustainability Studies,The World Economy,Economic Data Literacy,Economics for Sustainable Management						
<u>担当授業 (大学院)</u>						
-						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
学生のケア		2026年1月		指導環境に配慮を要するゼミ生以外の学生に対して、別途時間を費やして卒業論文指導を担当した。		
研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
その他の研究発表、演奏						
"Electricity Consumption and Respiratory Health in Rural Cambodia"	2026.3.25	World Bank Economic Review	共	国際共著論文を投稿した		
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
その他研究活動上特記すべき事項						
事項	年月	概要				
博士論文の外部審査委員	2025.7.23	神戸大学国際協力研究科において博士論文外部審査委員を務めた				
社会貢献活動						
公開講座						
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名等					

海外での活動		
期間	国名	概要

researchmap ; <http://researchmap.jp/7000004111>

米川 正子

学位			
文学士, University of Diploma in Social Science, Master of Social Science in International Relations, 博士 (学術)			
専門分野			
難民研究、紛争分析、アフリカ政治			
研究課題			
難民と安全保障、人口操作 (紛争、強制移動と国家建設)			
教育活動			
担当授業 (大学)			
Special Lecture in Global Studies A, Graduation Thesis Seminar I, Graduation Thesis Seminar II, クローバーゼミ, Field Study in Global Cities, Migration Studies, African Studies, Conflict Studies			
担当授業 (大学院)			
-			
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要
	2025.7	国際学部学生など	GS学科開催の気候変動のサマースクールにオブサーバーとして参加し、外部講師・学生と交流したり助言をした。
	2025.5	OG、全学部生、教職員、一般	愛校バザーで健康意識を高めるために、オリジナルのアフリカン・スーパーフード・ワッフルをつくって販売。
	2025.8	オープンキャンパス参加者	グローバル問題を学ぶ重要性をより理解するために、日本の避難所と国際基準の関係性という身近な問題を取り上げた。
	2025.11	Migration Studies履修者、及び難民に関心がある学生	シリア難民申請者による講義を開催したことにより、学生の難民への関心がより高まった。
研究活動			
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共 共著者、共同発表者、共演者、担当頁等
著書・CD			
『いつの日かガザが私たちを打ち負かす 早尾貴紀対談集』	2025.7.20	青土社	共 鼎談pp.187-227。
学術論文			
"The Motivation for Conflict-Related Sexual Violence as a Weapon of War in the Eastern Democratic Republic of the Congo" (査読あり)	2025.8	平和研究64巻	単 pp.83-112
学会発表			
「難民と安全保障：コンゴ紛争に利用されているルワンダ在住のツチ系コンゴ『難民』の事例」	2025.5.17	第62回日本アフリカ学会	単
「人口操作(demographic engineering)と安全保障の関係—ルワンダにおけるコンゴ難民/移民の事例から」	2025.10.19	日本国際政治学会2025年度研究大会	単

学外研究助成金						(支給額は当該年度の直接経費配分額)
研究タイトル	助成金種類、支給元	代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度	
アフリカにおける難民/移民と安全保障ー 安全保障化に関する実証・理論的分析	日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研 究 (B)	分	150	2024	2027	
学内研究助成金						
人口操作の実証・理論分析とジェノサイ ド目的検証ー アフリカ、アジアと中東の 事例から	総合研究助成 (総額)	代	1,500			
学会役員						
就任期間	学会役員名					
2026.1 - 現在	日本平和学会 学会賞選考委員会					
その他研究活動上特記すべき事項						
事項	年月	概要				
明治学院大学国際平和研究所研究員	2019.4~					
社会貢献活動						
公開講座						
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要		
RITA-Congo活動5周年記念イベント「コ ンゴ東部危機に際して～日本からのコン ゴ支援を振り返る」	2025.7.3	東京大学	共	内容/「和平」合意の疑問点・分析。 主催/東京大学未来ビジョン研究セン ター		
シンポジウム「いつの日かガザが私たち を打ち負かすだろう～ガザ・パレスチナ の行方と私たちの責任を考える」	2025.11.28	東京・高円寺Pundit	共	内容/南アフリカの提訴、米国・イス ラエルによる『報復』か。主催/早尾 貴紀・小田切拓		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名等					
2024.4-現在	NPO法人 RITA-Congo顧問					
その他社会活動上特記すべき事項						
2025.6 学内にて、総務省統計局担当者による、2025年度の国勢調査と調査員の説明会をオンラインで開催						
2025.5 ノーベル平和賞受賞者・ムクウェゲ医師とコンゴ東部の情勢に関する面談						
2025.8 Podcast "Paul Kagame's weapon of war: The RPF's use of conflict related sexual violence in DR Congo" に対談						
2025.10-2026.1 大阪大学外国語学部にて非常勤講師として「アフリカ社会論概説」の授業を担当						
海外での活動						
期間	国名	概要				

researchmap ; <https://researchmap.jp/7000003540>

南出 和余

学位						
学士（文学），修士（人間科学），博士（文学）						
専門分野						
文化人類学, 映像人類学, バングラデシュ地域研究, 子ども研究						
研究課題						
バングラデシュの教育経験と社会変動, 民族誌映画制作						
教育活動						
<u>担当授業（大学）</u>						
Global Media & Communication, Field Study, Topics in Global Media and Communication, Graduation Thesis Seminar II, Career and Life Design, Asian Studies, Field Study in Asia, Cultural Anthropology						
<u>担当授業（大学院）</u>						
Asian Studies						
その他教育活動上特記すべき事項						
	年月	対象者	概要			
ゼミの卒業論文集を発行し、執筆したゼミ学生たちの記録にするとともに、次年度以降の後輩たちの動機付け及び参考になるようにした。	2026.3	E497ab				
研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
『変容するジェンダーの人類学—現代アジアでしなやかに生きる』第4章「グローバルなまなざしのなかで生きるバングラデシュの女性たち—『マイクロクレジット』の次は『ラナプラザ』?」	2026.2.28	明石書店	単	菅野美佐子・八木祐子編。pp.119-141。		
学術論文						
"The Lives and Strategies of <i>Probashir Bou</i> in a Bangladeshi Village: A Comparison of Two Generations of Wives of Overseas Migrants" (査読あり)	2025.7	Sociological Bulletin 74(4)	単	pp.442-454。		
学会発表						
「映画字幕翻訳による「文化の翻訳」の教育的意義—バングラデシュ映画の日本語字幕制作の試みから」	2025.6.7	第59回日本文化人類学会研究大会	単			
"Drawing the Sense of Nationalism on Deyal Likhon: Who is Generation Z in Bangladesh?"	2025.10.1	The 28th European Conference on South Asian Studies	単			
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
都市部インフォーマル部門で働く若者たちがもたらすバングラデシュの社会変動	日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C)		代	1,500	2025	2027
学内研究助成金						

その他（著書、学術論文以外）の執筆および訳書				
映画解説「晩秋」	2025.8	『第21回大阪アジア映画祭』カタログ		
学会役員				
就任期間	学会役員名			
2024.9-現在	日本南アジア学会常務理事			
2024.6-現在	日本文化人類学会代議員（評議員）			
2025.6-現在	日本子ども社会学会学会賞選考委員			
社会貢献活動				
公開講座				
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要
ジェンダーインスティテュート主催 ドキュメンタリー映画上映会&監督トークの企画	2025.6.29	西宮市大学交流センター	共	『かづゑ的』 主催/ジェンダーインスティテュート
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名等			
2024.4-現在	西宮ユネスコ協会理事			
2021.7-現在	財団法人大阪YMCA評議員			
海外での活動				
期間	国名	概要		
2025.9.10-2026.3.26	バングラデシュ	ジャハングルノゴル大学人類学部客員研究員		

※備考：2025.9-2026.8 海外留学

瀬戸 智子

学位				
PhD in East Asian Languages and Civilizations (Japanese history)				
専門分野				
日本近現代文化史、ジェンダー研究				
研究課題				
近現代日本の大衆文化におけるジェンダー表象、日本の女子プロレスの歴史				
教育活動				
担当授業 (大学)				
Global Social Issues, Field Study, Topics in Global Social Issues, Graduation Thesis Seminar I, Graduation Thesis Seminar II, Field Study in Food and Culture, Modern Japan in a Global Context, Field Study in Asia, Theories of Gender and Cultural Studies, Gender in Modern Japanese History				
担当授業 (大学院)				
-				
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要
学外交流会参加		2025/6/21	E398a受講生	性的少数者支援団体主催の交流会にゼミ生全員で参加@西宮市男女共同参画センター
ゲスト講師による講義		2025/11/25	E206-2b/W267(2)受講生 & 学内関係者	映画『ブルーボーイ事件』監督・飯塚花笑氏によるゲスト講義
大阪コリアタウンでのフィールドワーク		2025/12/20	W111(2)a / W111(2)b 受講生	Vaage先生と学生を連れてコリアタウンでのキムチ作り体験と街歩き
ゲスト講師による講義		2026/1/14	E332-2b受講生と学内外参加者	環境活動家・アイリーン・美緒子・スミス氏によるゲスト講義
ゼミの卒業論文集作成		2026/2/16	E497ab受講生	ゼミ生による研究成果の記録と今後のゼミ生の参考になるよう卒論集を作成した
研究活動				
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等
著書・CD				
学術論文				
学会発表				
「越境・連帯・独自性—動いて揺らぐ「日本研究/Japanese Studies」」	2025/5/31	日本近代文学会春季大会「海外における日本文学研究と翻訳の現在」	単	基調講演
「「女プロレス小畑千代」」	2025/8/25	オンライン研究会「小沢昭一旧蔵資料にみる「日本芸能史」構想についての調査研究：芸能史叙述と「芸」「性」「差別」」(代表：鈴木聖子)	単	

「女プロレス小畑千代」活動報告・関係者への聞き取り調査	2026/2/13	公開研究会「さまざまな人が引き寄せられるように集う「場」の歴史としての日本芸能史を考える」(松山)	単		
その他の研究発表、演奏					
「女プロレス 小畑千代」	2026.2	『インタビュー録音資料に関する報告書』	単		
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)					
研究タイトル	助成金種類、支給元	代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
女子プロレスの誕生 冷戦期日本の大衆文化とインターセクショナリティ (1948-1969)	日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C)	代	400	2023	2025
芸能史叙述における「性」と「差別」— 配慮・検閲・自己規制 (代表・鈴木聖子)	サントリー文化財団研究助成「学問の未来を拓く」	分	100	2025	2026
学内研究助成金					
学会役員					
就任期間	学会役員名				
社会貢献活動					
公開講座					
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要	
西宮市ジェンダーしゃべり場	2025/4/20	男女共同参画センター	単	ゲストスピーカー	
学外機関委員等					
就任期間	機関名・委員名・役職名等				
2025/06/01-現在	西宮市男女共同参画推進委員				
2025/07/01-現在	早稲田大学演劇博物館招聘研究員				
海外での活動					
期間	国名	概要			

Goran VAAGE

学位						
学士(日本語・日本文化), 修士(日本語・日本文化)						
専門分野						
社会言語学, 日本語・日本文化, ユーモア, 言語学, 語用論, 日本語教育, 比較文化						
研究課題						
ことばあそびとユーモア, 関西方言とボケとツッコミ, DNA研究と言語・文化の起源, ステイグマとことばに対する姿勢, 人称表現, 異文化コミュニケーション						
教育活動						
<u>担当授業 (大学)</u>						
Introduction to Japanese Culture, Tutorial for Exchange Student, Sociolinguistics Theory and Practice I, Sociolinguistics Theory and Practice II, Graduation Thesis Seminar I, Graduation Thesis Seminar II, クローバーゼミ, Field Study in Food and Culture, Kansai Language and Culture, Scandinavian Culture, Sociolinguistic Literacy, Global Communication Skills						
<u>担当授業 (大学院)</u>						
Thesis Writing, 言語学基礎演習						
研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
"Humor in Ainu Oral Tradition: The Tales of Panampe and Penampe"	2025.7.8	The 35th Conference of the International Society for Humor Studies (ISHS)	単			
The emergence and disappearance of words for person in Meiji-, Taisho- and Showa Era Japan as seen through children's literature and magazines	2025.8.18	The 27th International Conference on Historical Linguistics	単			
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金						
Osaka Studies: Cultural and Linguistic Insights from the 2025 Expo	研究助成 (総額)		代	300		
学会役員						
就任期間	学会役員名					
2025.4-2026.3	日本語日本文化教育研究会運営委員					

社会貢献活動				
公開講座				
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要
お笑いAI 講演	2025.9.26	グロービス経営大学院	単	日本のお笑いにおけるボケとツッコミ、欧米のジョーク構造との違い、ユーモア理解におけるAIの可能性と限界について、具体例を交えながら講演した。
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名等			
海外での活動				
期間	国名	概要		

岩間 文雄

学位					
学士(社会福祉学), 修士(社会福祉学)					
専門分野					
社会福祉学					
研究課題					
精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの展開					
教育活動					
<u>担当授業 (大学)</u>					
入門ゼミ(II), 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文, ソーシャルワークの基盤と専門職, ソーシャルワーク演習, ソーシャルワーク実習指導I, ソーシャルワークの理論と方法(専門)I, 社会福祉援助技術現場実習指導, ソーシャルワーク実習					
<u>担当授業 (大学院)</u>					
-					
その他教育活動上特記すべき事項					
	年月	対象者	概要		
芦屋市との「総合計画・地域福祉」に関する連携授業	2025年6月20日	文献ゼミ受講者	芦屋市企画部および子ども福祉部から担当者を招き、文献ゼミにおいて総合計画と地域福祉についての講義をしていただいた。		
研究活動					
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等	
著書・CD					
学術論文					
学会発表					
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)					
研究タイトル	助成金種類、支給元	代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金					
その他(著書、学術論文以外)の執筆および訳書					
研究ノート: 「日本の精神保健福祉領域におけるマクロソーシャルワーク実践の課題」	2025.12.20	『神戸女学院大学論集』第72巻 第2号	単	123-133.	
学会役員					
就任期間	学会役員名				
社会貢献活動					
公開講座					
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要	
学外機関委員等					
就任期間	機関名・委員名・役職名等				
海外での活動					
期間	国名	概要			

景山 佳代子

学位						
学士（教育学），修士（人間科学），博士（人間科学）						
専門分野						
社会学, メディア論, 社会意識論						
研究課題						
日本近代を「風俗化」概念で捉える（戦後民主主義）						
教育活動						
<u>担当授業（大学）</u>						
プロジェクトA(II), 入門ゼミ(Ⅰ), 文献ゼミ, 専攻ゼミ(Ⅰ), 専攻ゼミ(Ⅱ), 卒業論文, クローバーゼミ, メディア論, 社会意識論, ジャーナリズム論, 社会病理学						
<u>担当授業（大学院）</u>						
比較文化学総合演習Ⅰ, 比較文化学総合演習Ⅱ, 比較文化学総合演習Ⅲ						
研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
公開講座						
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要		
第69回 和歌山県母親大会 記念講演	2025.6.15	海南市民交流センター	単	内容／紀伊半島の原発反対運動の歴史。主催／和歌山県母親大会		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名等					
海外での活動						
期間	国名	概要				

金田 知子

学位			
文学士, Dip.SW, M.Soc.Sci.			
専門分野			
社会福祉学			
研究課題			
途上国（アフリカ）の精神保健福祉, 国際ソーシャルワーク			
教育活動			
担当授業（大学）			
入門ゼミ（Ⅰ）, 文献ゼミ, 専攻ゼミ（Ⅰ）, 専攻ゼミ（Ⅱ）, 卒業論文, クローバーゼミ, 精神保健福祉の原理, ソーシャルワーク演習, ソーシャルワーク実習指導Ⅰ, 社会福祉援助技術現場実習指導, ソーシャルワーク実習			
担当授業（大学院）			
-			
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要
精神保健福祉士国家試験対策の実施	2025.05- 2026.01	精神保健福祉士養成課程の学生（4名）	精神保健福祉実習室のスタッフの協力を得て、精神保健福祉士国家試験対策としての学内小テスト（前期6回、後期6回）、学内模試（計2回）を実施。また福祉教育カレッジによる国家試験科目の講座（6日間）を開講した。その結果、総合文化学科では、2025年度は、2024年度に続けて、国家試験合格率は100%であった。
『精神保健福祉士援助実習報告書』の発行	2026.03	学生、精神保健福祉実習指導者、精神保健福祉士養成校	『2025年度ソーシャルワーク実習報告書』の執筆および発行。
精神保健福祉士養成課程OG（卒業生）への卒業教育	2025.07.20 2026.02.21	総合文化学科精神保健福祉士養成課程の修了生	総合文化学科精神保健福祉士養成課程の修了生（主として精神保健福祉士）を対象に、OG会を2回開催し、各自の現状を確認するとともに、必要なアドバイスを行った。
就職支援	2025.04- 2026.03	総合文化学科精神保健福祉士養成課程の学生（4年生）	総合文化学科精神保健福祉士養成課程の学生に対して、適宜、求人情報を提供した。また公務員志望の学生に対しては、公務員として働いているOGを紹介し、公務員試験対策を依頼した。
実習報告会の開催	2025.11.29	総合文化学科精神保健福祉士養成課程の学生（4年生、3年生、2年生）	総合文化学科精神保健福祉士養成課程の実習報告会を開催した。報告会には4年生の実習成果の発表とともに、精神保健福祉士として活躍している2名のOGからの実践報告の機会を設けた。
実習指導者研修会の開催	2025.09.19	精神保健福祉援助実習の実習指導者および本学卒業生	総合文化学科精神保健福祉士養成課程の実習機関の指導者を対象とした研修会を開催した。2025年度は、元本学教授の岩田泰夫先生による研修「面接技術の用い方とゲームなどの活用～面接の逐語録と、ゲームを取り入れた面接の演習～」を実施した。

一般社団法人兵庫県精神保健福祉士協 出前講座事業の企画・実施	2025.10.29	精神保健福祉士を目指す 学生（2～4年生）	精神保健福祉士を目指す学生を対象に、兵 庫県精神保健福祉士協会・理事会の協力を 得て、行政・民間精神科病院・精神科クリ ニック等さまざまな現場で働く精神保健福 祉士の方々に来ていただき、精神保健福祉 士の多様な実践についての講座を開講し た。		
研究活動					
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等	
著書・CD					
学術論文					
「聞こえない声を聴くーシエラレオネの 精神障害当事者と家族の経験ー	2025.12.20	『神戸女学院大学論集』 第72巻第2号	単	pp.41-57	
学会発表					
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)					
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度 終了年度
学内研究助成金					
その他（著書、学術論文以外）の執筆および訳書					
インタビュー報告：「私は渴くーシス ター白幡和子さんの若き日々と今日ー」	2025.12.06	『ともに歩む会～シエラ レオネとともに、シス ターとともに、支援者と ともに～』会報50号	単	pp.3-4。	
学会役員					
就任期間	学会役員名				
社会貢献活動					
公開講座					
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要	
生涯研修制度、基幹研修Ⅰ「精神保健福 祉士の専門性Ⅰ」	2026.01.25	三宮コンベンションセン ター	単	内容/精神保健福祉士を対象に精神保 健福祉士の専門性について講義を 行った。主催/公益社団法人日本精神 保健福祉士協会。	
学外機関委員等					
就任期間	機関名・委員名・役職名等				
2025.04-2026.03	一般社団法人兵庫県精神保健福祉士協会 監事				
2025.04-2026.03	神戸市精神保健福祉専門分科会 委員				
2025.04-2026.03	神戸市地域自立支援協議会運営協議会 委員				
2025.04-2026.03	兵庫県精神医療人権センター 監事				
2025.04-2025.07	公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会・日本精神保健福祉士学会学術集会抄 録原稿査読委員				

海外での活動		
期間	国名	概要
2025.08.20-08.30	シエラレオネ	ルンサの修道会で活動する日本人シスターへのインタビューおよび首都フリータウンでのフォローアップ調査を実施した。
2026.03.21-03.29	スウェーデン	ウプサラ大学を訪問。同大学のMatsUtas教授と学術的交流を深めた。

川瀬 雅也

学位						
学士（文学），修士（文学），博士（文学）						
専門分野						
哲学・倫理学						
研究課題						
ミシェル・アンリ哲学研究 共同性の思想史						
教育活動						
担当授業（大学）						
入門ゼミ（Ⅰ），専攻ゼミ（Ⅰ），専攻ゼミ（Ⅱ），卒業論文，哲学（Ⅰ），現代思想						
担当授業（大学院）						
-						
研究活動						
名称	発行（開催）年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
"Deux visages de la mort : Mélancolie et manie à la lumière de la phénoménologie de la vie chez Henry."	2025.07.02	Journées d'études en phénoménologie de la vie 2025. Maison sanit Augustin (Paris)	単			
自覚の病理——木村敏は西田幾多郎をいかに読んだか	2025.09.08	2025年度 土井道子記念京都哲学基金シンポジウム（京都ガーデンパレス）	単			
「たとえの哲学」粗描	2026.03.15	情感性研究会 第九回（科研プロジェクト） 京都大学吉田キャンパス	単			
学外研究助成金						
（支給額は当該年度の直接経費配分額）						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
ミシェル・アンリの共同体論の意義と近現代哲学史におけるその位置づけに関する研究	日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究（C）		代	600	2024	2026
情感性概念の応用的拡張—アンリ哲学研究の新展開	日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究（C）		分	350	2023	2025
学内研究助成金						
その他（著書、学術論文以外）の執筆および訳書						
翻訳：ミシェル・アンリ著『我は真理なり——キリスト教の哲学のために』	2026.01.26	法政大学出版局	単	全490頁		
学会役員						
就任期間	学会役員名					
2025.04-2026.03	日本ミシェル・アンリ哲学会運営委員（編集担当）					

社会貢献活動				
公開講座				
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名等			
海外での活動				
期間	国名	概要		

河島 真

学位					
学士（文学），修士（文学）					
専門分野					
日本近現代史					
研究課題					
戦間期日本の政治史・思想史・地域史, 戦後日本の政治史・思想史・地域史					
教育活動					
<u>担当授業（大学）</u>					
プロジェクトA(IV), 入門ゼミ(II), 文献ゼミ, 専攻ゼミ(Ⅰ), 専攻ゼミ(Ⅱ), 卒業論文, 日本史(Ⅱ), 近代日本思想史, 史料で探る日本の歴史, 創立150周年記念めぐみ寄付講座:リアルアーツへの招待					
<u>担当授業（大学院）</u>					
-					
その他教育活動上特記すべき事項					
	年月	対象者	概要		
プロジェクト科目フィールドワーク①	2025年6月	受講生	「火垂るの墓」ゆかりの地を廻る		
プロジェクト科目フィールドワーク②	2025年9月	受講生	毒ガス製造施設のあった大久野島及び広島平和記念後援		
プロジェクト科目ゲスト講師招へい①	2025年5月	受講生	神戸空襲を記録する会		
プロジェクト科目ゲスト講師招へい②	2025年6月	受講生	火垂るの墓を歩く会		
プロジェクト科目ゲスト講師招へい③	2025年7月	受講生 一般聴講者	被団協		
プロジェクト科目ゲスト講師招へい④	2025年7月	受講生	平井美津子氏		
プロジェクト科目ブックトーク	2025年7月	受講生	図書館職員		
KCC-JEEの留学生の受入・指導	2024年9月- 2025年7月	留学生	前年度から引き続きミネソタ州立大学からの留学生を受け入れた		
めぐみ寄付講座のコーディネート	2025年4-7月	受講生			
研究活動					
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等	
著書・CD					
学術論文					
学会発表					
「男子普通選挙制度と政治社会」	2025.8.24	日本史研究会8月例会	単		
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)					
研究タイトル	助成金種類、支給元	代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金					
学会役員					
就任期間	学会役員名				

社会貢献活動				
公開講座				
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要
第10回田澤記念大会（田澤義鋪生誕140周年記念事業）記念講演	2025.11.16	鹿島市生涯学習センター エイブルホール	単	内容/「田澤義鋪が夢見た日本の姿-未完の政治改革-」。主催/第10回田澤記念大会実行委員会
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名等			
2014.05-現在	三木市情報公開審査会委員			
2014.05-現在	三木市個人情報保護審査会委員			
2015.04-現在	明石市史編纂専門部会委員（現代部会長）			
2018.01-現在	三木市史通史編近現代史部会員			
海外での活動				
期間	国名	概要		

researchmap ; <https://researchmap.jp/xprof291108>

桐生 裕子

学位						
学士（文学），修士（学術），博士（学術）						
専門分野						
西洋史						
研究課題						
近代におけるハプスブルク君主国の変容とその特質						
教育活動						
<u>担当授業（大学）</u>						
入門ゼミ（Ⅰ）,文献ゼミ,専攻ゼミ（Ⅰ）,専攻ゼミ（Ⅱ）,卒業論文,西洋史入門（Ⅰ）,西洋史入門（Ⅱ）,西洋史入門,ヨーロッパ社会史（Ⅱ）						
<u>担当授業（大学院）</u>						
-						
研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
Bridging National Historiographies. The Work of Professor Pieter Judson and the Historiography of Central Europe in Japan	2025. 7. 18.	Central European History Convention	単			
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
第一次世界大戦中のハプスブルク君主国における国家一住民関係	日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究（C）		代	500	2022	2025
学内研究助成金						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
社会貢献活動						
公開講座						
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名等					
海外での活動						
期間	国名	概要				
2025.7.15.~7.23.	オーストリア	学会報告、史料・文献調査				

北川 将之

学位						
学士（外国研究），修士（国際関係論），博士（国際関係論）						
専門分野						
政治学, 国際関係論						
研究課題						
インド民主主義の変容, 在外インド人の市民意識, インド貧困女性の政治参加						
教育活動						
担当授業（大学）						
-						
担当授業（大学院）						
-						
研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
学外研究助成金						
(支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元	代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度	
分権化と集権化の政治学：インド28州から見る「民主主義」の展開と再生への道	日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究（A）	分	270	2022	2025	
学内研究助成金						
憲法第73次修正後のインド地方自治の歴史的展開	研究助成（総額）	代	300			
その他（著書、学術論文以外）の執筆および訳書						
寄稿：「選挙区割りをめぐる州間合同行動委員会（JAC）会合の開催」	2025.4.10	『インド経済フォーラム』	単	p.12.		
寄稿：「タミル・ナドゥ州におけるインド人民党と地域政党の選挙協力合意」	2025.5.12	『インド経済フォーラム』	単	p.11.		
寄稿：「ケーララ州沖での輸送船沈没と州災害宣言の発令」	2025.6.10	『インド経済フォーラム』	単	p.11.		
寄稿：「ケーララ州議会の補欠選挙結果とその波紋」	2025.7.11	『インド経済フォーラム』	単	p.8.		
寄稿：「カルナータカ州のスタジアム群衆暴徒事件と政治的波紋」	2025.8.20	『インド経済フォーラム』	単	p.16		
寄稿：「ケーララ州におけるヒンドゥー寺院関連会議への州政権の関与をめぐる対立」	2025.9.22	『インド経済フォーラム』	単	p.12.		
寄稿：「カルナータカ州におけるカースト人口調査をめぐる政治的攻防」	2025.10.20	『インド経済フォーラム』	単	p.12.		
寄稿：「タミル・ナドゥ州における私立大学法（改正）法案をめぐる与野党の論争」	2025.11.20	『インド経済フォーラム』	単	p.10.		

寄稿：「カルナータカ州与党の会議派指導部の権力争いの行方」	2025.12.22	『インド経済フォーラム』	単	p.10.
寄稿：「アーンドラ・プラデーシュ州における州都構想をめぐる新たな動き」	2026.1.20	『インド経済フォーラム』	単	p.13.
寄稿：「2026年度連邦予算に対する南部州の反応」	2026.2.19	『インド経済フォーラム』	単	p.13.
寄稿：「タミル・ナードゥ州議会選挙における政党競合の構図」	2026.3.23	『インド経済フォーラム』	単	p.13.
学会役員				
就任期間	学会役員名			
社会貢献活動				
公開講座				
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名等			
海外での活動				
期間	国名	概要		
2025.4-2026.3	インド	長期海外留学 Institute for Social and Economic Change, Bengaluru		

※備考：2025.4-2026.3 海外留学

小林 隆道

学位						
学士（文学），修士（文学），博士（文学）						
専門分野						
中国史						
研究課題						
10-14世紀中国における統治の諸相						
教育活動						
<u>担当授業（大学）</u>						
現代アジア地域研究（Ⅰ）（中国）、総文プロジェクトA（Ⅱ）、プロジェクトA（Ⅴ）、入門ゼミ（Ⅰ）、文献ゼミ、専攻ゼミ（Ⅰ）、専攻ゼミ（Ⅱ）、卒業論文、中国語（Ⅰ）文法、中国語（Ⅱ）閲読、中国語（Ⅱ）講読、アジア史入門、アジア史研究、日本アジア関係史						
<u>担当授業（大学院）</u>						
比較文化学総合演習Ⅰ、比較文化学総合演習Ⅱ、比較文化学総合演習Ⅲ						
研究活動						
名称		発行（開催）年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等	
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
学外研究助成金 （支給額は当該年度の直接経費配分額）						
研究タイトル		助成金種類、支給元		代/分	支給額（千円）	開始年度 終了年度
学内研究助成金						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
社会貢献活動						
公開講座						
講座名、講演名		年月	場所	単/共	概要	
学外機関委員等						
就任期間		機関名・委員名・役職名等				
海外での活動						
期間		国名	概要			

researchmap ; <https://researchmap.jp/7000011381>

藏中 さやか

学位						
文学士, 文学修士, 博士 (国文学)						
専門分野						
日本古典文学						
研究課題						
中古中世和歌文学における私家集のあり方や歌合との関連性, 藤原清輔の歌学						
教育活動						
担当授業 (大学)						
プロジェクトA(V), 入門ゼミ(II), 文献ゼミ, Tutorial for Exchange Student, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文, 国語科教育法II, 国語科教育法IV, 教職実践演習(中・高), 教育実習I, 教育実習II, 日本語(I)漢字・語彙, 日本古典文学研究(II), 日本古典文学講読(I)						
担当授業 (大学院)						
日本文学特殊講義I						
国語科教職実践のとりまとめ	2025,2	国語教職課程履修生	単/共	教育活動の概要を教材としても活用できる形でとりまとめ『KC国語教職実践報告集』10号を編集制作した。2年生～4年生に配布		
研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
学術論文						
「大正改訳を支えた松山高吉一学校法人神戸女学院所蔵松山高吉文庫資料から」	2025.5.1	『福音と世界』第80巻5号	単	pp.34-39		
「『袋草紙』下巻「和歌合次第」の本文を考える」	2025.12	『神戸女学院大学論集』第72巻第2号	単	pp.1-14		
学会発表						
「『袋草紙』下巻「和歌合次第」をめぐって一陽明文庫蔵「歌合」の紹介」	2026.3.29	第33回陽明文庫古典資料研究会	単			
学外研究助成金						
(支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金						
その他(著書、学術論文以外)の執筆および訳書						
『新古今集古注集成』全注所在一覧	2025.10.5	笠間書院	単	全207頁。『新古今集古注集成』近世新注編3に別冊として同梱。		
史料室のさらなる発展を祈念して	2025.4	『学院史料』38	単	pp.1-3。		
マンザナ収容所関連資料を紐解く一第5代院長C.B.デフォレスト先生の第二次世界大戦終局期の活動一	2025.4	『学院史料』38	単	pp.61-71。		
学会役員						
就任期間	学会役員名					
2025.4-2026.3	中古文学会委員					
2025.4-2026.3	中古関西部会委員					
2025.4-2026.3	和歌文学会委員(諸問題検討委員)					
2025.4-2026.3	和歌文学会関西例会委員					

その他研究活動上特記すべき事項				
事項	年月	概要		
日本語教員試験 合格	2025.12.1	202501-006212 (経過措置E-2ルート)		
登録日本語教員 登録	2026年3月			
社会貢献活動				
公開講座				
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要
神戸女学院・日本聖書協会150年記念講演会「近代日本の文化形成と未来へのまなざし ―聖書翻訳の貢献」	2025.5.31	神戸女学院大学	単	司会、資料紹介を担当
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名等			
海外での活動				
期間	国名	概要		

栗山 圭子

学位						
学士（文学），修士（文学），博士（文学）						
専門分野						
日本史						
研究課題						
日本古代中世王家成立史, 日本古代中世家族史						
教育活動						
<u>担当授業（大学）</u>						
プロジェクトA(VI), 入門ゼミ(Ⅰ), 文献ゼミ, 専攻ゼミ(Ⅰ), 専攻ゼミ(Ⅱ), 卒業論文, アジアの中の日本史, 日本史入門(Ⅱ), 日本史(Ⅰ), 史料で探る日本の歴史, 社会思想史						
<u>担当授業（大学院）</u>						
-						
研究活動						
名称		発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等	
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル		助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度 終了年度
学内研究助成金						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
社会貢献活動						
公開講座						
講座名、講演名		年月	場所	単/共	概要	
宇治市源氏物語ミュージアム連続講座 「女房日記から見た院政期」		2026.1.25	宇治市源氏物語ミュージアム	単	内容：『讃岐典侍日記』にみえる初期白河院政期の宮廷の様相について講演。主催：宇治市源氏物語ミュージアム	
学外機関委員等						
就任期間		機関名・委員名・役職名等				
2017.12-現在		三木市史編纂委員会古代史部会委員				
2022.4-現在		明石市史編纂委員会古代・中世史部会委員				
2022.8-現在		丹波篠山市史編纂委員会古代史部会委員				
海外での活動						
期間		国名	概要			

三木 順子

学位					
学士（文学）、修士（文学）、博士（文学）					
専門分野					
美学および芸術学					
研究課題					
1. 形象（イメージ）の現象と人間の感性の関係について 2. ポストヒューマンの時代における批判的人間学の構築に向けて					
教育活動					
<u>担当授業（大学）</u>					
プロジェクトA(Ⅱ),入門ゼミ(Ⅱ),文献ゼミ,専攻ゼミ(Ⅰ),専攻ゼミ(Ⅱ),卒業論文,美学(Ⅰ),芸術学,美学(Ⅳ)					
<u>担当授業（大学院）</u>					
-					
研究活動					
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等	
著書・CD					
学術論文					
「一九二〇年代末のパウハウスにおける人間観：早すぎたポストヒューマニズムか、遅すぎたヒューマニズムか」	2026.3.12	形象論研究会 『形象』7号	単	pp. 43-58.	
学会発表					
研究発表会司会	2025.6.7	美学会西部会 第353回研究発表会	単		
研究発表会司会	2025.8.2	美学会西部会 第354回研究発表会	単		
「知の技法としてのメランコリー」（「メランコリーの時間性：『到来しない原初』と『過ぎ去る未来』のパラドクス」からタイトル変更）	2025.11.8	国際シンポジウム「芸術・思想におけるメランコリーの現在」（立命館大学）	単		
その他の研究発表、演奏					
講演「「アンフォルメル」なものの美的経験：感性・情感・意味」	2025.12.20	第8回 感性研究研究会	単		
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)					
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度 終了年度
学内研究助成金					
その他（著書、学術論文以外）の執筆および訳書					
論評：「明暗の対照に大オルガンの音色を聴く」		『須田記念 視覚の現場』 第13号、きょうと視覚文化振興財団	単	pp. 14-15.	
学会役員					
就任期間	学会役員名				
2019.10－現在	美学会委員				
2020.4-2026.3	意匠学会副会長				
2024.4－現在	民族芸術学会理事				
社会貢献活動					
公開講座					
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要	
学外機関委員等					
就任期間	機関名・委員名・役職名等				

海外での活動		
期間	国名	概要

researchmap ; https://researchmap.jp/Junko_MIKI

三杉 圭子

学位						
文学士, 文学修士, M.A., 博士 (英文学)						
専門分野						
20世紀アメリカ小説						
研究課題						
語りの技法, モダニズム, ジェンダー, 多文化社会におけるマイノリティの諸相						
教育活動						
担当授業 (大学)						
プロジェクトA(IV), アメリカの文化・文学(II), アメリカの文化・文学(III), 基礎ゼミ, 入門ゼミ(II), 英米文化・文学入門(I), 英米文化・文学入門(II), 文献ゼミ, Tutorial for Exchange Student, 専攻ゼミ(II), 卒業論文						
担当授業 (大学院)						
比較文化・文学II						
研究活動						
名称		発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等	
著書・CD						
『異端のモダニスト—エドナ・セント・ヴィンセント・ミレイのソネットを読む』		2025.9.25	春風社	共	翻訳31編、評論pp. 57-64。	
学術論文						
学会発表						
"Manhood and Failure in John Dos Passos's <i>Manhattan Transfer</i> "		2025.5.24	the 36th American Literature Association Conference	単		
その他の研究発表、演奏						
総合文化学科 専門部会 研究発表会		2026.11.27	総合文化学科	単	「異端のモダニスト詩人、エドナ・セント・ヴィンセント・ミレイのソネット」	
学外研究助成金						
(支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル		助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度 終了年度
ジョン・ドス・パススにおける創作とジェンダーの関係性—実験的語りの技法と男性性		日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)		代	1,400	2025 2027
アメリカ文学におけるintersectionality, interdisciplinarity, intertextualityの諸相		同志社大学人文学研究所第16部門研究		分	20	2025 2027
学内研究助成金						
その他(著書、学術論文以外)の執筆および訳書						
書評: 『アナイス・ニン文学への視点—小説と日記、作家と創意』		2026.3.31	『アメリカ文学研究』アメリカ文学会、第62号	単	pp. 88-89。	

学会役員				
就任期間	学会役員名			
2023.4-現在	日本アメリカ文学会編集委員			
2007.4-現在	日本アメリカ文学会関西支部評議員			
2013.4-現在	日本ユダヤ学会理事			
社会貢献活動				
公開講座				
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名等			
2023.6-現在	公益財団法人神戸女学院めぐみ会理事			
海外での活動				
期間	国名	概要		
2025.5.17-20	アメリカ	資料調査		

researchmap ; <https://researchmap.jp/read0181135>

中野 敬一

学位						
神学士, 神学修士, D.Min.						
専門分野						
キリスト教学, 実践神学						
研究課題						
キリスト教の死者儀礼, 死生学						
教育活動						
担当授業 (大学)						
専攻ゼミ(1),キリスト教概説,現代社会と宗教(1),現代社会と宗教						
担当授業 (大学院)						
比較宗教学						
研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
『アメリカン・ボードと日本のキリスト教主義学校』	2026.2	キリスト新聞社	共	共著pp.33-55。		
学術論文						
学会発表						
その他の研究発表、演奏						
神戸女学院中・高部礼拝	2025.7.2		単	奨励		
神戸女学院中・高部礼拝(宗教強調週間)	2025.11.10		単	奨励		
学外研究助成金						
(支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金						
その他(著書、学術論文以外)の執筆および訳書						
時評「女子大学の存在意義ー持続可能な社会を支える女性を育む教育ー」	2026.3.1	『私学経営』私学経営研究会	共	pp.2-3。		
学会役員						
就任期間	学会役員名					
2019.4ー現在	日本基督教学会幹事					
社会貢献活動						
公開講座						
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要		
芦屋川カレッジ	2025.11.26	芦屋市民会館	単	『死生学のご案内』主催/芦屋市		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名等					
2025.6ー現在	学校法人イエス団理事					
海外での活動						
期間	国名	概要				

奥野 佐矢子

学位						
学士（教育学）, 修士（教育学）						
専門分野						
教育哲学・人間形成論						
研究課題						
英米圏アイデンティティ政治学・フェミニズム批評理論の知見を用いた人間形成モデルの構築, 道徳性発達理論などを用いた道徳教育研究の実践性および妥当性の検証						
教育活動						
担当授業（大学）						
プロジェクトA(IV), 入門ゼミ(Ⅰ), 文献ゼミ, Tutorial for Exchange Student, 専攻ゼミ(Ⅰ), 専攻ゼミ(Ⅱ), 卒業論文, 人間と教育, 教育原理Ⅰ, 教育原理Ⅱ, カリキュラム論, 教育実習Ⅰ, 教育実習Ⅱ						
担当授業（大学院）						
比較文化学総合演習Ⅰ, 比較文化学総合演習Ⅱ, 比較文化学総合演習Ⅲ						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
『奥野ゼミ十一期生卒業論文集』刊行		2026年3月	奥野ゼミ十一期生	ゼミ生全員の卒論全文を掲載した論集を刊行		
総合文化学科公開講座企画、外部講師招聘		2026.6.13.	公開プログラム	講師：北川ペドロソ実萌氏/講演タイトル：「かつてエンジニアで移民だった私が、在日移民支援NPO immi labを立ち上げた理由」		
教育原理への外部講師招聘		2025.7.2	「教育原理」受講学生	講師：北川ペドロソ実萌氏、日野 ラリッサカオリ氏/講演タイトル：「日本で学ぶ「外国につながる子ども」たちの現状」		
研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
第八部会「教育における<抵抗>のかたち」司会	2025.10.5	教育哲学会第68回大会	共	共同/市川秀之		
次世代育成企画「教育哲学と教育実践の乖離をどう埋めているか？」登壇者	2025.10.5	教育哲学会第68回大会	共	共同/岸本智典、間篠剛留		
学外研究助成金						
(支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
2025.10.1-現在	教育哲学会編集委員会委員					
2024.10.1-2025.10.31.	教育哲学会第68回大会準備委員会準備委員					

社会貢献活動				
公開講座				
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要
神戸女学院中高部+大阪女学院「リベラルアーツプログラム『白熱教室』」メンバー	2025.7.24	L38、中高部トリニティホール	共	内容/「強い人」について、「自由」について、など。主催/神戸女学院中高部。
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名等			
その他社会活動上特記すべき事項				
2025.8月-現在 神戸女学院中高大OG連携プログラム企画の立ち上げ				
2025.4月-2026.3月 「Women Leaders Interview in JPES プロジェクト」からの依頼による教育哲学会の女性リーダーへのインタビュー活動（インタビュイー：鳥光美緒子氏）				
2025.12月-現在 『ジェンダー・トラブル』オンライン読書会主宰				
海外での活動				
期間	国名	概要		

清水 学

学位						
社会学士, 学術修士						
専門分野						
社会学						
研究課題						
社会の詩学, エスノメソドロジー以後の社会理論						
教育活動						
<u>担当授業 (大学)</u>						
総文プロジェクトA (II), 入門ゼミ (II), 文献ゼミ, 専攻ゼミ (I), 専攻ゼミ (II), 卒業論文, 社会学概論, 社会理論						
<u>担当授業 (大学院)</u>						
比較文化学総合演習 II						
研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
社会貢献活動						
公開講座						
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要		
学外機関委員等						
就任期間		機関名・委員名・役職名等				
海外での活動						
期間	国名	概要				

建石 始

学位					
学士（言語・文化），修士（文学），博士（文学）					
専門分野					
日本語学・日本語教育学					
研究課題					
語彙と文法を連動させた日本語・日本語教育研究					
教育活動					
担当授業（大学）					
総文プロジェクトA（Ⅰ）,入門ゼミ（Ⅱ）,文献ゼミ,Tutorial for Exchange Student,専攻ゼミ（Ⅰ）,専攻ゼミ（Ⅱ）,卒業論文,日本語教授法（Ⅰ）(日本語教育概論),中国語（Ⅰ）文法,日本語学入門（Ⅰ）,日本語学特論,日本語（Ⅲ）アカデミック・スキルズ(書き言葉)					
担当授業（大学院）					
比較文化学特別研究AⅡ,日本語学特殊研究					
研究活動					
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等	
著書・CD					
学術論文					
学会発表					
「日本語文法研究は何がどう進化しているのか」	2025.12.21	日本語文法学会第26回大会シンポジウム	単	シンポジウム企画・司会	
「中国語学習者から見た中国語初級文法―中国語教育と日本語教育が「ナカマ」に―」	2026.02.14	日本中国語学会2025年度第7回研究例会「中国語教育のための応用中国語学をめざして」	単		
「子ども向け辞典・教材から見た類義語研究の実態」	2026.03.28	シンポジウム「児童の「書くこと」の指導に役立てるための研究とその応用」	単		
その他の研究発表、演奏					
「発表のススメ、投稿のススメ」	2025.06.14	中国語話者のための日本語教育研究会・特別企画	単		
「類義語分析のチェックリスト」	2025.08.30	バンガロール日本語教育勉強会	単		
学外研究助成金					
(支給額は当該年度の直接経費配分額)					
研究タイトル	助成金種類、支給元	代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
ユーザー中心設計による中国語教育文法の構築―事例研究からの実用化と体系	日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究（B）	分	-	2022	2024 (延長)
「話題から始まる日本語教育」を支援する情報サイトの構築と話題別会話コーパスの拡充	日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究（B）	分	210	2022	2026
「たつじんテスト」を用いたJSL児童生徒の学びの特性の解明と支援方法の確立	日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究（B）	分	100	2025	2027

学内研究助成金					
学会役員					
就任期間		学会役員名			
2025.04-2026.03		日本語文法学会大会委員会副委員長			
2025.04-2026.03		日本語教育学会連携協力委員会副委員長			
2025.04-2026.03		日本語教育学会審査・運営協力員			
2025.04-2026.03		関西言語学会編集委員会委員			
2025.04-2026.03		日中対照言語学会常務理事			
2025.04-2026.03		日中対照言語学会編集委員会委員			
2025.04-2026.03		社会言語科学会学会誌編集委員会委員			
2025.04-2026.03		日本語／日本語教育研究会大会委員会委員長			
2025.04-2026.03		中国語話者のための日本語教育研究会代表幹事			
2025.04-2026.03		中国語話者のための日本語教育研究会編集委員会委員長			
2025.04-2026.03		第二言語習得研究会ジャーナル委員会委員			
社会貢献活動					
公開講座					
講座名、講演名		年月	場所	単/共	概要
2025年夏季 東洋大学ビジネス日本語ポイント講座		2025.08.19	オンライン	単	内容：「類義表現を中心としたビジネス日本語実践演習」
2026年春季 東洋大学ビジネス日本語ポイント講座		2026.03.01	オンライン	単	内容：「類義表現を中心としたビジネス日本語実践演習」
学外機関委員等					
就任期間		機関名・委員名・役職名等			
2025.06-2026.03		令和7年度技能実習生の技能習得に資する日本語教育教材の開発事業検討会委員（一般財団法人 海外産業人材育成協会）			
海外での活動					
期間	国名	概要			

researchmap ; <https://researchmap.jp/read0134917>

傳 詰

学位						
学士（経済学）、修士（経済学）、博士（経済学）						
専門分野						
環境経済、環境政策、地域経済						
研究課題						
(1) 環境ガバナンスの構造、環境汚染の原因構造の解明と解決のための政策研究。(2) 自然資源を活かした地域経済、特に再生可能エネルギーなどの普及と活用の研究。						
教育活動						
<u>担当授業（大学）</u>						
入門ゼミ(Ⅱ),文献ゼミ,Tutorial for Exchange Student,専攻ゼミ(Ⅰ),専攻ゼミ(Ⅱ),卒業論文,現代社会と経済学,現代社会と経済(Ⅰ),現代社会と経済(Ⅱ),経済学,経済学(国際経済を含む),比較経済論						
<u>担当授業（大学院）</u>						
-						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
学生主事としての学生への学修指導、面談		2025.4～ 2026.3	総合文化学科2年・3年生	総合文化学科2年・3年生を担当し、留学予定者、休学・退学等の学籍異動、合理的配慮の申請者、勉強生活に困難を抱えている学生への面談と対応を行った。		
研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
学術論文						
中国の生態保護補償をめぐる政策動向―「生態保護補償条例」の分析を中心に	2025.12	神戸女学院大学論集 72(2)	単	pp.23-39。		
学会発表						
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
その他研究活動上特記すべき事項						
事項	年月	概要				
日本環境会議第40回水島大会	2025年11月22日～23日	岡山県水島で開催された日本環境会議第40回大会に参加し、分科会で座長を務めた。第3分科会：「中国地方におけるPFAS汚染と、水源を守る取り組み」。概要：近年、沖縄、東京等でPFAS（有機フッ素化合物）の環境汚染問題が深刻になっている。中国地方でも、吉備中央町で、再生処理するために放置していた活性炭から水道水の汚染が発生し、全国初の町の費用負担による血液調査を実施した。その結果、高濃度のPFAS汚染が明らかになっている。また、三原市本郷処分場の環境汚染についても取り上げ、水質・水源を守るための課題を考えたい。				

社会貢献活動				
公開講座				
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名等			
海外での活動				
期間	国名	概要		

藤岡 達磨

学位						
博士(学術),文学修士,文学学士						
専門分野						
社会学,消費文化論						
研究課題						
地域社会における異文化コミュニケーションと組織化についての研究						
教育活動						
<u>担当授業(大学)</u>						
基礎ゼミ,入門ゼミ(Ⅰ),文献ゼミ,Tutorial for Exchange Student,外国語セミナー(中国語),専攻ゼミ(Ⅰ),専攻ゼミ(Ⅱ),卒業論文,社会学への招待,地域社会学						
<u>担当授業(大学院)</u>						
-						
研究活動						
	名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等	
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
keynote speech "Chinease Societie Encounting the institution of Oters"		2025.11.29-30	The First Global Chinese Studies Conference at Kobe	単		
「中国らしさの再構成」		2025.12.21	第2回モビリティと社会研究会	単		
「モビリティは社会構成の何に影響するのか？」		2026.2.26	第3回モビリティと社会研究会	単		
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル		助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度 終了年度
学内研究助成金						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
社会貢献活動						
公開講座						
講座名、講演名		年月	場所	単/共	概要	
学外機関委員等						
就任期間		機関名・委員名・役職名等				
海外での活動						
期間		国名	概要			

大澤 香

学位						
学士（文学），修士（神学），博士（神学）						
専門分野						
聖書学（ヘブライ語聖書, 新約聖書）						
研究課題						
第二神殿時代ユダヤ教と原始キリスト教の聖書解釈						
教育活動						
<u>担当授業（大学）</u>						
プロジェクトA(VI), 入門ゼミ(II), 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 卒業論文, キリスト教概説, キリスト教学(旧約学), 新約聖書原典講読, 聖書学(II)						
<u>担当授業（大学院）</u>						
比較文化学特別研究B I						
研究活動						
	名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等	
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
その他の研究発表、演奏						
「詳細はresearchmap」(2025年度2件)						
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
	研究タイトル	助成金種類、支給元	代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
	キリスト教形成期における「他者」の実態：共生の地盤としての異邦人	日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究	代	800	2022	2025
学内研究助成金						
その他（著書、学術論文以外）の執筆および訳書						
「詳細はresearchmap」(2025年度1件)						
学会役員						
	就任期間	学会役員名				
「詳細はresearchmap」(2025年度2件)						
社会貢献活動						
公開講座						
	講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要	
学外機関委員等						
	就任期間	機関名・委員名・役職名等				
その他社会活動上特記すべき事項						
2025.6.22 日本基督教団甲東教会主日礼拝説教						
2025.7.6 日本基督教団倉敷教会創立119周年記念礼拝説教						
2025.8.24 日本基督教団神戸教会主日礼拝説教						
海外での活動						
	期間	国名	概要			

researchmap ; https://researchmap.jp/ozawa_kaori

朴 秀娟

学位			
学士（文学），修士（文学），博士（文学）			
専門分野			
日本語教育学，現代日本語文法			
研究課題			
現代日本語文法の記述的研究，日本語教育の視点を取り入れた文法研究，非母語話者日本語教師のピリーフに関する研究			
教育活動			
担当授業（大学）			
総文プロジェクトA（Ⅰ），Tutorial for Exchange Student，入門ゼミ（Ⅰ），文献ゼミ，専攻ゼミ（Ⅰ），専攻ゼミ（Ⅱ），卒業論文，日本語教育学入門，言語習得論，クローバーゼミ，日本語（Ⅲ）アカデミック・スキルズ（話し言葉），日本語学研究（Ⅴ）			
担当授業（大学院）			
日本語学特殊講義			
その他教育活動上特記すべき事項			
年月	対象者	概要	
「授業振り返りシート」の導入および活用	2025年度前期	受講生（学部生）	講義科目（「言語習得論」「日本語学研究（Ⅴ）」では，毎回の授業において「授業振り返りシート」を導入し，各回の理解度の確認および授業に関する質問の記入をしてもらっている。記入内容については，翌回の授業においてフィードバックを行っている。
日本語教育および異文化に対する理解を深めるための異文化交流会の企画および実施	2025.7.31	学部生	日本語教育学ゼミの学生向けに，本学の留学生および他大学の留学生を迎えた異文化交流会を企画し実施した。
研究活動			
名称	発行（開催）年月	発行、開催	単/共 共著者、共同発表者、共演者、担当頁等
著書・CD			
学術論文			
"Espresso and Cross-Cultural Understanding Beyond Borders : Insights from interviews in the Korean coffee industry"	2026. 2. 10	『滋賀大学教育学部紀要』第75号（滋賀大学教育学部）	共 共著/Antonio Yu, Sooyun Park, pp. 131-144
「韓国語を母語とする上級日本語学習者の日本語学習一メールにおける言語表現に見られる変化を例に一」	2026. 2. 26	『上級以上の日本語教育を問い直す』（日中言語文化出版社）	単 pp.183-207
学会発表			
「非母語話者日本語教師がもつ不安と利点を日本語教師養成プログラムにどう活かすかー日本国内で教える初任非母語話者日本語教師へのインタビュー調査からー」	2025. 5. 24	2025年度日本語教育学会春季大会	単 オンライン発表
「母語の違いは日本語学習者の副詞の産出にどの程度影響するのか」	2025. 8. 28	第28回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム & 第27回BATJ年次大会	単

「感動詞「そんな」がもつ評価的意味について一韓国語の感動詞“ilen/celen”との比較から一」	2025. 9. 20	韓国日本語学会第52回国際学術発表大会	共	共同/朴 秀娟, 堤 良一 (岡山大学)
「韓国人日本語学習者としての自分のメールを分析してみた一方法論としての学習者による自己言語分析の可能性を探る」	2026. 3. 29	第25回関西日本語研究会	単	
その他の研究発表、演奏				
「日本語教育における副詞の扱いをめぐって一教材づくりの過程で見えてきたこと一」	2025. 5. 14	2025年 韓国日本語教育学会 第2回定期ワークショップ	単	オンライン発表
「教師教育で大切にしているマインドを掘り起こす」	2025. 9. 6	文部科学省 日本語教師養成・研修推進拠点整備事業 (近畿ブロック) 2025年度 第2回 研修部会	共	共同/朴 秀娟, 竹田 悦子 (コミュニケーション学院)
「学びの軌跡『リセットする勇気』」	2025. 9. 28	日本語/日本語教育研究会 第17回大会	単	オンライン発表
「副詞を使うと、日本語がもっと伝わる一留学生のための副詞のレッスン一」	2026. 1. 8	東洋大学国際教育センター	単	オンライン発表
「『は?』と言われたあの日から」	2026. 2. 7	ミニ・ヒューマンライブ ラリー西宮	単	企画者および登壇者として参加。企画者：秋田 美帆 (岡山大学), 宮崎 聡子 (関西学院大学), 朴 秀娟。

学外研究助成金

(支給額は当該年度の直接経費配分額)

研究タイトル	助成金種類、支給元	代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
日本語学習者における評価・感情副詞の習得研究と指導用ガイドラインの構築	日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C)	代	500	2022	2026
多文化共生社会における大学生の当事者意識を涵養するケースメソッド教材の開発	日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C)	分	250	2023	2026
評価性を伴う形式としての指示詞の研究	日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C)	分	110	2023	2026
受講生の言語的多様性を活かした日本語教師養成モデルの提案と検証	日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C)	分	247	2024	2027

学内研究助成金

--	--	--	--	--	--

学会役員

就任期間	学会役員名
2017.10～現在に至る	韓国日本語学会, 常任理事
2021. 4～2026. 3	日本語誤用と日本語教育学会, 理事
2023. 4～現在に至る	日本語/日本語教育研究会, 編集委員
2023. 6～現在に至る	日本語教育学会, 大会委員会 委員
2024. 6～現在に至る	日本語学会, 事務局委員
2025. 1～現在に至る	韓国日本語教育学会, 海外理事
2025. 1～現在に至る	韓国日本語教育学会, 編集委員
2025. 4～現在に至る	日本語文法学会, 事務局長・総務委員長

社会貢献活動				
公開講座				
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名等			
海外での活動				
期間	国名	概要		

researchmap ; <https://researchmap.jp/sypark>

戸江 哲理

学位						
学士（法学），修士（文学），博士（文学）						
専門分野						
社会学						
研究課題						
子育て支援の社会学的研究・現代家族にかんする全国規模の質的調査にもとづく社会学的研究・家庭生活の社会学的研究						
教育活動						
<u>担当授業（大学）</u>						
入門ゼミ(Ⅱ),文献ゼミ,専攻ゼミ(Ⅰ),専攻ゼミ(Ⅱ),卒業論文,子どもの社会学,家族社会学,質的調査法						
<u>担当授業（大学院）</u>						
-						
研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
学術論文						
「会話分析と家族社会学——子育てひろばにおける『近しさ』の実践」	2025.4.30	『家族社会学研究』第37巻第1号	単	単著/pp.64-77。		
学会発表						
文化・知識・科学（1）	2025.5.31	関西社会学会第76回大会	単	司会		
「何が家族実践を構成するのか」	2025.6.1	関西社会学会第76回大会	単			
「ある」・「する」・「なる」——家族実践と時間	2025.9.6	日本家族社会学会第35回大会	単			
学外研究助成金 （支給額は当該年度の直接経費配分額）						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
出産・子育て応援ヘルパー事業の質的研究	日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究（C）		代	1,200	2025	2027
学内研究助成金						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
2022.7-現在	家族問題研究学会・『家族研究年報』編集委員					
2025.10-現在	日本社会学会・『社会学評論』専門委員					
社会貢献活動						
公開講座						
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名等					
海外での活動						
期間	国名	概要				

佐藤 園子

学位						
学士（教養），修士（学術），博士（文学）						
専門分野						
フランス語圏文化研究						
研究課題						
フランス近現代詩、文学における多言語使用、環境詩学						
教育活動						
<u>担当授業（大学）</u>						
プロジェクトA(II), フランスの文化・文学(II), フランスの文化・文学(III), 入門ゼミ(Ⅰ), 文献ゼミ, Tutorial for Exchange Student, 専攻ゼミ(Ⅰ), 専攻ゼミ(Ⅱ), 卒業論文, フランス語(II)(文学・言語), フランス語(II)文学・芸術, クローバーゼミ						
<u>担当授業（大学院）</u>						
-						
研究活動						
名称		発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等	
著書・CD						
<i>Silvia Baron Supervielle : le pays de l'écriture</i>		2025.10.	Éditions Kimé	共	Sonoko Sato, "Traduire un autre : le silence partagé dans la poésie de Silvia Baron Supervielle" (p. 213-224)	
学術論文						
学会発表						
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル		助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度 終了年度
学内研究助成金						
フランス現代詩における地理的・言語的移動に関する研究—シルヴィア・パロン・シュペルヴィエルを中心に—		研究助成（総額）		代	300	
その他（著書、学術論文以外）の執筆および訳書						
映画字幕翻訳：マリオ・ダニエル・ヴィジャグラ監督作品『シルヴィア・パロン・シュペルヴィエル』		2025.11.22および2025.11.24上映		関西日仏学館（大阪）および神戸女学院大学（総合文化学科主催公開講演会）		単
学会役員						
就任期間		学会役員名				

社会貢献活動				
公開講座				
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要
シルヴィア・バロン・シュペルヴィエル 詩と映画をめぐる対話 映画上映会・監督講演会	2025.11.22	関西日仏学館（大阪）	単	映画上映会および監督講演会の企画・主催。マリオ・ダニエル・ヴィジャグラ監督による講演「シルヴィア・バロン・シュペルヴィエル——映画と詩の間にありうる対話」において逐次通訳を担当し、フランス語詩と映像表現の関係を紹介した。
シルヴィア・バロン・シュペルヴィエル 詩と映画をめぐる対話 映画上映会・監督講演会（文学部総合文化学科主催 公開講演会）	2025.11.24	神戸女学院大学	単	映画上映会および監督講演会の企画・主催。マリオ・ダニエル・ヴィジャグラ監督による講演「シルヴィア・バロン・シュペルヴィエルをラ・プラタ河文学およびフランス文学の中にいかに位置づけるか」において逐次通訳を担当し、フランス語圏文学とラテンアメリカ文学の接点を紹介した。
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名等			
その他社会活動上特記すべき事項				
2026.3.19 神戸大学「第5回フランス語プレゼンテーション大会」審査員				
海外での活動				
期間	国名	概要		

田村 美由紀

学位						
学士（文学），修士（文学），博士（学術）						
専門分野						
日本近現代文学						
研究課題						
ジェンダー批評・フェミニズム批評・クィア批評の方法論に基づいた日本近現代文学研究						
教育活動						
<u>担当授業（大学）</u>						
プロジェクトA(V),入門ゼミ(Ⅰ),文献ゼミ,専攻ゼミ(Ⅰ),専攻ゼミ(Ⅱ),卒業論文,国語科教育法Ⅱ,国語科教育法Ⅳ,教育実習Ⅰ,教育実習Ⅱ,クローバーゼミ,日本文学概論(Ⅱ),日本近現代文学研究(Ⅰ),日本近現代文学講読(Ⅱ),日本文学史(Ⅱ)						
<u>担当授業（大学院）</u>						
日本文学演習Ⅱ						
研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
『改訂版 高等学校 現代の国語 教授資料1 (読解と論述1)』	2026.3	数研出版	共	pp.137-167。(担当教材：松村圭一郎「異文化を理解する」とは)」		
『改訂版 高等学校 現代の国語 教授資料2 (思考を深める2)』	2026.3	数研出版	共	pp.41-73。(担当教材：松村圭一郎「わたし」の輪郭)」		
学術論文						
学会発表						
「トラウマと台湾のクィア文学」	2026.1.5	科研費研究課題「傷／傷跡としての戦後日本——ポスト冷戦期における生政治と文学」主催のワークショップ	共	コメンテーター		
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
傷／傷跡としての戦後日本——ポスト冷戦期における生政治と文学	日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的研究(萌芽)		分	190	2024	2026
学内研究助成金						
その他(著書、学術論文以外)の執筆および訳書						
「書くをひらく1」	2025.6.25	筑摩書房『Webちくま』	単	ウェブサイトへの掲載		
「書くをひらく2」	2025.7.24	筑摩書房『Webちくま』	単	ウェブサイトへの掲載		
「書くをひらく3」	2025.8.21	筑摩書房『Webちくま』	単	ウェブサイトへの掲載		
「書くをひらく4」	2025.9.24	筑摩書房『Webちくま』	単	ウェブサイトへの掲載		
「書くをひらく5」	2025.10.23	筑摩書房『Webちくま』	単	ウェブサイトへの掲載		
寄稿：「女性史学賞を受賞して」	2025.10.30	『日本アジア言語文化学会報』第16号、奈良女子大学日本アジア言語文化学会	単	p.5。		
書評：泉谷瞬編『金原ひとみ(現代女性作家読本22)』	2025.11.15	『日本近代文学』第113集、日本近代文学会	単	p.347。		

「書くをひらく6」	2025.12.25	筑摩書房『Webちくま』	単	ウェブサイトへの掲載
「書くをひらく7」	2026.1.30	筑摩書房『Webちくま』	単	ウェブサイトへの掲載
書評：小川公代『ゆっくり歩く』	2026.2.7	『図書新聞』3723号、 武久出版	単	3面
「書くをひらく8」	2026.2.27	筑摩書房『Webちくま』	単	ウェブサイトへの掲載
随筆：「「流暢さ」とは異なるなにか」	2026.3.6	『群像』2026年3月号、 講談社	単	pp.338-339。
エッセイ：「書くことの障害とどう向き合うのか」	2026.3.15	『社会文学』第63号、社 会文学会	単	pp.133-136。
「書くをひらく9」	2026.3.30	筑摩書房『Webちくま』	単	ウェブサイトへの掲載
書評：レベッカ・コーブランド編『近現代日本の女性作家ハンドブック (Handbook of Modern and Contemporary Japanese Women Writers)』	2026.3.31	『日本研究』第72集、国 際日本文化研究センター	単	pp.128-132。
学会役員				
就任期間		学会役員名		
2025.4-2025-6		全国大学国語国文学会 選挙管理委員		
2025.4-現在		日本近代文学会関西支部『関西近代文学』 編集委員		
2025.7-現在		昭和文学会 会務委員		
2025.12-現在		日本文学協会（近代部門）委員		
社会貢献活動				
公開講座				
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名等		
海外での活動				
期間	国名	概要		
2026.1.5-9	台湾	科研費課題「傷／傷跡としての戦後日本——ポスト冷戦期における生政治と文学」に関する調査		

researchmap ; https://researchmap.jp/m_tamura

Xavier John LUCK

学位				
B.Mus Honours, ARCM, Magister Artium				
専門分野				
Flute Performance Practice, Orchestral Repertoire, Chamber Music, and Musical Analysis				
研究課題				
Flute Performance, Chamber Music, and Orchestral Repertoire				
教育活動				
<u>担当授業 (大学)</u>				
オーケストラ, 管打合奏, 専門実技(管楽器) I, 室内楽, 管楽器Major(IV), 音楽実技(管楽器), 器楽Second Major(フルート)				
<u>担当授業 (大学院)</u>				
器楽実技 I, 室内楽特別実習 I				
研究活動				
	名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共 共著者、共同発表者、共演者、担当頁等
著書・CD				
CD 「Franz & Karl Doppler — Melodic Explorations through Works for 2 Flutes and Piano」	2026.03.13	Laplace Records (森音楽事務所)	共	ラック・ザビエル (フルート)、上野星矢 (フルート)、寺島千紘 (ピアノ) F. & K. ドップラー作品集 《Rigoletto Fantaisie Op.38》 《Souvenir de Prague Op.24》 《Valse de bravura Op.33》 《Konzert-Paraphrase Op.18》 《Fantaisie hongroise Op.35》 《La Sonnambula Op.42》 《Sonata for 2 Flutes and Piano Op.25》 《Duetto hongrois Op.36》 担当：フルート演奏 (全曲) (神戸女学院大学研究所助成による成果)
学術論文				
オーケストラ探訪 Vol.3 オーケストラで奏でる様々な仕事				
学会発表				
演奏会・発表会				
オーケストラ探訪 Vol.3	2025.04.26	神戸新聞 松方ホール	共	アンサンブル神戸、矢野正浩 (指揮) Program: C.M. von Weber : 歌劇《魔弾の射手》序曲, E. Grieg : 《ペール・ギュント》より「山王の宮殿にて」, G. Bizet : 歌劇《カルメン》より 間奏曲, P. Tchaikovsky : 《白鳥の湖》より 情景, P. Sarasate : ツィゴイネルワイゼン, W.A. Mozart : 交響曲第39番 変ホ長調 K.543 より 第3楽章, L. Beethoven : 交響曲第5番 八短調 Op.67 より 第2楽章, W.A. Mozart : 《レクイエム》より, G. Bizet : 《カルメン組曲》より「闘牛士の歌」, L. Beethoven : 交響曲第9番 二短調 Op.125 より 第2楽章, P. Tchaikovsky : 《くるみ割り人形》より「花のワルツ」, J. Strauss II : 常動曲

"PIANO+" 木管五重奏	2025.04.29	兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール	共	ザビエル・ラック(フルート)、宮村和宏(オーボエ)、稲本渡(クラリネット)、桑原正善(ファゴット)、岡田喜美子(ホルン)、草島玲奈(ピアノ) Program : C. Saint-Saëns : デンマークとロシアの俗謡による奇想曲 Op.79 L. Beethoven : ピアノと管楽のための五重奏曲 変ホ長調 Op.16 L. Thuille : ピアノと管楽のための六重奏曲 変ロ長調 Op.6
アンサンブル神戸 第89回定期演奏会	2025.05.24	神戸新聞 松方ホール	共	アンサンブル神戸、矢野正浩 (指揮) Program : W.A. Mozart : ディヴェルティメント ニ長調 K.136 W.A. Mozart : ピアノ協奏曲第23番 イ長調 K.488 W.A. Mozart : 交響曲第40番 ト短調 K.550
令和7年度舞台芸術等総合支援事業学校巡回公演本公演	2025.06.12 2025.06.13 2025.06.18 2025.06.19 2025.06.20	丹波市立船小学校 丹波市立東小学校 徳島市入田小学校 三豊市立桑山小学校 松山市立味生第二小学校	共	アンサンブル神戸、矢野正浩 (指揮) Program : E. Grieg : 《ペール・ギュント》より「朝」 E. Elgar : 愛の挨拶 J. Strauss II : クラップフェンの森にて L. Beethoven : 交響曲第5番 ハ短調 Op.67 より 第1楽章 W.A. Mozart : アイネ・クライネ・ナハトムジーク 第1楽章 J. Brahms : ハンガリー舞曲第5番 W.A. Mozart : ポストホルン・セレナーデ 第6楽章 J. Haydn : オラトリオ《四季》より 冬 L. Beethoven : 交響曲第6番 ヘ長調 Op.68 《田園》より 第4楽章 A. Dvořák : 交響曲第9番 ホ短調 Op.95 《新世界より》より 第2楽章 F. Mendelssohn : 《真夏の夜の夢》より ノットウルノ J. Strauss I : ラデツキー行進曲
第2回 日本フルートフェスティバル in 兵庫	2025.07.06	神戸文化ホール	共	ザビエル・ラック(フルート)、酒井秀明(指揮)、兵庫県フルートオーケストラ Program : 芥川也寸志 : 弦楽のための三楽章《トリプティック》(編曲:秋透・平岡洋子) W.A. Mozart : アンダンテ ハ長調 K.315 (編曲: Shaul Ben-Meir) M. Ravel : スペイン狂詩曲より「祭り」 仮屋賢一 : SAKURA “にゃ” 猫メドレー 三浦真理 : SAKURA for Seasons (ロングバージョン) 松浦伸吾 : 5本のフルートとフルートオーケストラのための小協奏曲「花薫る道」 M. Ravel : 組曲《マ・メール・ロワ》(編曲: 仮屋賢一)

Orchestre de la Suisse Romande Japan Tour	2025.07.09	サントリーホール	共	Orchestre de la Suisse Romande、ジョナサン・ノット(指揮)、HIMARI(ヴァイオリン) Program : M. Jarrell : ドビュッシーによる3つのエチュード J. Sibelius : ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 Op.47 I. Stravinsky : バレエ 《春の祭典》
Orchestre de la Suisse Romande Japan Tour 《京都コンサートホール開館30周年記念事業》	2025.07.11	京都コンサートホール	共	Orchestre de la Suisse Romande、ジョナサン・ノット(指揮)、上野通明(チェロ) Program : W. Blank : モルフォーシス D. Shostakovich : チェロ協奏曲第1番 変ホ長調 Op.107 I. Stravinsky : バレエ 《ペトルーシュカ》(1911年版)
Orchestre de la Suisse Romande Japan Tour [公益財団法人 鳥取県文化振興財団]	2025.07.12	とりぎん文化会館 梨花ホール	共	Orchestre de la Suisse Romande、ジョナサン・ノット(指揮)、HIMARI(ヴァイオリン) Program : C. Debussy : 牧神の午後への前奏曲 J. Sibelius : ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 Op.47
Orchestre de la Suisse Romande Japan Tour [第48回名古屋国際音楽祭]	2025.07.13	名古屋 愛知県芸術劇場コンサートホール	共	Orchestre de la Suisse Romande、ジョナサン・ノット(指揮)、HIMARI(ヴァイオリン) Program : M. Jarrell : ドビュッシーによる3つのエチュード J. Sibelius : ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 Op.47 I. Stravinsky : バレエ 《春の祭典》
スーパークラシックアンサンブル 第9回特別演奏会	2025.07.19	吹田市文化会館 メイシアター	共	ライナー・キュッヒル(ヴァイオリン)、スーパークラシックアンサンブル Program : W.A. Mozart : コンチェルトーネ ハ長調 K.190 L. Beethoven : 交響曲第1番 ハ長調 Op.21 P.I. Tchaikovsky : ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 Op.35
星雲杯 浙江省笛交流・演奏会	2025.08.09	中国・杭州市 グランドハイアットホール	共	ザビエル・ラック(フルート) Program : B. Dean : デーモンズ 武満徹 : エア G.P. Telemann : 幻想曲第7番 ニ長調
第22回コンヴェンション in KOBE 2025 ヤマハ ショーケース [Avec Idéal]	2025.08.21	神戸国際会議場	共	ザビエル・ラック(フルート)、上野星矢(フルート)、岡田将(ピアノ) Program : B. Dean : デーモンズ C. Debussy : ヴァイオリン・ソナタ ト短調 L.140 (フルート編曲版) F. Doppler : ハンガリー田園幻想曲 Op.26

フルートセレブレーション2025『晩夏の夢』	2025.08.27	大阪市中央公会堂 中集会室	共	ゲイリー・ショッカー、上野星矢、ザビエル・ラック(フルート)、フルート・セレブレーション・オーケストラ Program : W.A. Mozart : ディヴェルティメント ニ長調 K.136 W.A. Mozart : アンダンテ ハ長調 K.315 G. Schocker : MOKUHANGA G. Schocker : Blue Bossa G. Schocker : In and Out C. Chaminade : コンチェルティーノ G. Bizet : カルメン組曲
フルートセレブレーション2025『晩夏の夢』	2025.08.30	東京オペラシティ コンサートホール	共	ゲイリー・ショッカー、上野星矢、ザビエル・ラック (フルート)、フルート・セレブレーション・オーケストラ Program : W.A. Mozart : ディヴェルティメント ニ長調 K.136 W.A. Mozart : アンダンテ ハ長調 K.315 G. Schocker : MOKUHANGA G. Schocker : Blue Bossa G. Schocker : In and Out C. Chaminade : コンチェルティーノ G. Bizet : カルメン組曲
華麗なる響宴 ～Special Gala Concert～	2025.09.06	神戸朝日ホール	共	吉川隆弘(ピアノ)、日野真一郎(歌)、稲本渡(クラリネット)、スペシャルガラオーケストラ Program : M. Ravel : ポレロ C. Debussy : 牧神の午後への前奏曲 日本の伝統音楽および現代作品
KOBE国際音楽祭 まちなかコンサート	2025.09.08	世良美術館	共	Kobe Flute Quartet Program : C. Debussy : 小組曲 (フルート四重奏版) F. Kuhlau : グランド・カルテット Op.103 J.S. Bach : パルティータ イ短調 BWV1013 K.J. Andersen : 練習曲 Op.15 より 第3番 E. Bozza : 夏山の日 R. Guillot : ディヴェルティメント・ジャズ
M-INT Kobe Salon Concert 「初秋を彩るフルート四重奏」	2025.09.26	ミント神戸	共	Kobe Flute Quartet Program : G. Rabboni : フルート四重奏曲 A. Reicha : フルート四重奏曲 R. Guillot : ディヴェルティメント・ジャズ R. Rodgers : サウンド・オブ・ミュージック メドレー

令和7年度舞台芸術等総合支援事業 学校巡回公演	2025.10.14 2025.10.15 2025.10.16 2025.10.17	高知県立日高特別支援学校 四万十市立西土佐中学校 高知県津野町立葉山中学校 徳島県海陽中学校	共	同前（令和7年度舞台芸術等総合支援事業学校巡回公演）
ザビエル・ラック フルート演奏会（三光院・十月堂）	2025.11.09	三光院・十月堂	共	ザビエル・ラック、ラック 三智子(フルート) Program : C. Debussy : シランクス E. Bozza : イマージュ G.P. Telemann : カノン風ソナタ G. Schocker : ラブバード W.A. Mozart : オペラ二重奏集より C.P.E. Bach : ソナタ イ短調 Wq.132 武満徹 : ヴォイス J. Andersen : エチュード Op.15 第3番 I. Clarke : グレート・トレイン・レース G. Bizet : カルメン幻想曲
ひろがりゆく声明 秋の綻び・フルートの音色	2025.11.16	三井寺観音堂	共	ザビエル・ラック(フルート)、木下真希(ヴァイオリン)、中田美穂(ヴィオラ)、佐藤響(チェロ) Program : W.A. Mozart : フルート四重奏曲 ニ長調 K.285 L. Beethoven : セレナーデ ニ長調 Op.25 A. Dvořák : 弦楽四重奏曲第12番 ヘ長調 Op.96 《アメリカ》(S.コンツ編 フルート版)
令和7年度舞台芸術等総合支援事業学校巡回公演	2025.11.21	神戸市立高丸小学校	共	同前（令和7年度舞台芸術等総合支援事業学校巡回公演）
市民の第九	2025.12.13	神戸文化ホール	共	栗辻聡（指揮）、市民の第九オーケストラ、市民の第九合唱団 Program : L. Beethoven : 交響曲第9番 ニ短調 Op.125 「合唱付き」
クリスマスフルートセレブレーション 2025	2025.12.20	ロームシアター京都	共	ザビエル・ラック、上野星矢(フルート)、フルート・セレブレーション・オーケストラ Program : A. Piazzolla : アヴェ・マリア W.A. Mozart : エクスルターテ・ユピラーテより「アレルヤ」 W.A. Mozart : フルートとハープのための協奏曲 C. Debussy : 月の光 P.I. Tchaikovsky : くるみ割り人形組曲

25周年記念公演 第271回 ラック・ザビエル フルート・リサイタル～フランス音楽のタベ～	2026.01.15	大阪倶楽部 4階ホール	共	ザビエル・ラック(フルート)、鈴木華重子(ピアノ) Program : L. Boulanger : 春の朝に C. Debussy : シランクス A. Duvernoy : 小協奏曲 Op.45 C. Franck : ソナタ イ長調 (ヴァイオリン・ソナタによる)	
第26回特別演奏会	2026.01.24	神戸新聞松方ホール	共	アンサンブル神戸、矢野正浩 (指揮) Program : R. Schumann : 交響曲第3番「ライン」Op.97 J.G. Rheinberger : レクイエム Op.60	
第6回 若い音楽家のコンサート	2026.02.11	ルミエールホール	共	レンツイ・フリック(ヴァイオリン)、ザビエル・ラック(フルート)、中出悦子(チェンバロ) Program : A. Vivaldi : ヴァイオリン協奏曲 RV356 G.F. Handel : 歌劇《リナルド》より J.S. Bach : マニフィカートより A. Vivaldi : ヴァイオリン協奏曲 RV310 J.S. Bach : クラヴィア協奏曲 BWV1052 J.S. Bach : 二重協奏曲 BWV1043 J.S. Bach : ブランデンブルク協奏曲第5番	
フルートとピアノと共に、音楽の旅へ～ウィーンからパリへ～	2026.02.24～ 02.28	オクソン・ミュージックサロン (大阪)	共	ザビエル・ラック(フルート)、岡田将(ピアノ) Program : W.A. Mozart : ソナタ第1番 変ロ長調 K.10 L. Beethoven : セレナーデ ニ長調 Op.41 F. Schubert : セレナーデ D.957 -4 F. Doppler : ハンガリー田園幻想曲 Op.26 C. Debussy : シランクス C. Saint-Saëns : ロマンズ Op.37 L. Boulanger : 春の朝に B. Godard : 《3つの小品からなる組曲》よりワルツ Op.116	
第93回定期演奏会	2026.03.14	神戸新聞松方ホール	共	アンサンブル神戸、矢野正浩(指揮)、中村太紀(ピアノ) Program : C. Debussy (A. Caplet 編) : 子供の領分 M. Ravel : ピアノ協奏曲 ト長調 F. Mendelssohn : 交響曲第1番 ハ短調 Op.11	
作曲・編曲・振付					
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)					
研究タイトル	助成金種類、支給元	代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金					

学会役員				
就任期間	学会役員名			
社会貢献活動				
公開講座				
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要
公開レッスンでの指導				
ヤマハミュージックジャパン マスタークラス (東京)	2025.04.14	ヤマハアトリエ東京	共	5名 (上級・コンクール志向学生) 内容: Karg-Elert 《Symphonische Canzone》、Telemann 《Fantasia in D major》、尾高尚忠 《フルート協奏曲》、Karg-Elert 《Sonata Appassionata》、Sancan 《Sonatine》 指導分野: 現代奏法・構造理解・音色コントロール
第4回 合同フルート勉強会 (大阪音楽大学 × 神戸女学院大学)	2025.04.29	ドルチェミュージックサロン梅田、大阪	共	10名 内容: びわ湖国際フルートコンクール課題曲および演奏技術指
ザビエル・ラック・ファンダメンタルズ マスタークラス&公開レッスン	2025.06.09	ヤマハアトリエ東京	共	5名 (大学・大学院) 内容: Bernold/Hoyas/Wieserによる基礎教材、Brahms交響曲第4番、Debussy 《牧神の午後への前奏曲》、Saint-Saëns 《動物の謝肉祭》、R. Strauss/Schubertソナタ作品 指導分野: 基礎技術体系化・アンブシュア・オーケストラスタディ
星雲杯 浙江省笛交流・演奏会 マスタークラス/個人レッスン	2025.08.09	中国・杭州市	共	20名 内容: バッハからベリオに至る幅広いレパートリーを用いた指導 指導分野: 呼吸法・基礎技術・音楽表現
上野星矢 × ザビエル・ラック フルード夏合宿	2025.08.15-19	長野県 (ニュー横手)	共	24名 内容: 個人レッスン、アンサンブル指導、公開レッスンを含む集中講座
第1回 西宮プラス・クリニック実行委員会	2025.10.05	西宮市民会館	共	10名 内容: アンサンブルにおける音程精度・バランス・発音の統一、および音色と響きの最適化を目的とした実践的
ヤマハミュージックジャパン マスタークラス (東京)	2025.10.23	ヤマハアトリエ東京	共	5名 (上級・コンクール志向学生) 内容: Dutilleux 《Sonatine》、Telemann 《Fantasia in C major》、Ibert 《フルート協奏曲》、武満徹 《Voice》、オーケストラスタディ 指導分野: 近現代作品解釈・音色・奏法統合
Muramatsu Osaka International Masterclass & Private Lessons	2025.11.22	ムラマツリサイタルホール新大阪	共	4名 (上級) 内容: Ibert 《Pièce》、C.P.E. Bach 《Sonata in A minor》、Mozart 《Flute Concerto K.313》、Karg-Elert 《Sonata Appassionata》
Muramatsu Osaka International Masterclass & Private Lessons	2026.01.25	ムラマツリサイタルホール新大阪	共	3名 (上級) 内容: Bozza 《Image》、Taffanel 《Freischütz Fantaisie》、Nielsen 《Flute Concerto》
第2回 西宮プラス・クリニック実行委員会	2026.01.31	12名 内容: アンサンブルにおける音程精度・バランス・発音の統一、および音色と響きの最適化を目的とした実践的指導	共	12名 内容: アンサンブルにおける音程精度・バランス・発音の統一、および音色と響きの最適化を目的とした実践的指導

Muramatsu Osaka International Masterclass & Private Lessons	2026.02.28	ムラマツリサイタルホール新大阪	共	4名（上級）内容：Telemann 《Fantasia in A minor》、Doppler 《Hungarian Fantaisie》、Mozart 《Flute Concertos K.313/K.314》
コンクール等の審査				
第28回びわ湖国際フルートコンクール	2025.05.03-05	ガリバーホール（滋賀県高島市）	共	びわ湖国際フルートコンクール実行委員会
第11回関西の音楽大学オーケストラフェスティバルオーデション	2025.05.11	大阪音楽大学	共	関西音楽大学協会
2025「星韵杯」浙江省フルートコンクール	2025.08.07-09	杭州インターコンチネンタルホテル 宴会ホール（中国・浙江省杭州市）	共	星韵杯実行委員会
第22回日本フルートコンヴェンション in KOBE 2025 コンクール・ソロ部門	2025.08.20-24	神戸国際会議場	共	日本フルート協会（Japan Flutists Association）
第79回全日本学生音楽コンクール 大阪大会予選（中学校の部）	2025.09.20	ザ・フェニックスホール	共	毎日新聞社
第79回全日本学生音楽コンクール 大阪大会予選（高校の部）	2025.09.21	ザ・フェニックスホール	共	毎日新聞社
第79回全日本学生音楽コンクール 大阪大会（予選・本選）	2025.10.13	ザ・フェニックスホール	共	毎日新聞社
第10回堺管打楽器コンクール	2026.02.22	堺市立西文化会館ウェスティホール	共	堺管打楽器コンクール実行委員会 後援: 堺市
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名等			
2025.04-現在	関西音楽大学協会（実行委員）			
2025.04-現在	関西の音楽大学オーケストラフェスティバル（実行委員）			
海外での活動				
期間	国名	概要		

松本 薫平

学位				
学士（音楽）				
専門分野				
声楽				
研究課題				
オペラ, 歌曲, 宗教曲				
教育活動				
担当授業（大学）				
専門実技(声楽),副科実技(声楽),声楽アンサンブル,声楽Minor,ミュージカル基礎演習,声楽Major,オペラ実習,音楽実技(声楽),選択副科実技(声楽),選択第二専門実技(声楽)				
担当授業（大学院）				
声楽実技Ⅰ				
研究活動				
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等
著書・CD				
学術論文				
学会発表				
演奏会・発表会				
ムジークフェストなら2025 奈良フィル ハーモニー管弦楽団交響曲第九番「合唱 付き」	2025.5.18	DMG MORI やまと郡山 城ホール大ホール	共	主催/奈良県 ムジークフェストなら 実行委員会。共演/栗辻聡、大原末子 、西村規子、大谷圭介。曲目/ベー トーベン交響曲第九番。
花みずきコンサートvol.1 ～震災から30年、忘れない想い未来に響 け～	2025.6.15	ピフレホール	共	主催/神戸音楽家協会。共演/釈迦郡 洋介。曲目/ヴェルディ「レクイエ ム」我は嘆く。
サマーコンサート	2025.7.6	アラバスクホール	共	主催/加古川市合唱連盟。共演/コー ロ・松の風、南山あい。曲目/いのち の歌、群青。
京都市立京都堀川音楽高等学校 第52回オーケストラ定期演奏会	2025.7.21	京都コンサートホール 大ホール	共	主催/京都市立京都堀川高等学校、京 都市教育委員会。共演/明石幸大、乃 村八千代、田内愛、片桐直樹。曲目/ モーツァルト「レクイエム」。
Canzone da KOBE 11人の男が贈る愛の メッセージ	2025.8.2	神戸新聞松方ホール	共	主催/兵庫県音楽活動推進会議。共演 /江頭義之、桑井謙三。曲目/タッリ アファッリ 情熱、デ・クルティス 泣かないお前。
創立40周年記念 奈良フィルハーモニー 管弦楽団40周年 奈良フィルハーモニー 混声合唱団25周年記念 特別演奏会	2025.9.14	奈良県橿原文化会館 大 ホール	共	主催/特定非営利活動法人奈良フィル ハーモニー管弦楽団・奈良フィル ハーモニー混声合唱団。共演/栗辻 聡、梨谷桃子、馬場菜穂子、大谷圭 介。曲目/ヴェルディ「レクイエム」。

明石フィルハーモニー管弦楽団 第37回定期演奏会	2025.9.21	明石市民会館 アワーズ ホール大ホール	共	主催/明石フィルハーモニー協会。共演/斉田好男、松田緑、鬼一薫、井上敏典。曲目/「トスカ」星は光りぬ、「トゥーランドット」誰も寝てはならぬ。
びわこのこえフェスティバルvol.8 オペラさんといっしょ	2025.9.23	びわ湖ホール 中ホール	共	主催/びわこのこえ。共演/並河寿美、植松さやか他。曲目/「トロヴァトーレ」見よ、恐ろしい炎を。
みつなかオペラ プレミアム・ガラ	2025.10.26	川西市みつなかホール	共	主催/(公財)川西文化・スポーツ振興財団。共演/尾崎比佐子、福原寿美枝、迎肇聡、片桐直樹他。曲目/「愛の妙薬」人知れぬ涙、「ランメルモールのルチア」六重唱～フィナーレ。
松本薫平✕コーロ・松の風 クリスマスコンサート	2025.12.19	せいりょう園	共	主催/社会福祉法人 はりま福祉会 せいりょう園。共演/コーロ・松の風、金月里紗。曲目/川の流れるように、心の扉、はっか草他。
オールスター紅白オペラ歌合戦	2025.12.26	ザ・シンフォニーホール	共	主催/ザ・シンフォニーホール。共演/大阪交響楽団、粟辻聡、斉藤言子、田中勉他。曲目/「ラ・ボエーム」冷たき手を。
安八町で第九を歌おまい! あんぱち音楽祭 響け! 歓喜の歌 安八町合併70周年記念第九演奏会	2025.12.30	安八町中央公民館 大ホール	共	主催/安八町合併70周年記念事業「あんぱち音楽祭」実行委員会。共演/山下一史、岡田如実、宇野啓子、近野賢一、愛知室内オーケストラ。曲目/ベートーベン交響曲第9番。
帝国ホテルの音楽會 ～ニューイヤーチャリティーチャペルコンサート～	2026.1.3	帝国ホテル大阪 チャペル	共	主催/帝国ホテル大阪。共演/尾崎比佐子、西原綾子、西尾岳史、矢崎真理。曲目/暁は光から、「ニューシネマパラダイス」愛のテーマ、「道化師」衣装をつけろ他。
ニューイヤー・ガラコンサート	2026.1.25	神戸市産業振興センター ハーバーホール	共	主催/外山聖子Musica Salone Girasole。共演/須山由梨、阿野康子、外山聖子、井原秀人他。曲目/「トスカ」星は光りぬ、「ドン・ジョヴァンニ」この人を信じてはいけません。
フェニックスコンサート59th 音楽のフルコースvol.22 私の好きなあの曲この曲	2026.3.21	神戸新聞松方ホール	共	主催/兵庫県音楽活動推進会議。共演/なかにしかかね。曲目/なかにしかかね「木のように」「椿」。

作曲・編曲・振付					
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)					
研究タイトル	助成金種類、支給元	代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金					
総合芸術としてのミュージカル教育のカリキュラム開発に関する研究～表現力・創造力を育む実践的学習の構築	総合研究助成 (総額)	分	1,500		
学会役員					
就任期間	学会役員名				
社会貢献活動					
公開講座					
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要	
公開レッスンでの指導					
コンクール等の審査					
2025カワイうたのコンクール	2025.4.26	クオレ大阪南	共	主催/カワイ音楽コンクール関西地区委員会。	
2025年 第3回ブリマヴェーラ声楽コンクール	2025.4.28,29	LICはびきの・ホールM	共	主催/一般社団法人カンタームス。	
第12回 あおによし音楽コンクール奈良	2025.8.27	兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール	共	主催/あおによし音楽コンクール奈良実行委員会。	
The26th 2025 大阪国際音楽コンクール	2025.8.17、 10.11	東灘区民センターうはらホール	共	主催/大阪国際音楽振興会。	
第4回国際声楽コンクール東京	2025.10.3	たんば田園交響ホール	共	主催/一般社団法人カンタームス。	
学外機関委員等					
就任期間	機関名・委員名・役職名等				
海外での活動					
期間	国名	概要			

松浦 修

学位			
学士（教育学）, M.Mus. PG.Dop., 修士（音楽）			
専門分野			
指揮, 音楽教育			
研究課題			
オーケストラ作品の演奏表現の追求, オペラ及び合唱作品の音楽表現の追求, オーケストラの指導法研究, 教員養成における実践的指導力育成に向けた授業開発, コミュニケーションの活性化による音楽の授業づくり			
教育活動			
<u>担当授業（大学）</u>			
音楽科教育法Ⅰ, 音楽科教育法Ⅱ, 音楽科教育法Ⅲ, 音楽科教育法Ⅳ, 教職実践演習(中・高), 教育実習Ⅰ, オーケストラ, 弦楽合奏, ミュージカル基礎演習, スコア・リーディング, 指揮法, 合唱, 舞台芸術制作基礎演習, キャリア・コーチング, 応用ゼミ(課題解決型演習), 舞台芸術制作演習Ⅰ, 舞台芸術制作演習Ⅱ			
<u>担当授業（大学院）</u>			
オーケストラ特別実習Ⅰ			
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要
教員採用試験対策指導（音楽科）	2025年度	音楽学科4年生教職課程履修者	教員採用試験を目指す学生に対し、音楽科の専門教養や実技、小論文、面接、模擬授業などの総合的な対策を行い、個別のニーズに応じた指導で合格を支援している。
教職オリエンテーションを含むキャリアガイダンス	2025年度	音楽学科1～3年生教職課程履修者	教職課程の担当教員として、下級生に教職オリエンテーションを含むキャリアガイダンスを行い、教員の仕事内容や必要な準備を具体的に説明している。魅力だけでなく責任や困難も伝え、教職への理解と進路意識の向上を支援している。
音楽科教育法における模擬授業実践	2025年度	音楽学科3年生教職課程履修者	音楽科教育法の授業では、理論と実践を結びつけるために、学生全員が30分の模擬授業を2回行えるようにし、指導力の向上を図っている。教案作成には授業外で個別指導を行い、丁寧な支援を通じて学生が自信を持って実践に臨めるようサポートしている。
ICTを活用した授業実践	2025年度	音楽学科教職課程履修者	学校現場でのICT活用を踏まえ、PowerPointやiPadを用いた授業を実践し、学生がICTを活用した効果的な授業デザインや指導法を学べるよう支援している。これにより、現代の教育環境に対応した指導力の向上を図っている。
学習指導要領および授業作成支援ハンドブックの作成・配布	2025年度	音楽学科3年生教職課程履修者	学習指導要領の要点や指導案の作成方法、模擬授業のポイントをまとめたハンドブックを作成・配布し、学生が教員に必要な基礎知識や授業準備を効率よく学べるよう支援している。授業の補助教材として活用され、授業計画や模擬授業の指針となっている。

オーケストラやウインドオーケストラの授業の運営と学生指導	2025年度	音楽学科学学生	オーケストラの授業では、セッティングや楽譜準備、演奏会の準備などを上級生のインスペクターを中心に学生の自治に委ねている。これにより、学生はチームワークやリーダーシップ、責任感、協調性を育み、将来の演奏会企画・実施能力を身につけるよう指導している。	
オープンキャンパスにおけるウインドオーケストラ授業体験	2025年度	中学・高校生	毎年6月のオープンキャンパスで、ウインドオーケストラの体験授業を実施し、中高生に吹奏楽の魅力を伝えている。実際の演奏体験を通じて音楽の楽しさを伝え、吹奏楽への興味を喚起し、プロの指導で演奏技術を学ぶことで、本学の教育の魅力を体感し、志願動機を高めている。	
音楽キャリアデザイン専攻アカデミックアドバイザー	2025年度	音楽キャリアデザイン専攻1・2年生	アカデミックアドバイザーとして学生と前期・後期に各1回個別面談を行い、学習指導、学生生活支援を行なった。	
研究活動				
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等
著書・CD				
学術論文				
学会発表				
演奏会・発表会				
ベガにオーケストラがやってきたVol.14～神戸女学院大学音楽学部オーケストラin宝塚(ウインドオーケストラ)	2025.6.23	宝塚ベガホール	共	主催/神戸女学院大学音楽学部。曲目/エルガー：威風堂々第1番他。
ベガにオーケストラがやってきたVol.14～神戸女学院大学音楽学部オーケストラin宝塚(オーケストラ)	2025.6.24	宝塚ベガホール	共	主催/神戸女学院大学音楽学部。曲目/ドビュッシー：牧神の午後への前奏曲、ラヴェル：スペイン狂詩曲より、ショパン：ピアノ協奏曲第1番、サン＝サーンス：交響曲第3番。
たいしウインドアンサンブルジョイントコンサート	2025.9.28	相生市立文化会館 扶桑電通なぎさホール	共	主催/たいしウインドアンサンブル。曲目：エルガー：威風堂々第1番。
神戸女学院大学音楽学部オーケストラwith 島崎央子 特別演奏会	2025.11.26	アミティ・ベイコムホール	共	主催/阪神大震災復興祈念コンサート実行委員会。曲目/ショスタコーヴィチ：祝典序曲、ショパン：ピアノ協奏曲第1番（独奏：島崎央子）、ムソルグスキー（ラヴェル編）：組曲「展覧会の絵」。
兵庫県立芸術文化センター開館20周年オーブ ンデー 子どものためのコンサート	2025.11.29	兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール	共	主催/兵庫県立芸術文化センター。演奏：神戸女学院大学音楽学部室内オーケストラ。

神戸女学院大学音楽学部定期演奏会	2025.12.2	兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール	共	主催/神戸女学院大学音楽学部。曲目/ラスカ：神戸女学院卒業式のための行進曲。ショスタコーヴィチ：祝典序曲、ニールセン：フルート協奏曲、ムソルグスキー(ラヴェル編)：組曲「展覧会の絵」。		
神戸女学院大学音楽学部ウインドオーケストラ ふれあいコンサート	2026.2.14	神戸女学院講堂	共	主催/神戸女学院大学音楽学部。曲目/ポロティン：ダッタン人の踊り他。		
神戸女学院大学音楽学部ウインドオーケストラ スペシャルコンサート	2026.2.27	ザ・シンフォニーホール	共	主催/神戸女学院大学音楽学部。曲目/ポロティン：ダッタン人の踊り他。		
はつかいちジュニア弦楽合奏団 NO・ZO・MI スプリング・フレッシュ・コンサート2026	2026.3.8	はつかいち文化ホール ウッドワンさくらびあ	共	主催/廿日市市。(公財)廿日市市芸術文化振興事業団。曲目/メンデルスゾーン：弦楽のためのシンフォニア第2番、バッハ：ブランデンブルク協奏曲 他。		
第1回KCミュージカル「美女と野獣」	2026.3.14	神戸女学院大学 エミリーブラウン記念館 スタジオ	共	プロデューサー・音楽監督。主催/神戸女学院大学音楽学部。管弦楽：神戸女子大学音楽学部シアターオーケストラ。		
作曲・編曲・振付						
神戸女学院クリスマス礼拝	2025.12.19	エレガーノ西宮	単	クリスマスキャロル等の室内オーケストラ編曲。		
エレガーノ西宮クリスマスコンサート	2025.12.22	エレガーノ西宮	単	クリスマスキャロル等の室内オーケストラ編曲。		
その他の研究発表、演奏						
神戸女学院創立150周年式典	2025.10.12	神戸女学院講堂	共	曲名/ラスカ：神戸女学院卒業式のための行進曲(編曲：佐々比香莉)。		
神戸女学院クリスマス礼拝	2025.12.19	神戸女学院講堂	共	クリスマスキャロル等。演奏/神戸女学院大学音楽学部。		
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金						
総合芸術としてのミュージカル教育のキャリアラム開発に関する研究～表現力・創造力を育む実践的学習の構築	総合研究助成(総額)		代	1,500		
学会役員						
就任期間			学会役員名			
社会貢献活動						
公開講座						
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要		
西宮市市政100周年記念式典での記念演奏	2025.4.20	西宮市民会館	共	西宮市からの依頼により、記念式典のオープニング演奏を音楽学部学生が担当した。コーディネーターとして関係調整を行うとともに、学生への指導を行った。		

西宮市ブラスクリニック	2025年度	神戸女学院大学	共	内容/西宮市などが主催する「西宮市ブラスクリニック」を神戸女学院大学が連携して行う取り組みのコーディネーターとして企画・運営。市内の中高計35団体が参加し、音楽学部講師による年4回のパート別クリニックを開催した。主催/西宮市教育委員会、西宮市吹奏楽連盟、西宮市文化振興財団。
スマリシケアライフ株式会社との産学連携協定による音楽プログラムの実践	2025年度	エレガーノ西宮	共	内容/大学と企業の連携による音楽プログラムの企画立案・運営。学生・卒業生・教員を高齢者施設に派遣しコンサート(6回)、教員講演会(1回)を実施した。
公開レッスンでの指導				
西宮市ブラスクリニック 指揮法講座	2026.1.31	アミティ・ベイコムホール	単	中高教員を対象に公開レッスンを実施。
コンクール等の審査				
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名等		
海外での活動				
期間	国名	概要		

なかにし あかね

学位					
Ph.D					
専門分野					
作曲, 歌曲伴奏					
研究課題					
ことばと音楽, イギリス歌曲					
教育活動					
担当授業 (大学)					
Tutorial for Exchange Student, 音楽理論Ⅰ, 合唱特別実習(Ⅰ), 合唱特別実習(Ⅱ), 特別専門実技(創作), 創作Major(Ⅳ), 領域研究C, テクニカル・ライティング, 選択副科実技(創作), 基礎ゼミ					
担当授業 (大学院)					
作品分析B, 副論文制作Ⅱ					
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要	
専任教員、非常勤教員、学生、保護者との面談		年間	専任教員、非常勤教員、学生、保護者		
研究活動					
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等	
著書・CD					
男声合唱曲集『木のように』	2025.5.25.	カワイ出版	単	星野富弘詩	
女声合唱曲「私は今立ちあがる」	2025.8.25.	カワイ出版	単		
女声合唱組曲『鳥に翼があるように』	2025.9.20.	カワイ出版	単	星野富弘詩	
女声合唱曲「詩編150編神をたたえよ音高らかに」	2025.10.10.	カワイ出版	単	飯謙訳詞	
CD『My Star私の星よ なかにしあかね 英詩による歌曲作品集』	2026.2.7.	ALMRecords	単	テノール辻裕久 ギター佐藤紀雄 ピアノなかにしあかね	
学術論文					
学会発表					
演奏会・発表会					
創立45周年記念コール・とがし第17回演奏会	2025.5.11.	金沢市文化ホール	共	共演/コール・とがし 客演指揮・ピアノ	
レディスカンタートinあおもりスペシャルコンサート	2025.7.27.	リンクモア平安閣市民ホール	共	スペシャルコンサート伴奏	
第29回英国歌曲展Plus静岡公演	2025.9.13.	江崎ホール	共	トークとピアノ伴奏	
第29回英国歌曲展Plus東京公演	2025.9.19.	東京オペラシティリサイタルホール	共	トークとピアノ伴奏	
八ヶ岳高原合唱フォーラムスペシャルコンサート	2025.10.28/29	八ヶ岳高原音楽堂	共	トークとピアノ伴奏	
兵庫県音楽活動推進会議MAH音楽のフルコース	2026.3.21.	神戸新聞松方ホール	共	ピアノ伴奏	
作曲・編曲・振付					
再演は含まず。新曲/編曲初演のみ記載。					
OSAKA MEN'S CHORUS THE 47th RECITAL	2025.5.25.	住友生命いずみホール	共	男声合唱組曲『木のように』初演	
舩の会第14回演奏会	2025.8.20.	横浜みなとみらいホール大ホール	共	女声合唱組曲『鳥に翼があるように』初演。ピアノ伴奏担当。	

響けこの歌声～仙台フィルと共に	2025.11.9.	日立システムズホール仙台 台コンサートホール	共	「ケヤキ」オーケストラ伴奏版初演。宮城県高校合同合唱団・仙台		
第70回早稲田大学合唱団記念定期演奏会	2025.12.13.	神奈川県立音楽堂	共	「大地の祈り」初演		
スターウィンド18周年コンサート	2026.2.15.	宮崎県立メディキット文化センター演劇ホール	共	混声合唱組曲『導きの月』初演		
女声合唱団コール・オアーズ第13回演奏会	2026.3.15.	横浜みなとみらいホール小ホール	共	「感謝の祈り」初演		
その他の研究発表、演奏						
創立150周年記念式典	2025.10.12.	神戸女学院エミリー・ホワイト記念講堂	共	「詩編150編神をたたえよ音高らかに」		
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
社会貢献活動						
公開講座						
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要		
関東レディースカンタート	2025.6.14.	埼玉会館	単	全日本合唱連盟関東支部主催。公開講座。		
東北レディースカンタートin青森	2025.7.27	リンクモア平安閣市民ホール	共	全日本合唱連盟東北支部主催。公開講座。		
八ヶ岳高原合唱フォーラム	2025.10.28-31	八ヶ岳高原音楽堂	単	八ヶ岳高原ロッジ主催。公開講座。		
群馬県合唱講習会	2026.2.23.	群馬県シンフォニーホール	単	群馬県合唱連盟主催。公開講座。		
宇都宮市民合唱協会合唱祭講師	2026.3.14.	宇都宮文化会館大ホール	単	宇都宮市民合唱協会主催。		
東京芸術大学声楽科特別公開講座	2026.3.30.	東京芸術大学	単	東京芸術大学主催。		
公開レッスンでの指導						
関東レディースカンタート	2025.6.14.	埼玉会館	単	個別公開レッスン。全日本合唱連盟関東支部主催。		
東北レディースカンタートin青森	2025.7.27.	リンクモア平安閣市民ホール	共	個別公開レッスン。全日本合唱連盟東北支部主催。		
群馬県合唱講習会	2025.2.23.	群馬県シンフォニーホール	単	群馬県合唱連盟主催。個別団公開レッスン。		
コンクール等の審査						
全日本おかあさんコーラス千葉県大会	2025.4.6.	青葉の森公園ホール	共	千葉県合唱連盟		
ゴールデンウェーブin横浜	2025.4.14.	横浜みなとみらいホール大ホール	共	ゴールデンウェーブ実行委員会		
全日本おかあさんコーラス静岡県大会	2025.4.20.	静岡音楽館AOI	共	静岡県合唱連盟		
全日本おかあさんコーラス東北支部大会	2025.6.15.	福島県立ふくしん夢の音楽堂	共	全日本合唱連盟東北支部。		
全日本おかあさんコーラス九州支部大会	2025.6.28-29	鹿児島島山ホール	共	全日本合唱連盟九州支部。		
全日本おかあさんコーラス関東支部	2025.7.5-6	YCC山梨県民文化ホール	共	全日本合唱連盟関東支部。		
全日本合唱コンクール長崎県大会	2025.7.13.	長崎市民会館文化ホール	共	長崎県合唱連盟		

全日本合唱コンクール宮城県大会	2025.8.30-31	日立システムズホール仙台コンサートホール	共	宮城県合唱連盟。
東京都合唱コンクール	2025.9.6-7	文京シビックホール大ホール	共	東京都合唱連盟
全日本合唱コンクール東北支部大会	2025.9.26-28	トーサイクラシックホール岩手	共	全日本合唱連盟東北支部。
北海道合唱コンクール	2025.10.5.	コーチャンフォー釧路文化ホール	共	北海道合唱連盟
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名等		
2023年7月～現在		兵庫県立西宮高等学校学校評議員		
海外での活動				
期間		国名	概要	

岡田 将

学位						
Konzert Diplom						
専門分野						
ピアノ						
研究課題						
ピアノ実技と演奏法						
教育活動						
<u>担当授業 (大学)</u>						
専門実技(ピアノ),副科実技(ピアノ),ピアノ重奏Ⅰ,ピアノ重奏Ⅱ,ピアノMajor,音楽実技(ピアノ),選択副科実技(ピアノ),選択第二専門実技(ピアノ)						
<u>担当授業 (大学院)</u>						
室内楽特別実習Ⅰ,室内楽特別実習Ⅱ						
研究活動						
	名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等	
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
演奏会・発表会						
作曲・編曲・振付						
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
	研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度 終了年度
学内研究助成金						
学会役員						
	就任期間	学会役員名				
社会貢献活動						
公開講座						
	講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要	
公開レッスンでの指導						
コンクール等の審査						
学外機関委員等						
	就任期間	機関名・委員名・役職名等				
海外での活動						
	期間	国名	概要			

佐々 由佳里

学位						
芸術学士, Magister der Künste						
専門分野						
ピアノ						
研究課題						
音色とタッチの関わりについて, 室内楽 (ピアノトリオ・ピアノを含む室内楽作品)						
教育活動						
<u>担当授業 (大学)</u>						
専門実技(ピアノ),副科実技(ピアノ),ピアノ重奏Ⅰ,ピアノMajor,ピアノMinor,室内楽,音楽実技(ピアノ)Ⅱ,選択副科実技(ピアノ)Ⅰ,選択第二専門実技(ピアノ)						
<u>担当授業 (大学院)</u>						
-						
その他教育活動上特記すべき事項						
	年月	対象者	概要			
室内楽の愉しみ (室内楽クラス発表会) 開催	2025.7.21	室内楽クラス発表会	ピアノ三重奏曲、ピアノ四重奏曲、ピアノ五重奏曲			
室内楽の愉しみ (室内楽クラス発表会) 開催	2026.2.17	室内楽クラス発表会	ピアノ三重奏曲、ピアノ四重奏曲、ピアノ五重奏曲			
研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
演奏会・発表会						
佐々由佳里室内楽シリーズVol.12 ピアノ四重奏で旅する”ボヘミアの風 Part II”	2025.8.7	ザ・フェニックスホール	共	共演：菊本恭子、三木香奈、Adrian Janke、Dvorak:ピアノ四重奏曲 No.2Brahmas:ピアノ四重奏曲No.1		
文化講演会 ピアノトリオ音楽会～やわらかな風に乗せて～	2026.2.28	スターゲートホテル関西エアポート	共	主催:NPO法人りんくうメディカルプラザ 出演:トリオ・フォンターナ Mozart:ピアノトリオK.502 Piazzolla:ブエノスアイレスの四季 他		
トリオ・フォンターナ2026春	2026.3.1	サロンドゥフロワラ芦屋フラット	共	トリオ・フォンターナ Mozart:ピアノトリオK.502 Piazzolla:ブエノスアイレスの四季 他		
作曲・編曲・振付						
その他の研究発表、演奏						
神戸女学院大学オープンキャンパス ミニコンサート	2025.8.3	音楽館ホール	共	共演：菊本恭子、三木香奈、Adrian Janke、Dvorak:ピアノ四重奏曲No.2		
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度

学内研究助成金				
学会役員				
就任期間	学会役員名			
社会貢献活動				
公開講座				
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要
エレガーノ西宮 ～室内楽の名曲を集めて～（監修と司会）	2026.2.23	エレガーノ西宮	共	産学連携を結んでいるエレガーノ西宮でのコンサート。室内楽菊本・佐々クラスの学生が出演。
公開レッスンでの指導				
奈良県立高円芸術高校ピアノ公開レッスン	2025.11.1	ホール	単	Beethoven:ソナタOp.31-3 第1楽章、Liszt:演奏会用練習曲「森のささやき」他
コンクール等の審査				
カワイこどもコンクール審査	2025.4.29	クレオ大阪南	共	カワイ音楽コンクール関西地区委員会
自泉ジュニアオーディション審査（予選）	2025.6.7	岸和田市立自泉会館	共	岸和田文化事業協会
泉の森フレッシュコンサート審査（予選）	2025.6.14	エブノ泉の森ホール	共	泉佐野市文化振興財団
自泉ジュニアコンサート審査（本選）	2025.7.6	岸和田市立自泉会館	共	岸和田文化事業協会
第42回ピアノオーディション、B部門審査	2025.11.22	神戸女学院大学音楽館ホール	共	（公財）日本ピアノ教育連盟
泉の森フレッシュコンサート審査（本選）	2025.11.30	エブノ泉の森ホール	共	泉佐野市文化振興財団
自泉ジュニア・フレッシュプレミアムフレッシュコンサート（審査）	2025.12.21	岸和田市立自泉会館	共	岸和田文化事業協会
ヤマハ・ジュニアピアノコンクールお店大会（本選）	2026.1.24	神戸ポートオアシス	共	ヤマハミュージック神戸店
ピアノ教育連盟オーディション全国大会出場者のための試演会（アドヴァイザー）	2026.3.8	ヤマハミュージックなんば店	共	（公財）ピアノ教育連盟関西支部
第9回ヤマハジュニアコンクール（Web審査）	2026.3		単	ヤマハミュージックジャパン
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名等			
2025.04～2026.03	岸和田文化事業協会理事			
2025.04～2026.03	（公財）日本ピアノ教育連盟関西支部副支部長			
その他社会活動上特記すべき事項				
佐々由佳里	ピアノアドヴァイスレッスン	2025.4.12	対象：小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催：コウキ商事
佐々由佳里	ピアノアドヴァイスレッスン	2025.5.17	対象：小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催：コウキ商事
佐々由佳里	ピアノアドヴァイスレッスン	2025.6.21	対象：小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催：コウキ商事
佐々由佳里	ピアノアドヴァイスレッスン	2025.7.12	対象：小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催：コウキ商事
佐々由佳里	ピアノアドヴァイスレッスン	2025.8.23	対象：小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催：コウキ商事
佐々由佳里	ピアノアドヴァイスレッスン	2025.9.6	対象：小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催：コウキ商事
佐々由佳里	ピアノアドヴァイスレッスン	2025.10.25	対象：小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催：コウキ商事
佐々由佳里	ピアノアドヴァイスレッスン	2025.11.29	対象：小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催：コウキ商事

佐々由佳里	ピアノアドヴァイスレッスン	2025.12.20	対象：小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催：コウキ商事
佐々由佳里	ピアノアドヴァイスレッスン	2026.1.10	対象：小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催：コウキ商事
佐々由佳里	ピアノアドヴァイスレッスン	2026.2.7	対象：小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催：コウキ商事
佐々由佳里	ピアノアドヴァイスレッスン	2026.3.21	対象：小学生～社会人	ヤマハ学園前センター、主催：コウキ商事
海外での活動				
期間	国名	概要		
2025.5.12～2025.5.23	オーストリア	Expo25で発表するMozarteumの合唱プロジェクトの練習会場として、世界各国からの学生が集まり、本学で9日間のリハーサルを行った。2025.5.20には本学エミリー・ホワイト・スミス記念講堂でプレコンサートを開催。2025.5.23にはExpo25でのコンサートにスタッフとして関わった。		
2025.5.14、6.11、11.19、2026.1.21	オーストリア	インターネット会議システムを使って、モーツアルテウム音楽大学プラグ教授のピアノレッスンを実施（国内で作業）		
2025.11.12、11.21	オーストリア	Zoomを使って、モーツアルテウム音楽大学ガール教授のヴァイオリンレッスンを実施（国内で作業）		
2025.5.20、5.27、6.3、6.4、10.14、11.11、11.25、12.16	イタリア	Zoomを使って、元客員教授・バクテレフ先生のピアノレッスンを実施（国内で作業）		
2025.10.26～11.2	オーストリア	モーツアルテウム音楽大学との交流プログラム Friendship Week 2025の企画と開催（国内で作業）		

島崎 徹

学位						
専門分野						
舞踊						
研究課題						
振り付け, 演出						
教育活動						
<u>担当授業 (大学)</u>						
アナライズクラス(Ⅲ),舞踊レパートリークラス(Ⅲ),アナライズクラス(Ⅳ),舞踊レパートリークラス(Ⅳ),ソロリサイタル(舞踊),卒業公演						
<u>担当授業 (大学院)</u>						
-						
研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
演奏会・発表会						
作曲・編曲・振付						
大阪万博	2025.4.24		単	Remembrance		
舞踊専攻第17回卒業公演	2025.12.11-13	神戸女学院大学エミリー・ブラウン記念館スタジオA	単	「紡ぐ道」「Who's my mate?」		
Skhole Ballet Art	2025.12.26	京都ロームシアター	単	「The Gate」		
舞踊専攻第20回公演	2026.3.5-6	兵庫県立芸術文化センター 中ホール	単	「Who's my mate?」「In the blink of an eye」「Last Place」		
台湾国立藝術大学舞踊公演	2026.3.28-29	台湾国立藝術大学	単	「Zero Body」		
その他の研究発表、演奏						
第9回ミュージック・コミュニケーション講座	2025.11.21	神戸女学院大学エミリー・ブラウン記念館スタジオA	単	「芸術と社会を考える」		
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
社会貢献活動						
公開講座						
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要		

公開レッスンでの指導				
Japan Grand Prix International Ballet Competition	2025.8.4-8	埼玉彩の国芸術劇場	単	コンテンポラリーークラス指導
コンクール等の審査				
全国舞踊コンクール	2025.4.5	目黒パーシモンホール	単	東京新聞
グランフェッテバレエコンクール	2025.7.21	KoKo PLAZA 大阪市立 青少年センター	単	グランフェッテバレエコンクール事 務局
TAIWAN GRAND PRIX International Ballet Competition	2025.7.28-31	台湾国立藝術大学	単	Taiwan Grand Prix
グランフェッテバレエコンクール	2025.10.13	KoKo PLAZA 大阪市立 青少年センター	単	グランフェッテバレエコンクール事 務局
NBA全国バレエコンクール	2026.1.8	新宿文化センター	単	NBA
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名等			
海外での活動				
期間	国名	概要		

古田 昌子

学位				
芸術学士, KonzertreifeDiplom, Diplom der Konzertreife als Opernsängerin				
専門分野				
声楽				
研究課題				
オペラ, 芸術歌曲				
教育活動				
<u>担当授業 (大学)</u>				
専門実技(声楽),副科実技(声楽),イタリア歌曲唱法,声楽アンサンブル,声楽Minor,音楽実技(声楽),選択副科実技(声楽),選択第二専門実技(声楽)				
<u>担当授業 (大学院)</u>				
オペラ特別実習Ⅰ				
研究活動				
	名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共 共著者、共同発表者、共演者、担当頁等
著書・CD				
学術論文				
学会発表				
演奏会・発表会				
Concert for All Musicians vol.4	2025.10.5	日本キリスト教団島之内教会	共	主催/Concert for All Musicians。共演/三谷万葉、村田沙耶、他。曲名/C. Saint-Saens : Mon coeur s'ouvre a ta voix。
にしのみやオペラ第5回公演 オペラ「ヘンゼルとグレーテル」	2026.2.15	西宮市民会館アミティ・バイコムホール	共	主催/公益財団法人西宮市文化振興財団・にしのみやオペラ実行委員会。共演/瀬山智博(指揮)、中村敬一(演出)、中村理子、高橋優羽、福嶋勲、西影星二、斉戸英美子、端山梨奈、他。曲名/E. フンパーディンク作曲オペラ「ヘンゼルとグレーテル」全3幕 日本語上演。
スプリングコンサート	2026.3.23	エレガーノ西宮	単	主催/榊スミリンケアライブ(産学連携プロジェクト)。共演/蜷川千佳(ピアノ伴奏)。曲目/中田章：早春賦、F. Schubert : Heidenröslein、R. Schumann : Frühlingsnacht、J. Brahms : Mainacht、F. P. Tosti : Aprile、P. A. Tirindelli : O primavera!、團伊玖磨：花のまち、岡野貞一： 朧月夜、中田喜直：さくら横丁、G. Bizet : Habanera (CARMEN)、C. Saint-Saens : Mon coeur s'ouvre a ta voix (SAMSON ET DALILA)、瀧廉太郎：花。

作曲・編曲・振付					
その他の研究発表、演奏					
神戸女学院大学音楽学部オペラ実習発表 会	2026.2.11	神戸女学院エミリー・ホ ワイト・スミス記念講堂	共	W. A. Mozart : "LE NOZZE DI FIGARO"	
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)					
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度 終了年度
学内研究助成金					
総合芸術としてのミュージカル教育の力 リキュラム開発に関する研究～表現力・ 創造力を育む実践的学習の構築	総合研究助成 (総額)		分	1,500	
学会役員					
就任期間	学会役員名				
社会貢献活動					
公開講座					
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要	
公開レッスンでの指導					
コンクール等の審査					
第5回国際声楽コンクール東京 西日本准本選 [声楽ジュニア・声楽高校 1/2年生・アンサンブル]	2025.10.18	堺市立西文化会館ウェス ティホール	共	主催/一般社団法人カンタームス、国 際声楽コンクール東京	
第4回プリマヴェーラ声楽コンコルソ 西日本准本選 [声楽専攻部門・声楽愛好 者部門]	2026.3.21	大阪府羽曳野市/LICはび きのホールM	共	主催/一般社団法人カンタームス、プ リマヴェーラ声楽コンコルソ	
学外機関委員等					
就任期間	機関名・委員名・役職名等				
その他社会活動上特記すべき事項					
2025年(1月-)4月-5月 派遣留学提携校モーツアルテウム大学(オーストリア・ザルツブルク)からの依頼でEXPO2025オーストリア ナショナルデー(5月23日)のための国際合唱プロジェクトに神戸女学院大学が協力(5/12-23リハーサル場所の提供)、その運営補助 (通訳等)					
海外での活動					
期間	国名	概要			

稲本 渡

学位				
Bakk.art.				
専門分野				
ウインドオーケストラ, クラリネット, 音楽ビジネス				
研究課題				
ウインドオーケストラ, クラリネットの演奏法, 音楽ビジネス				
教育活動				
<u>担当授業 (大学)</u>				
アート・クリティック, アートマネジメント[講義], オーケストラ, 管打合奏, ウインド・オーケストラ, 専門実技(管楽器), 特別専門実技(管楽器)Ⅰ, イベント企画制作Ⅰ, 管楽器Major, 音楽によるアウトリーチ(実習), 基礎ゼミ, 音楽実技(管楽器)				
<u>担当授業 (大学院)</u>				
室内楽特別実習Ⅰ				
研究活動				
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等
著書・CD				
トウベルナルトの聖なる泉 八木澤教司 生誕50周年 & 作曲家25周年 記念作品集	2025.06.16	ワコーレコード	共	共演/八木澤教司、独奏：オルチンの天使たち 2本のクラリネットとウインドオーケストラのために
学術論文				
学会発表				
演奏会・発表会				
PIANO+木管五重奏	2025.4.29	神戸女学院小ホール	共	主催/革島玲奈。共演/ラック・ザビエル、宮村和宏ほか。
プラス de アニメ	2025.5.10	ザ・シンフォニーホール	共	主催/ザ・シンフォニーホール。共演/The Symphony Hall Super Brass
Peaceful Oasis 万博の大茶会、おもてなしの舞台	2025.5.11~13	大阪・関西万博会場	単	主催/堺市。
さやかシンフォニックウインズ 第4回定期演奏会	2025.6.1	SAYAKAホール	共	主催/さやかシンフォニックウインズ。曲名/クローバーの祈り(独奏)
ドリーム・ウインド・オーケストラ2025	2025.6.4	ザ・シンフォニーホール	共	主催/大阪芸術大学。共演/ドリーム・ウインド・オーケストラ(コンサートマスター)
Craftsmanship Journey 万博の楽市楽座、堺と出会う一期一会	2025.7.28	大阪・関西万博会場	単	主催/堺市。
スペシャルガラオーケストラ 華麗なる響宴 Special Gala Concert	2025.9.6	神戸朝日ホール		主催/株式会社エヌディプラス/イブシロン・インターナショナル株式会社。共演/吉川隆弘、西島数博、日野真一郎、鳳蘭ほか。
大平野絵巻	2025.9.14	大阪・関西万博会場	共	主催/大阪市。共演/平野マスターズ吹奏楽団(コンサートマスター)
Craftsmanship Journey 堺の匠が織りなす、ミュシャの世界	2025.9.25	大阪・関西万博会場	単	主催/堺市。
The Symphony Hall年末スペシャルコンサート	2025.12.29	ザ・シンフォニーホール	共	主催/ザ・シンフォニーホール。共演/The Symphony Hall Super Brass

浪速高等学校・中学校吹奏楽部第17回定期演奏会	2026.3.31	フェニーチェ堺	共	主催/浪速高等学校・中学校。曲名/独奏：クローバーの祈り、ユーレイズミーアップ
作曲・編曲・振付				
ジブリの思い出がいっぱい～オーケストラコンサート	2025.4.13	みなとみらい	共	制作、オーケストラプロデュース
ジブリの思い出がいっぱい～オーケストラコンサート	2025.4.20	メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場)	共	制作、オーケストラプロデュース
ジブリの思い出がいっぱい～オーケストラコンサート	2025.5.18	札幌コンサートホール Kitara	共	制作、オーケストラプロデュース
Brand New Musical Concert 2025	2025.6.7,8	東京オペラシティコンサートホール	共	制作、オーケストラプロデュース
ジブリの思い出がいっぱい～オーケストラコンサート	2025.8.1	ロームシアター京都	共	制作、オーケストラプロデュース
ジブリの思い出がいっぱい～オーケストラコンサート	2025.8.16	ウェスタ川越	共	制作、オーケストラプロデュース
ジブリの思い出がいっぱい～オーケストラコンサート	2025.8.17	サントリーホール	共	制作、オーケストラプロデュース
スペシャルガラオーケストラ 華麗なる響宴 Special Gala Concert	2025.9.6	神戸朝日ホール	共	オーケストラプロデュース
ジブリの思い出がいっぱい～オーケストラコンサート	2025.11.8	福岡シンフォニーホール	共	制作、オーケストラプロデュース
ジブリの思い出がいっぱい～オーケストラコンサート	2025.11.15	アクトシティ浜松	共	制作、オーケストラプロデュース
ジブリの思い出がいっぱい～オーケストラコンサート	2025.11.23	鎌倉芸術館	共	制作、オーケストラプロデュース
ジブリの思い出がいっぱい～オーケストラコンサート	2025.12.14	いずみホール	共	制作、オーケストラプロデュース
Brand New Musical Concert Merry Christmas	2025.12.24	東京オペラシティコンサートホール	共	制作、オーケストラプロデュース
ジブリの思い出がいっぱい～オーケストラコンサート	2025.12.27	東京オペラシティコンサートホール	共	制作、オーケストラプロデュース
Brand New Musical Concert HYOGO!	2026.1.17	兵庫県立芸術文化センター	共	制作、オーケストラプロデュース
ジブリの思い出がいっぱい～オーケストラコンサート	2026.1.18	愛知県芸術劇場	共	制作、オーケストラプロデュース
The Roots 2026	2026.2.7	いずみホール	共	制作、オーケストラプロデュース
The Roots 2026	2026.2.8	第一生命ホール	共	制作、オーケストラプロデュース
その他の研究発表、演奏				
神戸女学院大学音楽学部サマーコンサート～ウインドオーケストラ	2025.6.23	宝塚ベガホール	共	
神戸女学院大学音楽学部定期演奏会	2025.12.2	兵庫県立芸術文化センター	共	
神戸女学院大学音楽学部ウインドオーケストラふれあいコンサート	2026.2.14	神戸女学院エミリー・ホワイト・スミス記念講堂	共	
神戸女学院大学ウインドオーケストラ・スペシャルコンサート	2025.2.23	ザ・シンフォニーホール	共	曲名/独奏：クローバーの祈り、桜咲くオルチンの庭で

学外研究助成金						(支給額は当該年度の直接経費配分額)
研究タイトル	助成金種類、支給元	代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度	
学内研究助成金						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
その他研究活動上特記すべき事項						
事項	年月	概要				
優秀指導者賞	2026.3.31	日本クラシック音楽協会				
社会貢献活動						
公開講座						
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要		
公開レッスンでの指導						
夏季研究発表会(明石市吹奏楽連盟)	2025.7.13	明石市立市民会館	単			
クラリネット講習会	2025.10.19	マツモト楽器	単			
クラリネット講習会	2025.11.2	マツモト楽器	単			
クラリネット講習会	2026.1.12	マツモト楽器	単			
クラリネット講習会	2026.3.7	マツモト楽器	単			
コンクール等の審査						
兵庫県吹奏楽コンクール(東阪神地区)	2025.7.26~27	川西市キセラホール	共	主催/兵庫県吹奏楽連盟		
大阪府吹奏楽コンクール(北摂地区)	2025.7.30~8.2	豊中文芸センター	共	主催/大阪府吹奏楽連盟		
京都府吹奏楽コンクール(京都府大会)	2025.8.5~8	京都コンサートホール	共	主催/京都府吹奏楽連盟		
関西吹奏楽コンクール	2025.8.23~24	京都コンサートホール	共	主催/関西吹奏楽連盟		
兵庫県マーチングコンテスト	2025.9.7	グリーンアリーナ神戸	共	主催/兵庫県吹奏楽連盟		
日本クラシック音楽コンクール(全国大会)	2025.12.9	パルテノン多摩	共	主催/日本クラシック音楽協会		
福岡県アンサンブルコンテスト	2025.12.20~21	イヅカコスモスコモン	共	主催/福岡県吹奏楽連盟		
兵庫県アンサンブルコンテスト	2026.1.24~25	神戸文化ホール	共	主催/兵庫県吹奏楽連盟		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名等					
2017.9-現在	堺市・堺親善アーティスト					
2015.4-現在	堺管打楽器コンクール実行委員長					
2025-5-現在	堺市文化審議会委員					
海外での活動						
期間	国名	概要				

崎谷 明弘

学位				
博士（音楽） 修士（音楽） フランス国家職業音楽家上級免状（学士相当）				
専門分野				
クラシック音楽				
研究課題				
ピアノ奏法、ピアノコンクール、地域社会と音楽				
教育活動				
担当授業（大学）				
専門実技(ピアノ)、鍵盤音楽史I、ピアノ重奏Ⅰ、ピアノ重奏Ⅱ、リサイタル、公開演奏、ピアノMinor、選択副科実技(ピアノ)Ⅰ、選択第二専門実技(ピアノ)Ⅰ、ピアノSecond Major				
担当授業（大学院）				
器楽実技Ⅰ、器楽実技Ⅱ				
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要	
鍵盤部会主任として	令和7年度	鍵盤部会学生・教員	鍵盤部会の運営を行なった。内規やルールの見直し、試験の運営など	
派遣留学応募videoの作成	令和7年5月	派遣留学対象学生	留学応募のvideoを作成した	
friendshipweek 招聘教授のアテンド	令和7年10/11月	friendshipweek 招聘教授	friendshipweek招聘教授のアテンドを行った	
研究活動				
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等
著書・CD				
学術論文				
学会発表				
演奏会・発表会				
崎谷明弘 ピティナステップトークコンサート	2025.5.24	広島市西区民文化センター	単	ピティナ課題曲他
崎谷明弘 ピティナステップトークコンサート	2025.5.25	広島市西区民文化センター	単	ピティナ課題曲他
崎谷明弘 ピティナステップトークコンサート	2025.6.8	神戸市産業振興センター	単	ピティナ課題曲他
崎谷明弘 ピティナステップトークコンサート	2025.7.13	島村楽器八千代店内ホール	単	ピティナ課題曲他
ロータリークラブ例会 コンサート	2025.8.22	リーガロイヤルホテル大阪	共	大岡仁(Vn)、ブラームス：Vnソナタ第2番 他
オープンキャンパスミニコンサート	2025.9.7	神戸女学院音楽館ホール	単	リスト：ラ・カンパネラ 他
崎谷明弘ピアノリサイタル	2025.9.10	YAMAHAなんばサロン	単	プラド：ピアノのための星図 他
崎谷明弘 ピティナステップトークコンサート	2025.9.28	東広島芸術文化ホールくらら 大ホール	単	ベートーヴェン：ピアノソナタ第1番 他
調律師協会講習 ミニコンサート	2025.10.12	宝塚ミュージックリサーチ	単	リスト：ラ・カンパネラほか
爽秋バロックコンサート	2025.10.19	La sala di Orfeo	共	指揮。バッハ：鍵盤協奏曲第4番他。
Friend ShipWeek Concert	2025.10.31	神戸女学院講堂	共	連弾。シューベルト：幻想曲

軽井沢 森の音楽祭	2025.11.24	軽井沢有明邸	共	ソロ出演。リスト：スペイン狂詩曲他。		
崎谷明弘ピアノリサイタル Vol. 13	2025.11.30	神戸新聞松方ホール	単	ショパン：12の練習曲 op. 25 他。		
喜連ジュニアオーケストラ定期演奏会	2025.12.6	クレオ大阪南大ホール	共	指揮。ドボルザーク：交響曲第9番他。		
おとみらいHYOGO定期演奏会	2025.1.25	神戸新聞松方ホール	共	リレー連弾、コントラバス伴奏。		
ピティナピアノコンペティション 課題曲 聴き比べ動画	2026.3.1	ピティナ本部	共	ピティナ課題曲		
音楽のフルコース	2026.3.21	神戸新聞松方ホール	共	ドボルザーク：交響曲第9番（編曲）		
作曲・編曲・振付						
音楽のフルコース	2026.3.21	神戸新聞松方ホール		ドボルザーク：交響曲第9番（編曲）		
その他の研究発表、演奏						
神戸マザーポートクラブ例会	2026.3.25	ポートピアホテル	単	リスト：ハンガリー狂詩曲第12番他		
兵庫・神戸 文化人の集い	2026.3.30	ホテルオークラ神戸	共	リスト：ラ・カンパネラほか		
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
令和7年度 地域で親しむ舞台芸術応援事業	兵庫県芸術文化協会		代	198	2025	2025
学内研究助成金						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
社会貢献活動						
公開講座						
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要		
公開レッスンでの指導						
コンクール等の審査						
ピティナステップ 広島西 1日目	2025.5.24	広島市西区民文化センター	共	主催／全日本ピアノ指導者協会		
ピティナステップ 広島西 2日目	2025.5.25	広島市西区民文化センター	共	主催／全日本ピアノ指導者協会		
ピティナステップ 新神戸	2025.6.8	神戸市産業振興センター	共	主催／全日本ピアノ指導者協会		
ピティナG級 一次予選	2025.7.5/6	武蔵ホール	共	主催／全日本ピアノ指導者協会		
ピティナステップ 八千代	2025.7.13	島村楽器八千代店内ホール	共	主催／全日本ピアノ指導者協会		
ピティナ特級 一次予選	2025.7.26/27	J:COM浦安音楽ホール	共	主催／全日本ピアノ指導者協会		
兵庫県学生ピアノコンクール 地区予選	2025.8.7	淡路市立しづかホール	共	主催／神戸新聞社		
ピティナE級 全国決勝大会	2025.8.19/20	王子ホール	共	主催／全日本ピアノ指導者協会		
ベートン音楽コンクール 予選	2025.9.30	豊中市立文化芸術センター	共	主催／ベートン音楽協会		
ピティナステップ 東広島	2025.9.28	東広島芸術文化ホールくらら 大ホール	共	主催／全日本ピアノ指導者協会		
芦屋音楽コンクール 予選	2025.10.26	神戸女学院音楽館ホール	共	主催／芦屋音楽コンクール		
JPTAピアノ・オーディション 関西地区	2025.11.9	大阪音楽大学	共	主催／日本ピアノ教育連盟		

ブルグミュラーコンクール ファイナル	2025.11.26	神戸市産業振興センター	共	主催/株式会社 東音企画
ブルグミュラーコンクール ファイナル	2025.12.27/28	和歌山城ホール 小ホール	共	主催/株式会社 東音企画
エチュードコンクール 姫路予選	2026.1.18	アクリエ姫路 小ホール	共	主催/エチュードコンクール実行委員会
エチュードコンクール 本選	2026.2.21/22	アクリエ姫路 小ホール	共	主催/エチュードコンクール実行委員会
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名等			
令和7年度	兵庫県芸術文化振興ビジョン検討委員会委員			
令和7年度	青山財団 音楽事業推進委員			
令和7年度	青山財団 育成支援事業選考委員			
その他社会活動上特記すべき事項				
松方ホールのリサイタルでは、小中高生の入場を無料とし、クラシック音楽の普及につとめている。				
海外での活動				
期間	国名	概要		

石谷 真一

学位						
教育学士, 教育学修士, 博士 (教育学)						
専門分野						
臨床心理学						
研究課題						
間主観性の観点から見た関係性の発達変化と自己形成, 乳幼児期から児童思春期の臨床問題の関係性の視野からの理解と支援, メンタライジング・アプローチの様々な臨床領域への活用						
教育活動						
<u>担当授業 (大学)</u>						
臨床心理学と人間, 発達臨床心理学, 臨床心理学概論, 演習Ⅰ A, 演習Ⅰ B, 演習Ⅱ A, 演習Ⅱ B, 心理演習(実習を含む), 心理実習, 卒業研究 A, 卒業研究 B						
<u>担当授業 (大学院)</u>						
臨床心理学特論, 臨床心理面接特論Ⅰ (心理支援に関する理論と実践), 臨床心理面接特論Ⅱ, 臨床心理査定演習Ⅰ (心理的アセスメントに関する理論と実践), 臨床心理査定演習Ⅱ, 臨床心理基礎実習, 臨床心理実習Ⅱ, 臨床心理実習Ⅰ (心理実践実習Ⅱ), 臨床心理地域実践実習Ⅲ (心理実践実習Ⅵ), 臨床心理学特別研究Ⅰ, 臨床心理学特別研究Ⅱ						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
大学院進学説明会特別企画シンポジウム「心理職とは何か～大学での学びから現場での実践へ」(2026年3月26日於甲南大学)でシンポジストとして参加し、大学院での学びについて話題提供し、その後のディスカッションに参加した。		2026年3月26日	本学及び他大学の学部生	シンポジストとして大学院での学びをプレゼン		
研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
学術論文						
「心理士養成初期教育にメンタライジング・アプローチを活かす」	2026.3.31	神戸女学院大学大学院人間科学研究科心理相談研究	単	pp.3-14		
「親子の糸がもつれぬためのメンタライジング・アプローチ」(第18回心理相談室ウィーク講演会報告)	2026.3.31	神戸女学院大学大学院人間科学研究科心理相談研究	単			
学会発表						
「コンパニオンアニマルとの死別後の心理的プロセスの検討」	2025.9.	日本心理臨床学会第44回大会	共	共同/大橋英里穂		
「心理職の育ちを支えるメンタライジングの視点」	2026.2.23	日本メンタライジング研究会第5回学術集会企画シンポジウム	共	指定討論者		
その他の研究発表、演奏						
心理相談室ウィーク講演会講師	2025.7.30	神戸女学院大学心理相談室	単	「親子の糸がもつれぬためのメンタライジングアプローチ」		
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度

学内研究助成金					
その他（著書、学術論文以外）の執筆および訳書					
事例論文へのコメント「生田論文へのコメント～親面接を中心に」	2025.12.26	「大阪大学大学院人間科学部学術科心理教育相談室紀要」31	単	pp.11-13.	
学会役員					
就任期間		学会役員名			
2025.4.1-2026.3.31		日本メンタライジング研究会運営委員			
2025.4.1-2026.3.31		日本メンタライジング研究会第5回学術集会実行委員長			
2025.4.1-2026.3.31		葵橋ファミリークリニック理事			
2025.4.1-2026.3.31		大学院連合メンタルヘルスセンター 監査			
その他研究活動上特記すべき事項					
事項		年月	概要		
第5回日本メンタライゼーション研究会 第5回学術集会の開催		2026.2.21-22	同志社大学において左記学術集会「多職種協働の難しさを共に考える」を実行委員長として主催した。両日にわたり250名以上の多領域専門家の参加があり、メンタライジングの基づく心の支援の適用範囲の広さを広く専門家に紹介する機会となった。		
社会貢献活動					
公開講座					
講座名、講演名		年月	場所	単/共	概要
兵庫県立男女共同参画センタースーパーバイズ研修		2025.7.22	兵庫県男女共同参画センター	単	男女共同参画センターの面接相談の事例検討会にスーパーバイザーとして参加した。（3時間）
兵庫県市長共同参画センター相談員研修		2025.12.15	兵庫県男女共同参画センター	単	兵庫県内の公的機関で女性の相談に応じる相談員向けの研修会で講師を務めた（3時間）。
学外機関委員等					
就任期間		機関名・委員名・役職名等			
その他社会活動上特記すべき事項					
2025.4.1-2026.3.31 兵庫県内の私立幼稚園に毎月キンダーカウンセラーとして訪問し園児や保護者、保育者の相談に応じた。					
海外での活動					
期間		国名	概要		

木村 昌紀

学位				
学士（文学），修士（人間科学），博士（人間科学）				
専門分野				
社会心理学, 特にコミュニケーションと対人関係の心理学				
研究課題				
対人コミュニケーションの心理メカニズムに関する研究, 第三者介入による対人コミュニケーション支援に関する研究, 日本人と中国人の対人コミュニケーションの比較研究, 緊急事態のコミュニケーションに関する研究, コミュニケーションの同期現象				
教育活動				
<u>担当授業（大学）</u>				
プロジェクト：神戸女学院を創る, クローバーゼミ, 心理学入門ゼミ, 対人関係心理学, 演習ⅠA, 演習ⅠB, 演習ⅡA, 演習ⅡB, 卒業研究A, 卒業研究B				
<u>担当授業（大学院）</u>				
人間行動学演習Ⅱ, 人間行動学特別研究Ⅱ				
その他教育活動上特記すべき事項				
	年月	対象者	概要	
対人関係心理学研究室のWebサイト運用	2025年度	学科学生・院生	対人関係心理学研究室のWebサイトを運用している（ http://m-kimura.net/ ）。サイトでは、研究室で学ぶ研究内容や活動内容を紹介している。また卒業研究に際して有用な学外のサイトも紹介している。これにより、ゼミ生の教育に役立てるとともに、これから専門分野を選択する学科生の検討材料にしよう。	
研究活動				
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等
著書・CD				
学術論文				
「119番通報の社会心理学—市民と通信指令員による緊急事態のコミュニケーション—」（査読あり）	2025.3	日本行動科学学会『行動科学』63巻	単	pp.93-102.
「なぜ緊急時の援助要請を控えるのか—119番通報抑制の実態と規定因の検討—」	2025.3.31	神戸女学院大学大学院人間科学研究科『ヒューマン・サイエンス』28巻	共	共著／木村昌紀・塩谷尚正・北小屋裕。pp.1-9.
「今ここで他者の感情をいかに制御するのか？—即時的対人感情制御方略と非言語行動—」（査読あり）	2025.10.25	日本心理学会『心理学研究』96巻	共	共著／山本恭子・木村昌紀。pp.218-228.
「Introducing the Facial Expressions of Emotion Decoding Test with Various Intensity: Using the AIST Facial Expression Database 2017」（査読あり）	2025.11.27	日本心理学会『Japanese Psychological Research』	共	共著／Shimizu, Y., Ogawa, K., Kimura, M., Fujiwara, K & Watanabe, N. DOI: 10.1111/jpr.70009
学会発表				
シンポジウム「心理学と工学の融合による対人コミュニケーション研究の展開」	2025.9.6	日本心理学会第89回大会, 東北学院大学	共	共同／木村昌紀（企画・司会）・駒谷和範・熊野史朗・岡田将吾・藤原健・五十嵐祐

ポスター発表「最も印象に残る異文化体験とその文化に対する困惑感との関連」	2025.9.5	日本心理学会第89回大会, 東北学院大学	共	共同/毛 新華・清水寛之・木村昌紀	
ポスター発表「他者の表情と状況の制御要求が即時的対人感情制御に及ぼす影響」	2025.9.20	日本社会心理学会第66回大会、東京大学	共	共同/山本恭子・木村昌紀	
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)					
研究タイトル	助成金種類、支給元	代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
市民と通信司令員による緊急事態のコミュニケーションの実験社会心理学的研究	日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C)	代	350	2022	2025
中国在留邦人の文化適応支援に関する心理学的研究	日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C)	分	-	2021	2024 (延長)
対人感情制御における感情表出の機能的役割の解明	日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C)	分	-	2021	2024 (延長)
学内研究助成金					
学会役員					
就任期間	学会役員名				
2025.11.-現在	日本心理学会, 機関誌等編集委員会 Japanese Psychological Research 編集委員				
2025.7.-現在	関西心理学会, 委員				
2024.4-現在	「容装心理学研究」編集委員				
2025.8.21	日本グループ・ダイナミックス学会第71回大会総会議長				
社会貢献活動					
公開講座					
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要	
横浜市消防局、 横浜市消防職員研修 「通信指令業務に活かす心理学」	2026.2.26	横浜市消防局	単	内容/横浜市の消防職員の通信指令員を対象にして「通信指令業務に活かす心理学」をテーマに講演を行った。主催/横浜市消防局。	
神奈川県消防学校、 令和7年度神奈川県消防学校 消防職員特別教育「通信指令員研修」	2026.1.30	神奈川県消防学校	単	内容/神奈川県下の消防職員の通信指令員を対象にして「通信指令業務教育における心理学の導入」をテーマに講演を行った。主催/神奈川県消防学校。	
神戸市消防局、 令和7年度 神戸市消防局司令課教養研修 「119番通報-緊急事態のコミュニケーションの心理学-」	2025.12.15	神戸市役所4号館危機管理センター	単	内容/神戸市の消防職員の通信指令員を対象にして「119番通報-緊急事態のコミュニケーションの心理学-」をテーマに講演を行った。主催/神戸市消防局。	
秋田県、 令和7年度 通信指令・口頭指導研修会 「通信指令コミュニケーションスキル」	2025.11.17	秋田県庁第2庁舎 災害対策本部	単	内容/秋田県下の消防職員の通信指令員を対象にして「通信指令コミュニケーションスキル」をテーマに講演を行った。主催/秋田県。	

大阪府立消防学校、 第188回特別教育通信指令研修 「緊急通信の心理学－通信指令業務教育 における心理学の導入－」	2025.7.2	大阪府立消防学校	単	内容／大阪府下の消防職員の通信指令員を対象にして「緊急通信の心理学－通信指令業務教育における心理学の導入－」をテーマに講演を行った。主催／大阪府立消防学校。
奈良市消防局、 令和7年度 通信指令に係る教育研修 「通信指令の対人関係心理学－映像通報システムの活用に向けて－」	2025.6.25	奈良市消防局	単	内容／奈良市・生駒市の消防職員の通信指令員を対象にして「通信指令の対人関係心理学－映像通報システムの活用に向けて－」をテーマに講演を行った。主催／奈良市・生駒市消防通信指令事務協議会。
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名等			
海外での活動				
期間	国名	概要		

researchmap ; <https://researchmap.jp/masanorikimura>

小林 知博

学位						
学士（地域文化），修士（人間科学），博士（人間科学）						
専門分野						
社会心理学						
研究課題						
潜在的・顕在的な自己観・健康行動に対する態度と健康行動との関係性に関する研究, 自己呈示尺度の作成, 潜在的・顕在的な自尊心と社会的適応の関係						
教育活動						
<u>担当授業（大学）</u>						
心理学実験, 社会心理学, 社会・集団・家族心理学, 演習ⅠA, 演習ⅠB, 演習ⅡA, 演習ⅡB, 卒業研究A, 卒業研究B						
<u>担当授業（大学院）</u>						
-						
その他教育活動上特記すべき事項						
	年月	対象者	概要			
ゼミ同窓会	2025.10.	ゼミ1期生～18期生	毎年行っている「ゼミ卒業生と4年、3年生の交流会」をめじらウンジにて開催した。			
ミニ卒業論文の実施と指導、添削	2025.4～ 2026.3.	ゼミ3年生	2年次の実習授業と4年次の卒業研究の間をつなぐため、学生同士をグループに分け、「テーマの決定、変数や測定方法の決定、データ分析の実施、結果のまとめ方、論文の書き方」について、自力で行う力を付けるため、きめ細かく個別指導した。			
研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
2025.4-2025.10.	日本心理学会：心理学研究編集委員					
2025.4-2026.3.	日本社会心理学会：理事					
社会貢献活動						
公開講座						
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要		
NHK「あさイチ」出演（生放送）	2025.4.28	NHK放送センター	単	もっと生きやすくなる身に付けたい「自分褒め」		
京都技術士会2月度例会	2026.2.7	京都市生涯学習総合センター（京都アスニー）	単	「日常・仕事に活かせる心理学～自分ほめのススメ～」		

リカバリーカレッジKOBEOープン講座	2026.2.14	神戸市民福祉交流センター	単	「みんなで学ぼう！セルフ・コンパッションと自分ほめ～解説と実践～」
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名等		
その他社会活動上特記すべき事項				
2026.3.3. 社会心理学会 春の方法論セミナー 運営委員+司会				
海外での活動				
期間	国名	概要		

researchmap ; <https://researchmap.jp/ckoba>

須藤 春佳

学位			
学士（教育学），修士（教育学），博士（教育学）			
専門分野			
臨床心理学			
研究課題			
青年期の友人関係（発達の変遷とその問題），心理専門職訓練生の実践教育			
教育活動			
担当授業（大学）			
心理学入門ゼミ,臨床子ども学,臨床心理学概論,演習ⅠA,演習ⅠB,演習ⅡA,演習ⅡB,心理演習(実習を含む),卒業研究A,卒業研究B			
担当授業（大学院）			
臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践),臨床心理査定演習Ⅱ,臨床心理基礎実習,臨床心理実習Ⅱ,心理実践実習Ⅰ,臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習Ⅱ),心理実践実習Ⅲ,臨床心理地域実践実習Ⅱ(心理実践実習Ⅴ),臨床心理地域実践実習Ⅲ(心理実践実習Ⅵ),臨床心理地域実践演習(心の健康教育に関する理論と実践),臨床心理学特別研究Ⅰ,臨床心理学特別研究Ⅱ			
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要
「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」履修学生同士の交流会の実施	2026.1	「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」履修者	4年生の卒論発表会の予行演習をゼミ内で行う時期に、3年生を4年生ゼミに参加してもらい、1年後の卒業研究の具体的なイメージを持ってもらうとともに、学年間の交流を図った。
3年生を対象とした長期休暇中の卒論指導ゼミ	2026.2-3	「演習Ⅰ」履修者	春休み(2/25,3/11)にゼミを行い、卒業研究の進捗報告会と今後の研究計画についての指導を行った。
4年生を対象とした長期休暇中の卒論指導ゼミ	2025.9	「演習Ⅱ」履修者	夏休み(9/12)にゼミを行い、卒業研究のデータ分析に必要な統計のレクチャーと演習を行った。
「臨床心理特別研究」でのグループワーク	2025.4-2026.2	「特別研究」履修者(大学院博士前期課程院生)	月に1回程度、箱庭制作の実習をゼミ内で行った。箱庭療法という技法は自身が体験する中で習得できるところが大きいため、心理職の訓練課程にある博士前期・後期課程の大学院生が、まずは自身が箱庭制作を行い、その時々的心情や状況が表現される様子を体験することで体験的に技法を理解する教育上の工夫を行った。2月に振り返りの会を行い、箱庭作品に表現されていた制作者自身の特徴や課題について共有され各自の自己理解に活かした。

心理相談室行事（心理相談室ウィーク、専門家向け研修会、みつば会）の運営と院生スタッフへの助言指導	2025.4-12	博士前期課程院生	大学院心理相談室では、年間を通して地域貢献活動の一環として行事を行っている。 2025年度は、①心理相談室ウィーク（無料相談・無料発達検査・講演会：8月開催）、②みつば会（修了生と現役生の合同事例検討会：7月開催）、③専門家向け研修会（専門家を対象とした子育て支援に関する研修会：9月開催）を対象として、講師と院生スタッフが中心となって当日の準備や運営を行ったが、心理相談室室長としてこれらすべての運営を監督し、院生スタッフとの打ち合わせを行い、助言や指導を行った。		
心理相談室の新棟移転にかかるマネジメント	2025.4-2026.3	博士前期課程院生、研修生、心理相談室スタッフ	2026年3月に心理相談室の新棟移転を控える中、移転全体のマネジメントを心理相談室長として行った。具体的には新しい相談室のレイアウトや什器の購入、施設課との連絡調整、搬入等のスケジュールをスタッフと共に立てて検討し、遂行した。		
研究活動					
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等	
著書・CD					
学術論文					
学会発表					
心理専門職訓練生の専門的視点の生成に関する探索的研究－大学院生の事例担当前後の変化に着目して－	2025.9.6	日本心理臨床学会第44回大会 神戸国際会議場	単		
「児童期における空想の友だち」	2025.10.26	日本箱庭療法学会第38回大会 学習院大学	単	司会を担当。発表者：長谷川千紘 指定討論者：小坂和子	
その他の研究発表、演奏					
「50代女性の事例」	2025.6.28	日本ユング心理学研究所 グループスーパービジョンでの事例発表	単	講師：河合俊雄	
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)					
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度 終了年度
学内研究助成金					
その他（著書、学術論文以外）の執筆および訳書					
書評「横山浩之著『子どもの心理発達の臨床』」	2025.10.	心臨床学研究』第43巻第4号、一般社団法人日本心理臨床学会	単	pp.363-364。	
「キャラ設定、適応の子にも危うさ『ストレス感じている』は要注意」	2025.4.15	『日本経済新聞』夕刊「育む」掲載記事、日本経済新聞社	単		

学会役員					
就任期間		学会役員名			
2022.8-2024.8		日本心理臨床学会 学会誌編集委員会・編集委員			
2024.8-現在		日本心理臨床学会 学会誌編集委員会・編集委員			
2022.11-2025.10		日本遊戯療法学会 災害支援委員会 委員			
2025.11-現在		日本遊戯療法学会 災害支援委員会 委員			
その他研究活動上特記すべき事項					
事項		年月	概要		
日本ユング心理学会認定「心理療法士」資格認定		2026.2.18	日本ユング心理学会認定の「心理療法士」資格審査に合格し、認定心理療法士として登録された。		
社会貢献活動					
公開講座					
講座名、講演名		年月	場所	単/共	概要
「現代の子どもたちが抱える『人間関係』－令和の親子、友だち、教師との関係から考える－」		2025.6.3	小林聖心女子小学校	単	主催/兵庫県私立小学校連合会 学級経営部会研修会 講師として研修を担当。
2025年度心理相談室ウィーク講演会『親子の糸がもつれぬためのメンタライジング・アプローチ 省察的養育×協同思考法』		2025.7.30	神戸女学院大学 H-301 教室	共	講師：石谷真一教授。主催/心理相談室。心理相談室室長として、スタッフに対して事前準備やマネジメントの助言・指導を行い、当日は冒頭の挨拶を担当した。
2025年度専門家のための研修会『感じる、想像する、つながる－精神分析を日常臨床に活かす5時間－』		2025.9.23	神戸女学院大学 H-301 教室	共	講師：若佐美奈子准教授。主催/心理相談室。心理相談室室長として、スタッフに対して事前準備や当日のマネジメントの指導・助言を行い、当日は冒頭での挨拶を担当した。
学外機関委員等					
就任期間		機関名・委員名・役職名等			
その他社会活動上特記すべき事項					
心療内科での心理臨床実践（非常勤心理療法士として）					
海外での活動					
期間		国名	概要		

鶴田 英也

学位						
学士（文学），修士（教育学）						
専門分野						
臨床心理学						
研究課題						
バウムのコスモロジーをめぐる研究, イメージの心理臨床, 心理療法のプロセス						
教育活動						
担当授業（大学）						
臨床心理学概論, イメージの心理臨床学, 演習ⅠA, 演習ⅠB, 演習ⅡA, 演習ⅡB, 心理実習, 卒業研究A, 卒業研究B						
担当授業（大学院）						
臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）, 臨床心理査定演習Ⅱ, 臨床心理基礎実習, 臨床心理実習Ⅱ, 臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅱ）, 臨床心理地域実践実習Ⅲ（心理実践実習Ⅵ）, 臨床心理学特別研究Ⅱ						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
学生支援ガイドライン2025の作成		2026年3月	全教職員	学生支援アドバイザーとして、学生支援ネットワークを中心として学生支援のためのガイドラインを作成し、Moodleにて公開した。 https://moodle.kobe-c.ac.jp/moodle/course/view.php?id=14379		
バリアフリー×合理的配慮ナビの作成		2026年3月	全教職員	バリアフリー推進室ディレクターとして、全教職員のための合理的配慮のガイドラインを作成し、Moodleに公開した。 https://moodle.kobe-c.ac.jp/moodle/course/view.php?id=7658		
研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
事例発表（プライバシー保護のため記載しない）	2025.9.6	第44回日本心理臨床学会	単	司会		
「思春期女子の親子関係における依存欲求および独立欲求と統合型HTP法の描画特徴の検討」	2025.10.26	第38回日本箱庭療法学会	単	指定討論者		
学外研究助成金						
（支給額は当該年度の直接経費配分額）						
研究タイトル	助成金種類、支給元	代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度	
学内研究助成金						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
2025.4－現在	日本描画テスト・描画療法学会理事					

社会貢献活動				
公開講座				
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名等			
海外での活動				
期間	国名	概要		

矢野 円郁

学位				
学士（文学），修士（心理学），博士（心理学）				
専門分野				
認知心理学				
研究課題				
ジェンダー意識の発達，子どもの貧困と発達の問題				
教育活動				
<u>担当授業（大学）</u>				
地域活性化総合実習，心理学入門ゼミ，心理学実験，知覚・認知心理学，認知心理学，演習ⅠA，演習ⅠB，演習ⅡA，演習ⅡB，卒業研究A，卒業研究B				
<u>担当授業（大学院）</u>				
認知心理学特論				
その他教育活動上特記すべき事項				
	年月	対象者	概要	
ルッキズムの研究に関わる複数の外部講師の招へい	2025.07.06	学生および教職員	ルッキズムに関する研究をしている2名の講師（澁谷知美氏，西倉実季氏）を招いて，「ルッキズムとの戦い方」を知る場を設けた	
人権教育講演会の外部講師の招へい	2025.07.11	学生および教職員	障害者の人権について詳しい玉木幸則氏を講演会の講師に招いた。受講した学生の感想からは，自分の命を大切に生きようと思ったなどの，極めて重大なメッセージを講演から受け取ったことが分かった。	
女子大学の意義，神戸女学院大学の意義を考えるWGの開催とジェンダーInst.カリキュラムの改革	2025.07.25， 10.30	大学教職員	ジェンダーInst.ディレクターとして，女子大学の存続の意義，本学の意義を考えて，どのように広報をしていくかを考える場をつくった。また，そこで出た意見も踏まえて，新しいジェンダーInst.のカリキュラムも考案した	
ジェンダーInst.40周年記念特別講演会の外部講師の招へい	2025.11.30	学生および教職員	上野千鶴子氏を招いて，講演会および，教職員を対象とした座談会を開催し，これからの女子教育の在り方を議論する場をつくった。	
神戸女学院大学版「女性の休日」を開催	2026.03.06	大学教職員	ジェンダーInst.ディレクターとして，女性の生き方を考える時間を，負担のない形で教職員に提供する場を設けた。	
研究活動				
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等
著書・CD				
学術論文				
学会発表				
「見た目問題における自己評価と他者評価」	2025.10.13	日本教育心理学会第67回総会	共	矢野円郁・瀬部朋美

学外研究助成金							(支給額は当該年度の直接経費配分額)
研究タイトル	助成金種類、支給元	代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度		
モディリアーニ作品を素材とした顔に対する心理的反応の総合的研究—刺激要因・主体要因の効果分析—	公益財団法人 市原国際奨学財団	分	20	2025	2025		
学内研究助成金							
学会役員							
就任期間	学会役員名						
2014.5-現在	日本交通心理学会 国際交流委員会・委員						
社会貢献活動							
公開講座							
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要			
学外機関委員等							
就任期間	機関名・委員名・役職名等						
2025.4-2026.3	堺市建設局指定管理者候補者選定委員会・委員						
2024.4-現在	神戸大学大学院海事科学研究科附属練習船海神丸共同利用運営協議会・委員						
2014.8-現在	JAF兵庫支部交通安全実行委員会・常任委員						
海外での活動							
期間	国名	概要					

吉益 光一

学位						
博士 (医学)						
専門分野						
精神医学, 公衆衛生学						
研究課題						
精神疾患の疫学						
教育活動						
<u>担当授業 (大学)</u>						
精神疾患とその治療, 健康・医療心理学, 演習ⅠA, 演習ⅠB, 演習ⅡA, 演習ⅡB, 卒業研究A, 卒業研究B, 人体の構造と機能及び疾病						
<u>担当授業 (大学院)</u>						
臨床心理実習Ⅱ, 精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開), 健康科学演習Ⅰ, 健康科学特別研究Ⅰ						
研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
学術論文						
女子大における多職種協働教育	2026.3.20	九州大学医学部同窓会誌	単	pp.7-8。		
公衆衛生モニタリング・レポート年次報告書 精神保健福祉分野	2025.10.30	2024/25年度公衆衛生モニタリング・レポート年次報告書	共	共著/吉益光一、原田小夜、藤枝恵、井上真人、山田全啓、伊東千絵子。 pp.21-25。		
学会発表						
ADHD早期発見の重要性: Disruptive Behavior Disorder 破壊的行動障害マーチとの関連から	2025.10.29-31	第84回日本公衆衛生学会	単	【シンポジウム67】5歳児健診事業化の公衆衛生学的検討：モニタリング・レポート委員会分野横断企画		
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
2025.04-2026.03	日本衛生学会評議員					
2025.04-2026.03	日本公衆衛生学会モニタリング・レポート委員会委員					
2025.04-2026.03	日本精神神経学会多職種協働委員会委員					
社会貢献活動						
公開講座						
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名等					
2025.04-2026.03	西宮市学校精神保健コンサルテーション医					
2025.04-2026.03	和歌山県警察産業医					
2025.04-2026.03	社会医学系専門医試験分科会ワーキンググループ委員					

その他社会活動上特記すべき事項

2025.04-2026.03 西宮市内の小学校を巡回して事例相談に関して助言を行っている他、教育委員会の関連する会議に出席し、生徒用の精神保健評価シートの改訂に関する助言を行った。

海外での活動

期間	国名	概要

西嶋 雅樹

学位						
学士（教育学）・修士（教育学）						
専門分野						
臨床心理学						
研究課題						
心理臨床面接における心理臨床家の関与，漫画・アニメから見る現代の心						
教育活動						
担当授業（大学）						
臨床心理学概論,教育・学校心理学,演習ⅠA,演習ⅠB,演習ⅡA,演習ⅡB,心理実習,卒業研究A,卒業研究B						
担当授業（大学院）						
臨床心理基礎実習,臨床心理実習Ⅱ,臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習Ⅱ),臨床心理地域実践実習Ⅰ(心理実践実習Ⅳ),臨床心理地域実践実習Ⅱ(心理実践実習Ⅴ),臨床心理地域実践演習(心の健康教育に関する理論と実践),学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開),臨床心理学特別研究Ⅰ,臨床心理学特別研究Ⅱ						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
学生主事ならびにゼミ担当教員としての カウンセリングルームやバリアフリー推 進室と連携しての学部生支援		2025.4-2026.3	学部生			
部活動顧問（ゴルフ部）		2025.4-2026.3	学部生			
研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
学術論文						
見えないものへの想像力--『蟲師』を中 心に再考する	2026.2		単	こころの科学増刊号, 124-132.		
学会発表						
その他の研究発表、演奏						
書評：『いま、カウンセラーはゲームに 夢中な子どもとどう向き合えばいいの	2026.2.15	シンリンラボ	単			
教育講演報告「身体からみた起立性調節 障害の理解と支援」	2026.3	HCニューズレター	単			
学外研究助成金						
(支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
2023.4-現在	日本ヒューマン・ケア心理学会, 学術委員					
その他研究活動上特記すべき事項						
事項	年月	概要				
日本心理臨床学会第44回大会での事例研 究司会	2025.9.5					

社会貢献活動				
公開講座				
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名等			
2024.4-現在	日本臨床心理士資格認定協会, 私立学校臨床心理士支援事業委員			
2025.4-現在	日本臨床心理士資格認定協会, 教育研修委員			
その他社会活動上特記すべき事項				
2025.8.21 三重県総合教育センターでの研修講師の担当				
2026.2.12, 2026.2.26 大阪少年鑑別所で専門職員向け研修講師の担当				
2026.3.26 児童発達支援Midoriでの事例検討会講師				
2025.4-2026.3 兵庫県スクールカウンセラー				
海外での活動				
期間	国名	概要		

researchmap ; <https://researchmap.jp/read0133343>

若佐 美奈子

学位			
学士（人間科学）, 修士（人間科学）, 博士（教育学）			
専門分野			
臨床心理学, 精神分析学, 発達心理学, 臨床実践指導学			
研究課題			
精神分析的な心理療法の臨床実践と研究, 自閉症スペクトラム障害をもつ子どもの親の援助, 医療領域における精神分析の応用, 臨床心理スーパーヴィジョンの在り方			
教育活動			
担当授業（大学）			
臨床心理学概論, 家族臨床心理学, 演習ⅠA, 演習ⅠB, 演習ⅡA, 演習ⅡB, 心理実習, 卒業研究A, 卒業研究B			
担当授業（大学院）			
臨床心理学特論, 臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践), 臨床心理査定演習Ⅱ, 臨床心理基礎実習, 臨床心理実習Ⅱ, 心理実践実習Ⅰ, 臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習Ⅱ), 心理実践実習Ⅲ, 臨床心理地域実践実習Ⅰ(心理実践実習Ⅳ), 臨床心理学特別研究Ⅰ, 臨床心理学特別研究Ⅱ			
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要
大学院授業「臨床心理地域実践実習Ⅰ・Ⅱ」における実習先訪問（巡回指導）	2025.4.1- 2026.3.31.	大学院生、実習指導者	公認心理師養成カリキュラムにおける本授業では、公認心理師法により5回に1回の巡回指導が義務付けられている。また、初心の臨床家にとって、学外での実習は非常に負担の大きい体験であり、実習指導者との連絡調整を密に行い、各種の問題を回避することは必須である。実習生の現場での適応や学習状況をフォローした。
大学院授業「臨床心理地域実践実習Ⅰ・Ⅱ」における事後指導	2025.4.1- 2026.3.31.	大学院生、実習指導者	上記の実習と同じ週に、学内で継続的に、グループでの事後指導を行った。実習生の不安やリアリティショックを表出し、グループ内で共有し、受け止められるよう、主体的に語ることを求めた。そうした中で、臨床家としての姿勢や倫理、他職種との協働、見立てや心理検査のフィードバックの仕方など、実際的かつ実践的な姿勢を涵養するよう努めた。適宜、実習記録の書き方や、言葉遣いなども指導した。
大学院授業「臨床心理地域実践実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」報告会における指導	2026.01-02月	大学院生	学外実習での成果を、修士2回生が教員および修士1回生および来年度大学院進学が決まっている学生の前で発表する報告会である。その形式や内容について、指導を行った。
大学院授業「臨床心理地域実践実習Ⅰ・Ⅱ」における事前指導・オリエンテーション	2025.06-09月	大学院生	学外実習の各領域(医療、福祉、教育、司法、産業)の特徴や社会的役割などについて学ばせ、実習先への挨拶・訪問を引率した。

大学院事例検討会「みつば会」への参加、指導	2025.7.26.	大学院生、実習指導者	大学院生と研修生、修了生、学外のコメントーターによる事例検討会への参加と臨床指導
ゼミにおける卒業論文構想発表会および完成報告会	2025.7.23. 2026.1.14.	学部ゼミ生	ゼミにおいて、前期に1回および後期に1回、3年生と4年生の合同授業とし、4年生の卒業論文の構想や完成の発表会や交流会を行っている。PowerPointでの発表や質疑応答を通して、ゼミメンバー各自の問題意識や研究結果をゼミで共有し、学びを深めていく。3年生にとっては卒論執筆のモチベーションが高まり、4年生には自分の研究を俯瞰的に捉える良い機会となっている。
大学院「心理相談室ウィーク」の実施	2025.7.30.- 8.5.	大学院生	大学院心理相談室による無料相談と講演会および大学院生への指導。特に、発達の遅れを心配されるなどした子どもへの無料発達検査・知能検査について、実施の仕方や保護者からの主訴の聴取、検査結果のフィードバック方法など、院生に対して詳しい指導を行った。

研究活動

名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等
著書・CD				
心理職の「こころ」を耕すワーク・ディスカッション ―安心感に守られた対話で考える力を育む―	2026.3.30.	福村出版	共	【編著】長谷綾子、若佐美奈子、橋本貴裕
学術論文				
セラピストの妊娠という局面から見えてくるもの―特徴的な転移について― (査読なし、依頼論文)	2025.6.5.	精神療法51(3)292-297 (金剛出版)	単	
沈黙、怒り、そして見捨てられ不安 ～橋本論文へのコメント～	2025.7.	岐阜大学心理教育相談研究24 27-39	単	
学会発表				
会員企画分科会「解釈以外の介入再考」	2025.7.5.	日本精神分析的心理療法フォーラム第14回大会 (追手門学院大学)		【発表者】川崎俊法、西野将史、袴田奈津菜 【司会】松岡恵里佳 【指定討論者】筒井亮太、若佐美奈子
自主シンポジウム「解釈をめぐる思索(3)」	2025.9.28.	日本心理臨床学会第44回大会 web大会 自主シンポジウム		【企画者・話題提供者】村井雅美 【話題提供者】若佐美奈子 【指定討論者】吉沢伸一
自主シンポジウム「精神分析的視点から考える 子どもと家族の心理臨床に求められる力とその訓練について」	2025.10.5.	日本心理臨床学会第44回大会 web大会 自主シンポジウム		【企画者・話題提供者】橋村和、畑山由華、新田遼平、 【司会者】松本拓真、 【指定討論者】若佐美奈子

自主シンポジウム「心理臨床家の育成をめぐる情緒的体験とワークディスカッション「育てる者」と「育つ者」の対話から」	2025.10.11.	日本心理臨床学会第44回大会 web大会 自主シンポジウム		【企画者・話題提供者】長谷綾子、 【話題提供者】若佐美奈子、橋本貴裕 【指定討論者】岡野憲一郎、鬼頭智美 【司会者】鈴木菜実子
MBT/転移焦点化精神療法・精神分析的心理療法 それぞれの治療戦略から見た境界性パーソナリティ障害 (BPD)	2025.11.1-3.	日本精神分析学会 教育研修セミナー (オンデマンド)		【企画者】松森基子 【司会者】今井たよか、松森基子 【話題提供者】崔炯仁、鳥越淳一、若佐美奈子 【指定討論者】東啓悟、朝枝清子
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)				
研究タイトル	助成金種類、支給元	代/分	支給額(千円)	開始年度 終了年度
学内研究助成金				
その他(著書、学術論文以外)の執筆および訳書				
書評『欲望の謎—精神分析は、性、愛、そして文化多様性にどう向き合うのか』	2025.7.	『精神分析研究』第69巻第3号453-455	単	
学会役員				
就任期間	学会役員名			
2025.5.25～2029.5.	日本心理臨床学会第5期代議員(社員)			
社会貢献活動				
公開講座				
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要
合理的配慮生徒の事例検討会	2025.6.24.	長田商業高等学校	単	内容/事例検討、情報共有の在り方、観察のポイントについて 主催/長田商業高等学校職員研修
精神分析的な心理療法の介入技法—自由連想、解釈、コンテインメント	2025.7.12.	オンライン	単	主催/NPO法人子どもの心理療法支援会
こんな時どうしよう?子育てSOS	2025.7.19.	高槻市子育て支援センター	単	主催/高槻市子育て支援センター
感じる、想像する、つながる—精神分析を日常臨床に活かす5時間	2025.9.23.	神戸女学院大学	単	主催/神戸女学院大学大学院心理相談室 専門家のための研修会
手の届き難い方への精神分析的アプローチ～援助提供モデルと自己理解促進モデルの長所と短所～	2026.1.23.	東京大学医学部附属病院	単	主催/東京大学医学部附属病院精神神経科 TICPOC
初心の心理職の成長について 語り合い、育ちあうこと	2026.3.13.	オンライン	単	主催/NPO法人子どもの心理療法支援会女性心理臨床ラボ
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名等			
海外での活動				
期間	国名	概要		

文山 知紗

学位						
人間社会学士、教育学士、修士（教育学）						
専門分野						
臨床心理学						
研究課題						
発達障害と描画の関連性						
教育活動						
<u>担当授業（大学）</u>						
クローバーゼミ,心理学入門ゼミ,演習ⅠA,演習ⅠB,心理実習						
<u>担当授業（大学院）</u>						
人間科学合同演習Ⅰ,人間科学合同演習Ⅱ,人間科学合同演習,臨床心理面接特論Ⅱ,臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践),臨床心理査定演習Ⅱ,臨床心理実習Ⅱ,臨床心理地域実践実習Ⅲ(心理実践実習Ⅵ)						
研究活動						
	名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等	
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
	研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度 終了年度
学内研究助成金						
その他（著書、学術論文以外）の執筆および訳書						
	こころのリフレッシュ：「カフェのススメ」	2025.4.1	心理臨床の広場、日本心理臨床学会		pp.22	
	書評特集 MyBest 2025	2025.12.3	シンリンラボ、遠見書房		https://shinrinlab.com/feature03308/	
学会役員						
	就任期間	学会役員名				
	2024.09-現在	日本心理臨床学会 広報誌編集委員				
社会貢献活動						
公開講座						
	講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要	
学外機関委員等						
	就任期間	機関名・委員名・役職名等				
海外での活動						
	期間	国名	概要			

宮脇 英子

学位						
学士（文学）、修士（学術）						
専門分野						
社会福祉学						
研究課題						
精神保健福祉, ソーシャルワーク						
教育活動						
担当授業（大学）						
演習ⅠA, 演習ⅠB, 演習ⅡA, 演習ⅡB, 卒業研究A, 卒業研究B, 現代の精神保健の課題と支援, 精神障害リハビリテーション論, ソーシャルワーク演習, ソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ, ソーシャルワーク実習指導Ⅰ, ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ, ソーシャルワーク演習(専門)Ⅲ, ソーシャルワーク実習指導Ⅱ, ソーシャルワーク実習						
担当授業（大学院）						
-						
その他教育活動上特記すべき事項						
	年月	対象者	概要			
精神保健福祉士養成課程勉強会開催	2025年7月19日	精神保健福祉士養成課程を卒業生および精神保健福祉士養成課程在学学生(4年生)	精神保健福祉士養成課程を卒業した方々を対象とした勉強会を実施し、卒業生同士のつながりづくりや在学学生との交流の機会とした			
研究活動						
	名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等	
著書・CD						
学術論文						
精神保健福祉士養成教育におけるグループスーパービジョンの課題：養成校でのソーシャルワーク実習指導におけるグループの効果的活用に向けた文献検討	2025.6	神戸女学院大学論集第72巻第1号				
学会発表						
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
社会貢献活動						
公開講座						
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名等					
2025年4月から2026年3月	神戸市精神医療審査会有識者委員					
その他社会活動上特記すべき事項						
2025年7月13日 木の芽家族会定例会 「地域におけるこれからの家族支援『ひきこもり』CRAFTの地域展開に向けて」						
海外での活動						
期間	国名	概要				

上 泰

学位						
学士（情報工学），修士（情報工学），博士（情報工学）						
専門分野						
IT教育，制御工学						
研究課題						
数理最適化による制御系設計手法の開発，プログラミングの授業・教材に関する研究						
教育活動						
<u>担当授業（大学）</u>						
演習Ⅰ，演習Ⅱ，卒業研究，解析学，解析学基礎，数学入門，情報科学入門，IT基礎演習，IT応用演習，データサイエンス入門						
<u>担当授業（大学院）</u>						
人間情報処理特論，情報科学特論						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
授業のデジタル化と共有		2025年度	数学入門，解析学，情報科学入門	<p>板書をデジタル化し，板書内容を画像保存・展開することで，板書内容をいつでも見返せるようにし，学生の理解度向上につなげるようにした。</p> <p>授業を録画（文字起こし含む）・公開することで，授業中に聞き取れなかった場合でも，録画や文字起こし結果を利用して，内容を振り返ることができるようにした。</p>		
研究活動						
名称		発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等	
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
「中大連携を活かしたプログラミング体験授業の改善と課題」	2025.12	第25回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会	共	共同発表/岩野 優樹，上 泰，熊倉 誠		
「衣料品リユース活性化を促進するための服の状態判定AIシステムの開発」	2025.8	2025年 電気学会 電子・情報・システム部門大会	共	共同発表/田中 駿，平野 雅嗣，水沼 千枝，上 泰，奥村 紀之		
「献立自動生成システムのためのデータセットの構築」	2025.5	2025年度人工知能学会全国大会（第39回）	共	共同発表/水沼 千枝，奥村 紀之，上 泰，石田 麻莉		
「管理栄養士支援のための献立自動生成システム」	2025.5	2025年度人工知能学会全国大会（第39回）	共	共同発表/奥村 紀之，上 泰，水沼 千枝，石田 麻莉		
学外研究助成金 （支給額は当該年度の直接経費配分額）						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金						
学会役員						
就任期間		学会役員名				

その他研究活動上特記すべき事項				
事項	年月	概要		
知的システム・ネットワーク統合のための適応学習制御調査研究会 委員	2025年3月-現在	適応制御を基盤とする, 知的システムやネットワークに関する制御の研究活動を推進する研究会の委員として活動		
モデルとデータの融合によるスマート制御システム設計に関する調査専門委員会委員	2025年10月-現在	モデルベース型制御系設計論とデータ駆動型制御系設計論を融合し, スマートな制御系を設計する新たな理論体系の研究を推進する専門委員会委員として活動		
日本産業技術教育学会 学会賞 (2025年度論文賞)	2025年8月	中学校のプログラミング教育で求められる「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題の解決」の授業において, 生徒たちがプログラミング対象とするmicro:bitを用いたIoTシステムを考案し, 教育現場での有用性を示した.		
SI2025 優秀講演賞	2025年12月	中学校と連携して実施してきたプログラミング体験授業の, 教育上の効果や改善内容, 課題等について発表した.		
社会貢献活動				
公開講座				
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要
小野市内小学校一斉オンラインプログラミング体験授業	2025年6月	オンライン	単	内容/micro:bitを用いたプログラミング体験授業. 主催/小野市教育委員会
小野市内小学校一斉オンラインプログラミング体験授業	2025年11月	オンライン	単	内容/micro:bitを用いたプログラミング体験授業. 主催/小野市教育委員会
小野市内小学校一斉オンラインプログラミング体験授業	2026年1月	オンライン	単	内容/micro:bitを用いたプログラミング体験授業. 主催/小野市教育委員会
小野市サマースクール	2025年7月	コミセンおおべ	単	内容/Ozobotによるアンブラグドプログラミング体験と, micro:bitを用いたプログラミング体験. 主催/コミセンおおべ
小野市おおべ未来塾	2025年6月	コミセンおおべ	単	内容/Ozobotによるアンブラグドプログラミング体験. 主催/コミセンおおべ
小野市おおべ大人の未来塾	2025年6月	コミセンおおべ	単	内容/Chat-GPTの特徴に関する講座. 主催/コミセンおおべ
稲美町立天満南小学校プログラミング体験授業	2025年9月	天満南小学校	単	内容/micro:bitとMaqueenを用いたプログラミング体験授業. 主催/稲美町立天満南小学校
稲美町立天満南小学校 情報教育に関する研修会	2025年10月	天満南小学校	単	内容/プロンプトエンジニアリングや生成AIツールに関する研修会. 主催/稲美町立天満南小学校
稲美町立加古小学校プログラミング体験授業	2025年11月	加古小学校	単	内容/micro:bitとOzobotを用いたプログラミング体験授業. 主催/稲美町立加古小学校
稲美町立加古小学校 情報教育に関する研修会	2025年12月	加古小学校	単	内容/プロンプトエンジニアリングや生成AIツールに関する研修会. 主催/稲美町立加古小学校
兵庫県機械技術研究会シーケンス制御講座 (講習編)	2025年7月	兵庫県立工業技術センター	単	内容/シーケンス制御の基礎を学ぶ講習会. 主催/兵庫県機械技術研究会

兵庫県機械技術研究会シーケンス制御講座（実習編）	2025年9月	明石工業高等専門学校	単	内容/シーケンス制御の基礎に関する実習中心の講習会。主催/兵庫県機械技術研究会
シーケンス制御・PLCの基礎と変数を用いたラダープログラミングのポイント	2025年8月	オンライン	単	内容/リレーシーケンスの基礎から国際規格（IEC61131-3）に基づくラダープログラムの基礎までを説明する講習会。主催/日本テクノセミナー
国際規格に準拠したPLCプログラム設計入門	2025年12月	オンライン	単	内容/国際規格（IEC61131-3）や、これに基づくラダープログラムの基礎を説明する講習会。主催/日刊工業新聞社
国際規格に準拠したPLCプログラム設計入門	2026年3月	オンライン	単	内容/国際規格（IEC61131-3）や、これに基づくラダープログラムの基礎を説明する講習会。主催/日刊工業新聞社
芦屋市の「こえる場！ えがおつながるワクワク体験！」のプログラミング体験ブース出展	2025年11月	芦屋市保健福祉センター	単	内容/子ども向けのプログラミング講座として、小型ロボットOzobotを動かす体験講座を実施。主催/芦屋市
宮水ジュニア講座	2025年12月	神戸女学院	単	内容/micro:bitとブレッドボードを用いた回路政策とプログラミング体験、および、Maqueenを制御するプログラミング体験の講座を実施。主催/西宮市
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名等		
2024年6月-現在		地域ICT推進協議会		
海外での活動				
期間		国名	概要	

三宅 志穂

学位			
教育学士, 修士 (学術), 博士 (学術)			
専門分野			
環境社会学, 科学教育			
研究課題			
環境理解を促進する地域コミュニティの形成と発展プロセス, 持続可能な社会構築に向けた科学リテラシー教育の展開			
教育活動			
担当授業 (大学)			
理科教育法Ⅲ, 理科教育法Ⅳ, 入門ゼミ, 環境社会学, 環境教育実践論, 演習Ⅰ, 演習Ⅱ, 卒業研究			
担当授業 (大学院)			
環境社会学特論, 研究指導			
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要
ケアが必要な学生に対するサポート	2025.04- 2026.03	ゼミ過年度生	ゼミをすでに終了した過年度生 (双極性障害) が居場所がないということでゼミに来てもらって, 動物園での活動などに参加してもらった。学会発表を薦めてみると元気になって, 発表をすることができた。
ワークショップ用絵本教材の作成	2025.04- 2026.03	幼児から大学生, 一般向け	絶滅危惧種アマミノクロウサギをモチーフとする絵本教材を制作した。
アカデミックアドバイザーとしての修学アドバイス	2025.04- 2025.03	1, 2年生の対象学生	対面で修学状況の確認と面談を行った。
アカデミックアドバイザーとしての修学アドバイス	2025.04- 2026.03	3, 4年生の担当学生	対面で修学状況の確認と面談を行った。
アクティブラーニングとポートフォリオ評価の工夫	2025.04- 2026.03	環境社会学の受講者	学生の作品制作およびその評価を取り入れた授業の工夫を行った。
アクティブラーニングとポートフォリオ評価の工夫	2025.04- 2026.03	環境教育実践論の受講者	学生の作品制作およびその評価を取り入れた授業の工夫を行った。
卒業研究における博学連携 (共同研究) の遂行	2025.04- 2026.03	卒業研究の受講者	卒業研究に取り組む学生への体験的学びを促進するため, 複数の地域施設 (動物園) との共同による研究実施に取り組んだ。
教職課程履修者への指導とサポート	2025.04- 2026.03	教職課程の受講生	教職課程の履修に関わって, 履修・辞退希望者への面談およびガイダンス欠席時のレポート課題の対応を行った。
教育実習校と学生との問題への取り組み	2025.05- 2025.10	教職学生の学生	実習校の依頼をする際に問題を起こし, 教務課・教職センターとともに対応した。
大学院生の研究費応募サポート	2025.04- 2026.03	博士課程院生	研究費公募の探索と応募書類作成指導をした。
研究活動			
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共 共著者、共同発表者、共演者、担当頁等
著書・CD			

学術論文				
「外来種被害予防三原則の普及を意図した教材開発：動物園の両生類・爬虫類をモチーフとしたデジタルスタンプラリー」	2025.12.6	日本科学教育学会研究会 研究報告, 40 (2)	共	三宅志穂・森松玲・前田菜穂・廣谷あおい。pp.151-156
「生物多様性教育への接続を意図した『土壌動物の観察実験』の実践」(査読あり)	2025.3.31	理科教育学研究, 66 巻3号	共	幸田真梨子・三宅志穂。pp.601-614
「希少種アマミノクロウサギのロードキル問題を題材とした教材開発」	2025.12.6	日本科学教育学会研究会 研究報告, 40 (2)	共	幸田真梨子・菅彩希子・玉井水緒・中本千尋・日高姫翠・三宅志穂。pp.173-176
学会発表				
「生物多様性保全リテラシーの育成に向けた科学教育研究の視点」	2025.9.5-7	日本科学教育学会全国大会『日本科学教育学会年会論文集』第49回年会	単	pp.129-130。広島大学東広島キャンパス
「オンラインツアーを活用した生物多様性保全教育プログラムの特質：先行事例との評価指標比較を通して」	2025.9.5-7	日本科学教育学会全国大会『日本科学教育学会年会論文集』第49回年会	共	pp.133-134。出口明子・三宅志穂・大貫麻美・三好美織。広島大学東広島キャンパス
「アンボセリ国立公園およびマサイマラ国立保護区の現地調査：生物多様性教材のための情景デザインの視点」	2026.3.20	日本理科教育学会オンライン全国大会『日本理科教育学会全国大会発表論文集』第26号	単	p.127
「生物多様性をキーとするSDGs世代の市民育成にむけた科学教育」	2025.9.5-7	日本科学教育学会全国大会『日本科学教育学会年会論文集』第49回年会	単	座長
「生物多様性の保全に寄与する行動をどう測るか —教育場面で使用可能な尺度の比較検討—」	2025.9.5-7	日本科学教育学会全国大会『日本科学教育学会年会論文集』第49回年会	共	pp.135-136。幸田真梨子・三宅志穂
「自然共生サイト認定申請に対する関係者の意識 —教育機関敷地の事例から—」	2025.10.9-12	日本環境教育学会第35回大会	共	p.64。幸田真梨子・三宅志穂。北海道教育大学釧路校
"Awareness of Three Key Environmental Issues Among Japanese Undergraduate Students"	2025.7.1-4	Australasian Science Education Research Association LTD, Annual Conference	単	p.64。Deakin University, Melbourne,
「生物多様性保全意識の芽生えを促すアマミノクロウサギをモチーフとする幼児期向けサステナビリティ・コンピテンシーの一考察」	2025.8.23-24	日本理科教育学会第75回全国大会『全国大会発表論文集』第25号	単	p.456。富山大学
その他の研究発表、演奏				
「自然共生サイトにおける環境教育の実施状況とその可能性」	2025.8.2	神戸女学院大学生命環境学部サイエンスフォーラム	共	幸田真梨子・三宅志穂

学外研究助成金						(支給額は当該年度の直接経費配分額)
研究タイトル	助成金種類、支給元	代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度	
SDGs世代市民のバイオリテラシーを育成する生物多様性教育プログラム開発と評価	日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B)	代	830	2021	2025	
サスティナビリティ・コンピテンシーを培う幼児向けSTEAMプログラムの開発と評価	日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B)	分	280	2024	2027	
学内研究助成金						
アマミノクロウサギをモチーフとする生物多様性教育の研究	人間科学部研究助成	代	600			
その他(著書、学術論文以外)の執筆および訳書						
教材絵本「アマミノクロウサギ テツコのおはなし」	2025.3.1	研究助成による制作	共	三宅志穂・幸田真梨子・自然環境教育学ゼミ生		
学会役員						
就任期間	学会役員名					
2025.04-2025.07	日本科学教育学会広報委員					
2025.04-2026.03	日本科学教育学会理事					
2025.04-2025.06	日本理科教育学会理事					
2025.07-2026.03	日本理科教育学会副会長					
社会貢献活動						
公開講座						
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名等					
海外での活動						
期間	国名	概要				

中川 徹夫

学位			
博士 (学術)			
専門分野			
理科教育, 化学教育, 物理化学, 溶液論			
研究課題			
マイクロスケール実験に関する教材開発・改良と授業実践, 分子性溶液内の溶質-溶媒相互作用, 物理学および化学に関するリメディアル教育			
教育活動			
<u>担当授業 (大学)</u>			
理科教育法Ⅰ, 理科教育法Ⅱ, 教職実践演習(中・高), 教育実習Ⅰ, 教育実習Ⅱ, 演習Ⅱ, 卒業研究, 化学入門, 化学概論, 物理学実習(講義を含む), 物理学概論			
<u>担当授業 (大学院)</u>			
人間科学合同演習Ⅰ, 人間科学合同演習Ⅱ, 人間科学合同演習			
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要
1年生アカデミックアドバイザー	2025.4 -2026.3	生命環境学科1年生	アカデミックアドバイザーとして、生命環境学科1年生に、学期当初に履修カルテに基づき指導した。
2年生アカデミックアドバイザー	2025.4 -2026.3	環境・バイオサイエンス学科2年生	アカデミックアドバイザーとして、環境・バイオサイエンス学科2年生に、学期当初に履修カルテに基づき指導した。
化学入門	2025.4-7	主に全学1年生	授業資料(ハンドアウト)を作成し、Moodleコースにアップロードした。随時、授業内容に関連した問題演習を取り入れ、学習者の理解の定着を図った。テキストには、これまでの講義原稿をまとめて執筆した自書「化学の基礎」(化学同人)を用いた。
物理学概論	2025.4-7	主に環境・バイオサイエンス学科2年生	授業資料(ハンドアウト)を作成し、Moodleコースにアップロードした。随時、問題演習や小テストを導入し、学習者の理解の定着を図った。
化学概論	2025.9 -2026.1	主に生命環境学科1年生	授業資料(ハンドアウト)を作成し、Moodleコースにアップロードした。随時、問題演習や小テストを導入し、学習者の理解の定着を図った。
物理学実習	2025.9 -2026.1	主に環境・バイオサイエンス学科2年生	授業資料(ハンドアウト)を作成し、Moodleコースにアップロードした。講義以外に、実験・実習を多く取り入れ、物理学に対する興味・関心を高めるように工夫した。
理科教育法Ⅰ	2025.4-7	環境・バイオサイエンス学科3年生(教職課程履修者)	授業資料(ハンドアウト)を作成し、Moodleコースにアップロードした。受講生には学習指導案と板書計画を作成させて高等学校理科に関する模擬授業(授業15分、質疑応答5分)を実施し、次年度の教育実習に備えた。

理科教育法II	2025.9 -2026.1	環境・バイオサイエンス 学科3年生（教職課程履 修者）	授業資料(ハンドアウト)を作成し、Moodle コースにアップロードした。受講生には学 習指導案と板書計画・パワーポイント計画 を作成させて中学校理科に関する模擬授業 (授業15分、質疑応答5分)を実施し、次年度 の教育実習に備えた。
演習II	2025.4 -2026.1	環境・バイオサイエンス 学科4年生	授業資料(ハンドアウト)を作成し、Moodle コースにアップロードした。研究の進め方 やまとめ方に関して討議した。一部、卒業 研究のための実験にも充当した。
卒業研究	2025.4 -2026.1	環境・バイオサイエンス 学科4年生	卒業研究のための実験・実習指導や、卒業 論文やパワーポイントの原稿完成に向けて 具体的な指導を実施した。
教育実習I-II	2025.4 -2026.1	環境・バイオサイエンス 学科4年生	中学校・高等学校理科教員免許を取得する ための教育実習に関する指導を実施した (事前事後指導を含む)。具体的には、事 前指導、事後指導、実習校訪問、実習ノー トの点検とコメント、評価等を行った。
教職実践演習	2025.11 -2026.1	環境・バイオサイエンス 学科4年生	模擬授業やグループ討議を実施し、模擬授 業の学習指導案やパワーポイント計画を Moodleコースにアップロードした。模擬授 業コメントシートを用いたフィードバック も実施した。
人間科学合同演習	2025.4 -2026.1	人間科学研究科博士前期 課程・後期課程院生	この授業では毎回2名の院生が自己の研究内 容に関して発表する。それらに対して、コ メントやアドバイスを実施した。
理科教職講演会	2025.7.8	環境・バイオサイエンス 学科3年生（教職課程履 修者）	理科教育法Iの授業時に、兵庫県立御影高等 学校の大西伸弥氏（担当科目は生物）を講 師に迎えて開催した。理科教員の仕事内 容、教育におけるトレンド、教員採用試験 とその対策、部活動である環境科学部（通 称"キノコ部"）の指導の様子や、大西氏の 研究内容の説明があった。
教育実習体験談	2026.1.23	環境・バイオサイエンス 学科3年生（教職課程履 修者）	理科教育法IIの授業時に、教育実習を終えた 4年の齋藤さんが体験談を紹介した。参加前 の心構えや準備すべき内容（1日の流れを知 る、板書の練習、話し方の練習など）、開 始後1週目の重要事項（注意のし方や間の取 り方、教材や板書の工夫など）、2-3週目の 重要事項（授業準備が中心など）の説明が あった。
教員採用試験関連の指導	2025.4-7	環境・バイオサイエンス 学科4年生（教職課程履 修者）	大学推薦枠で教員採用試験を受験する学生 に対し、出願書類の点検や面接指導を実施 した。
研究倫理審査	2025.4 -2026.3	人間科学研究科博士前期 課程・後期課程院生	研究倫理委員として、人間科学研究科大学 院生の研究倫理審査業務を担当した。

研究活動				
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等
著書・CD				
学術論文				
「安価な手作りウェルプレートを使用した酢酸およびアンモニアの電離平衡に関するマイクロスケール実験教材の改良と授業実践」	2025.6.20	『神戸女学院大学論集』 第72巻第1号 神戸女学院大学研究所	単	pp. 19-30.
「異性化反応と2分子および3分子会合反応に関するギブズエネルギーとギブズエネルギー変化：理想混合モデルによる解釈」	2025.12.20	『神戸女学院大学論集』 第72巻第2号 神戸女学院大学研究所	単	pp. 59-73.
学会発表				
「高等学校旧課程化学基礎・化学履修者に対するモルの定義の指導上の課題」	2025.6.7	第27回近畿地区化学教育 研究発表会 (大阪教育大学天王寺キャンパス、大阪府大阪市)	単	口頭発表
“Development of Teaching Materials on Spontaneity of Chemical Reactions: Solid Divalent Metals with Aqueous Divalent Metal Cations using Theoretical and Microscale Experimental Approach ”	2025.7-26-28	10th Network of Inter-Asian Chemistry Educators (NICE) Conference 2025 (Yamagata Kokusai Hotel, Yamagata, Japan)	単	口頭発表 座長も担当
「2価金属と水素イオンの反応に関する教材開発：反応ギブズエネルギーと反応進行度の関係」	2025.8.23-24	日本理科教育学会第75回 全国大会 (富山大学五福キャンパス、富山県富山市)	単	口頭発表 座長も担当
「2価金属と2価金属イオンの反応に関する教材開発 反応ギブズエネルギーと反応進行度の関係」	2025.11.15 -16	日本教科教育学会第51回 全国大会 (日本福祉大学美浜キャンパス、愛知県知多郡)	単	口頭発表
「2価金属と水素イオンの反応に関する教材開発反応エンタルピー、反応エントロピーと反応進行度の関係」	2025.11.29	日本理科教育学会近畿支部大会2025 (和歌山大学教育学部附属中学校、和歌山県和歌山市)	単	口頭発表 座長も担当
“Standard Gibbs Energies and Microscale Experiments for Reaction of Metals (Cu, Zn and Mg) with Aqueous Cations (H ⁺ , Cu ²⁺ , Zn ²⁺ and Mg ²⁺) using Low-cost Handmade Well Plates”	2025.12.15 -20	The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (Pacifichem) 2025 (Honolulu, Hawaii, USA)	単	ポスター発表
「高等学校化学におけるアルカリ土類金属と塩化水素や水との反応：標準反応ギブズエネルギーに着目して」	2026.3.17-20	日本化学会第106春季年会 (日本大学理工学部船橋キャンパス、千葉県船橋市)	単	口頭発表 座長も担当

その他の研究発表、演奏					
「手作りウェルプレートを使用したマイクロスケール実験の開発」	2025.8.2	神戸女学院大学生命環境学部 研究発表フォーラム	単	ポスター発表	
「金属と水溶液中における金属陽イオンの反応に伴うエネルギー変化：標準反応エンタルピー、標準反応エントロピー、標準反応ギブズエネルギーおよび平衡定数の推算」	2025.12.6	新課程の高等学校「化学」に対応するための研修会 (第一薬科大学、福岡県福岡市)	単	口頭発表	
「手作りウェルプレートを用いた金属と水溶液中における金属陽イオンの反応に関するマイクロスケール実験：反応の自発性および駆動力の予測と検証」	2025.12.6	新課程の高等学校「化学」に対応するための研修会 (第一薬科大学、福岡県福岡市)	単	口頭発表	
学外研究助成金					
(支給額は当該年度の直接経費配分額)					
研究タイトル	助成金種類、支給元	代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
化学反応の自発性とその主要因に関する理解を深める新規教材の開発	日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C)	代	900	2024	2026
学内研究助成金					
その他(著書、学術論文以外)の執筆および訳書					
「手作りウェルプレートを用いた金属と水溶液中における金属陽イオンの反応に関するマイクロスケール実験：反応の自発性および駆動力の予測と検証」	2025.5	『東レ理科教育賞・企画賞報告書』	単	全3頁.	
学会役員					
就任期間	学会役員名				
社会貢献活動					
公開講座					
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要	
学外機関委員等					
就任期間	機関名・委員名・役職名等				
その他社会活動上特記すべき事項					
2025.4-現在 小学校・中学校・高等学校理科教員を対象に、マイクロスケール実験に関する指導助言を実施した。					
2025.4-現在 中学校・高等学校理科教員を対象に、化学、とりわけ物理化学に関する指導助言を実施した。					
2025.4-2026.3 学会で、マイクロスケール実験容器作成用展開図(日本語版)の見本を希望者に配布した。					
2025.7.12 国際会議で、マイクロスケール実験容器作成用展開図(英語版)の見本を希望者に配布した。					
海外での活動					
期間	国名	概要			

researchmap ; <https://researchmap.jp/read0060057>

佐藤 友亮

学位						
医学 学士 (医学), 博士 (医学)						
専門分野						
血液学、身体論						
研究課題						
「造血細胞の増殖・分化におけるSATB1の機能解析」 「身体とコミュニケーション」 「ジェンダーと医学」						
教育活動						
<u>担当授業 (大学)</u>						
演習Ⅰ, 演習Ⅱ, 卒業研究, 生命科学基礎実習(講義を含む), バイオサイエンス基礎実習(講義を含む), 人体の構造と機能, 生命の科学実習(講義を含む), 病気の細胞生物学, 健康医学						
<u>担当授業 (大学院)</u>						
細胞生物学特論						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
学院産業医としての活動		通年	学院、中高部および大学 教職員	就労制限の判断のための面談、意見書の作成、健康診断結果への意見、その他、事業所(学院)の労働安全衛生の維持に関わる業務		
校医としての活動		通年	本学大学生、留学生	本学学生と、留学生の健康状態の確認、要配慮学生の問題への対応(寮生を含む)		
研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
学術論文						
「偶然を取り込む身体」	2025.9.15	医学書院第28巻第5号	単	pp.384-387		
学会発表						
その他の研究発表、演奏						
神戸女学院大学生命環境学部開設記念シンポジウム(パネリスト)	2025.8.2	神戸女学院大学	共	パネルディスカッション		
神戸女学院大学奈良女子大学合同研究会での発表	2026.3.3	オンライン	単	「ジェンダーダイノベーションズを取り入れたゼミ教育」		
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金						
細胞から個体レベルまで、環境がヒトに及ぼす影響についての包括的な研究(性差に着目して)	人間科学部研究助成		代	800		
学会役員						
就任期間	学会役員名					

社会貢献活動				
公開講座				
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要
2025年度新入社員フォロー研修（講演）	2026/2/25	山崎製パン大阪第二工場		内容/社員約40名を対象に、新入社員の一年後フォロー研修として、仕事と生活上の注意点について産業医として講演を実施。主催/山崎製パン大阪第二工場
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名等			
その他社会活動上特記すべき事項				
合気道凱風館（神戸市東灘区）での、合気道の指導クラスを計10回担当。また稽古担当者の配置調整などの業務を、道場運営委員として実施している。				
山崎製パン大阪第二工場嘱託産業医（2025年4月～2026年3月、継続中）				
海外での活動				
期間	国名	概要		

高橋 大輔

学位						
博士号 (理学)						
専門分野						
行動生態学、保全生態学						
研究課題						
雌の配偶者選択の柔軟性が性的二形の進化に及ぼす影響の解明、里山の生物多様性の保全に関する研究						
教育活動						
<u>担当授業 (大学)</u>						
環境科学基礎実習(講義を含む),環境保護論,演習Ⅰ,演習Ⅱ,卒業研究,クローバーゼミ,生物の適応と進化,動物生態学,生態学実習Ⅰ(講義を含む),生態学実習Ⅱ(講義を含む)						
<u>担当授業 (大学院)</u>						
環境科学演習Ⅰ(A),環境科学演習Ⅱ(A),環境科学特別研究Ⅰ,環境科学特別研究Ⅱ,研究指導						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
履修生との双方向性を担保		2025年4月16日 ～7月23日	Sc236(1)動物生態学 (履修学生数72名)	全ての授業回において、毎回、授業内容に関する質問や意見をmoodleの「課題」機能を用いて求め、次回の授業の冒頭でそれらの質問や意見に回答することで双方向性を担保した。		
履修生との双方向性を担保		2025年10月1日 ～2026年1月21日	ES330(2)環境保護論 (23名)、Sc132(2)生物の適応と進化 (47名)	全ての授業回において、毎回、授業内容に関する質問や意見をmoodleの「課題」機能を用いて求め、次回の授業の冒頭でそれらの質問や意見に回答することで双方向性を担保した。		
研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
「タケクマバチの花粉資源利用：メスの外部形態・営巣環境との関係」	2025.9.13-15	日本昆虫学会第85回大会 (東京農業大学農学部 (厚木キャンパス))	共	発表者：吉村真奈・高橋大輔		
その他の研究発表、演奏						
令和7年度兵庫県私立中学高等学校理科教育研究会研修会	2025.10.17	雲雀丘学園中高等学校	単	タイトル：「水辺から考える生物の進化と保全～魚類の性淘汰とトンボの保全生態学～」		
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金						

学会役員				
就任期間		学会役員名		
社会貢献活動				
公開講座				
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要
朝日親と子の自然環境教室	2025.7.5	神戸女学院大学	単	内容/神戸女学院大学において、小学生とその保護者を対象とした自然観察教室を実施。主催/NPOシニア自然大学校。後援/朝日新聞、朝日小学生新聞
芦屋市保育所での環境教育活動	2025.5.28および6.10	岩園保育所および緑保育所	単	内容/本学と包括連携協定を締結した芦屋市との協定に関わる取り組みとして、岩園保育所ならびに緑保育所の園児を対象に、野外における以前体験とICTを組み合わせた環境教育活動を実施した。
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名等		
2021.12-現在		武庫川流域圏ネットワーク・運営委員		
海外での活動				
期間	国名	概要		

高岡 素子

学位						
農学士, 農学修士, 博士 (学術)						
専門分野						
食品科学						
研究課題						
教室内環境がアレルギーと喘息に対する影響, アミノ酸に対する身体の応答性について, 抗不安作用をもつ食品の探索, 発酵食品の機能性, 紅茶、緑茶の機能性, 鶏肉の調理特性、高齢者の咀嚼評価						
教育活動						
担当授業 (大学)						
演習Ⅰ, 演習Ⅱ, 卒業研究, 栄養生理学, 食品学, 食品学基礎実習(講義を含む), プロジェクト: 神戸女学院を創る, クローバーゼミ, 生命科学基礎実習(講義を含む), バイオサイエンス基礎実習(講義を含む)						
担当授業 (大学院)						
健康科学演習Ⅱ, 健康科学特別研究Ⅱ						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
保育園での食教育実習・ミニ実験		2025.10.07	芦屋市西蔵保育園園児	ゼミ生8名と保育園児を対象とした食べ物に関する授業と実験		
保育園での食教育実習・ミニ実験		2025.06.23	精道こども園園児	ゼミ生8名と保育園児を対象とした食べ物に関する授業と実験		
宝塚バーガーランドでの栄養指導		2025.09.06	イベント来場者	ゼミ生2名と来場者親子に対する栄養指導		
学生支援ガイドラインの刷新(学生支援ネットワーク、ワーキンググループ)		2026.03	学内全教職員	学生支援ネットワークのワーキンググループで「学生支援ガイドライン」を刷新した		
春フェスの開催		2025.04.04, 07	大学2.3年生	教務部長や自治会とともに、学部2,3年を対象に、大学学びや生活について情報発信の時間を持った		
宝塚カレエグランプリに参加		2025.04~08	一般	ゼミ生で考案したレシピを参考にレトルトカレエを制作し、宝塚カレエグランプリに参加、宝塚阪急にて販売		
研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
「ミカン麹発酵産物のメタボローム解析と機能性の探求」	2025.05.24	第79回日本栄養・食糧学会	共	大野愛加、大橋博之、中川拓郎、高岡素子		
「プラズマ液界面プロセスにおける液中化学種輸送レートの影響」	2026.03.15	第73回応用物理学会春季学術講	共	白藤立、増田隼、呉準席、高岡素子		
その他の研究発表、演奏						
「香りでお困りごとを解決したい」	2025.12.18	研究関係者	単	全国キャラバン3 Questions/公益財団法人国際高等研究所		
学外研究助成金						
(支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度

学内研究助成金				
自作コンブチャの機能性の探索	人間科学部研究助成	代	400	
産官学連携				
ジンジャーエキスの摂取による PMS への影響の評価	池田食研株式会社	代	-	
コーゲン入り米粉パンのレシピ開発	有限会社麻布珈琲店	代	-	
学会役員				
就任期間	学会役員名			
2025.04.01-2026.03.31	日本調理科学会 代議員			
その他研究活動上特記すべき事項				
事項	年月	概要		
文化庁『令和6年度「食文化ストーリー」創出・発信モデル事業』	2025.03-2026.03	「南加賀地域における伝統行事文化における食文化継承事業」への学術有識者としての参加		
社会貢献活動				
公開講座				
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要
尼崎プロバスクラブ琴寿回 例会	2025.08.04	ホテルビスキオ尼崎	単	内容/発酵食品について、主催/尼崎プロバスクラブ
わが身を守る発酵・楽しむ醸造	2025.05.30	豊中教室	単	内容/発酵食品がもたらす食の未来、認定NPO法人 主催/大阪府北部コミュニティカレッジ
食べ物と“香り”のふしぎを探ろう！	2026.03.24	神戸女学院大学	単	内容/中学生対象ミニ実験 親和中学校 × 神戸女学院大学
抗酸化力を測ってみよう	2026.03.20	神戸女学院大学	単	内容/中高生向け実験 主催/生命環境学部サイエンス体験
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名等			
2025.04.01-2026.03.31	神戸大学食資源教育研究センター・共同推進委員			
2025.04.01-2026.03.31	兵庫県農福連携支援アドバイザー			
2025.04.01-2026.03.31	JRA事業推進委員会委員			
その他社会活動上特記すべき事項				
大阪公立大学工学部教授兼任 クロスアポイント制度による				
海外での活動				
期間	国名	概要		

横田 弘文

学位						
農学学士, 農学修士, 博士 (農学)						
専門分野						
生態毒性学						
研究課題						
化学物質の環境生物に対する毒性影響, 野生メダカの保護・育成に関する研究						
教育活動						
<u>担当授業 (大学)</u>						
環境科学基礎実習(講義を含む), 演習Ⅰ, 演習Ⅱ, 卒業研究, 生態毒性学概論, 生態毒性学						
<u>担当授業 (大学院)</u>						
環境分子生物学特論, 環境科学演習Ⅱ(E), 環境科学特別研究Ⅱ						
研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金						
京都市及び亀岡市に生息する野生メダカの遺伝子型解析	研究助成 (総額)		代	300		
学会役員						
就任期間	学会役員名					
社会貢献活動						
公開講座						
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名等					
海外での活動						
期間	国名	概要				

西海 信

学位			
学士（農学）、修士（自然科学）、博士（農学）			
専門分野			
メタボロミクス、生化学			
研究課題			
健康と代謝との関連性に関する研究			
教育活動			
<u>担当授業（大学）</u>			
Tutorial for Exchange Student,入門ゼミ,演習Ⅰ,演習Ⅱ,卒業研究,地域活性化総合実習,生命科学基礎実習(講義を含む),バイオサイエンス基礎実習(講義を含む),分子生物学,生物反応速度論,生化学,生化学実習(講義を含む)			
<u>担当授業（大学院）</u>			
健康科学演習Ⅰ,健康科学特別研究Ⅰ			
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要
教育内容・方法の工夫	2025年度前期・後期	学部2回生、3回生	各回の講義において、その日の講義内容を復習できるように、毎回確認問題などを作成し、学生の理解度を深める工夫を実施
教育内容・方法の工夫	2025年度前期・後期	学部1回生	各回の実習において、高校で習う化学の内容を復習するための講義の時間を設け、その上で、化学に関する実習を実施することで、学生の理解度を高める工夫を実施
教育内容・工夫	2025年度前期	学部1回生	学部に存在するゼミとはどのようなところかを知ってもらうために、授業の一環として、ゼミに直接訪問して話を聞くゼミ訪問を企画し、今後、所属することになるゼミについてより深く理解できる機会を設定
教育内容・工夫	2025年度後期	留学生	Tutorial for Exchange Studentで留学生の授業を担当し、本人の希望を聞きながら、実習授業として実習内容を計画するとともに、英語プロトコル作成などを行うことで、円滑に授業を進めることができるような工夫を実施
研究活動			
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共 共著者、共同発表者、共演者、担当頁等
著書・CD			
学術論文			
"Functions of coffee fermented by <i>Rhizopus oligosporus</i> " (査読あり)	2025.08.31	Journal of Nutritional Science and Vitaminology, 71(4).	共 共著/Shin Nishiumi, Tatsuo Nakahara, Mei Kimura, Chihiro Fujiwara, Aki Hayakawa, Sara Hosoki, Hana Kato, Karen Kuroki, Miki Nakano, Rikako Sakamoto, Mio Yamaoka. p386-393.
"Development of a new procedure for selecting internal standards for gas chromatography/mass spectrometry-based plasma metabolome analysis" (査読あり)	2025.12.04	Analytical Methods, 17(47).	共 共著/Nishiumi S, Yokoyama T, Ojima N. p9683-9688.

学会発表					
学外研究助成金					
(支給額は当該年度の直接経費配分額)					
研究タイトル	助成金種類、支給元	代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
血中代謝物分析における新たなデータ補正・定量分析法の確立	日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C)	代	-	2021	2024 (延長)
高脂肪食負荷によるマクロファージ機能低下メカニズムの解明	日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B)	分	200	2024	2026
学内研究助成金					
産官学連携					
発酵コーヒーの機能性成分分析	株式会社トワメイト	代	-		
学会役員					
就任期間	学会役員名				
その他研究活動上特記すべき事項					
事項	年月	概要			
非常勤講師	2025.04.01- 2026.3.31	兵庫医科大学 非常勤講師着任 (研究開発プロジェクトに関与)			
社会貢献活動					
公開講座					
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要	
生命環境学部サイエンス体験	2025.09.07	神戸女学院大学	単	内容/「食品機能性評価実験を体験しよう！」の題目で高校生に対してサイエンスに触れる場を設定 主催/生命環境学部	
生命環境学部サイエンス体験	2026.03.11	神戸女学院大学	単	内容/「食品機能性評価実験」の題目で兵庫県立西宮高等学校の学生に対してサイエンスに触れる場を設定 主催/生命環境学部	
学外機関委員等					
就任期間	機関名・委員名・役職名等				
その他社会活動上特記すべき事項					
2025年6月4日(水)：模擬講義(親和女子高等学校)					
2025年10月25日(土)：模擬講義(ミライノトピラ(学問・分野 体験会)) (大谷中学・高等学校)					
2025年9月～12月：神戸女学院高等学部3年生指導(「生物特講」の一貫)					
海外での活動					
期間	国名	概要			

researchmap ; https://researchmap.jp/Shin_Nishiumi

高林 裕

学位				
学士（環境デザイン学）、修士（学術）、博士（農学）				
専門分野				
景観生態学				
研究課題				
鳥類を指標とした都市および都市近郊における緑化空間におけるランドスケープ研究				
教育活動				
担当授業（大学）				
入門ゼミ,環境科学基礎実習(講義を含む),演習Ⅰ,演習Ⅱ,卒業研究,クローバーゼミ,自然観察入門,ランドスケープデザイン論,植物生態学,生態学実習Ⅰ(講義を含む),生態学実習Ⅱ(講義を含む)				
担当授業（大学院）				
人間科学合同演習Ⅰ,人間科学合同演習Ⅱ,人間科学合同演習,景観生態学特論				
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要	
建築プログラムにおけるコーディネートの役割	2025.4.1-	B25生・関連する教職員	建築プログラムに関連する行事や連絡事項の伝達に携わっている。	
講義内容の理解促進と学習のフィードバックのための工夫	2025.4.1-	Sc164(2)ランドスケープデザイン論・Sc234(2)植物生態学の受講生	講義の中でその回における感想を書く課題を課し、次の講義の冒頭にて無記名でその内容を全体に共有することで、講義内容の質疑のフィードバックを毎回実施している。また、講義の資料（レジュメ・パワーポイントによって作成した資料）はすべてMoodleにアップロードしている。	
実習科目・卒業研究等のフィールドワーク実践における工夫	2025.4.1-	Sc131(2)_C 自然観察入門 Cクラス, ES119(1)(2)環境科学基礎実習・Sc370(1) 生態学実習Ⅰ・Sc379(2) 生態学実習Ⅱ・ES392a_F 演習Ⅰ a Fクラス・ES392b_F 演習Ⅰ b Fクラス・ES493_F 卒業研究 Fクラスの受講生	できる限り学生自身が調査スキルを習得し、自発的かつ安全にフィールドワークを実践できるようになるよう、調査におけるノウハウを伝えるのは最低限に抑えつつ、学生自身が五感を使って気づきを得られるように学びの余白を残した指導を心掛けている。また可能な限り学生のフィールドワークには同行し、自発的な学びの一助となるような助言を心掛けている。	
研究活動				
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等
著書・CD				
学術論文				
i-Tree Ecoによる街路樹の生態系サービス評価と推定精度の分析（査読あり）	2025.2	ランドスケープ研究（オンライン論文集）18	共	植地俊輔/ 福井亘/ 高林裕。pp.135-144
学会発表				
「源氏物語における表現からみた鳥類の文化的価値の整理」	2025.5.16-18	2025年度日本造園学会 全国大会 ポスター発表	共	共同/岡未来, 福井亘, 高林裕。
「八代集の和歌表現に見る鳴く虫の生息条件と鳴く虫に対する歌人の認識の分析」	2025.5.16-18	2025年度日本造園学会 全国大会 ポスター発表	共	共同/内田裕菜, 福井亘, 高林裕。

「野鳥生息地としての多摩地域二次林の環境に関する考察」	2025.5.16-18	2025年度日本造園学会 全国大会 ポスター発表	共	共同/崔麗華, 國分優孝, 高林裕, 福井亘。		
ミニフォーラム「持続可能な街路樹の管理に向けて」: 記録係	2025.5.16-18	2025年度日本造園学会 全国大会				
「岡田山を中心とした周辺の住宅地における夏から秋にかけてのハシブトガラス及びハシボソガラスの分布」	2025.10.25-26	2025年度日本造園学会 関西支部大会 ポスター発表	共	共同/伊東愛美, 高林裕。		
「岡田山における薬草としてのドクダミ分布」	2025.10.25-26	2025年度日本造園学会 関西支部大会 ポスター発表	共	共同/前野ゆず, 高林裕。		
「グラングリーン大阪の冬から初夏における鳥類相について」	2025.10.25-26	2025年度日本造園学会 関西支部大会 口頭発表	共	共同/千原朋也, 福井亘, 植地俊輔, 高林裕。		
その他の研究発表、演奏						
学部別集会「"都市"の"自然"としての街路樹と鳥類に関するランドスケープ研究」	2025.7.18	学部別集会	単	学部別集会における研究発表		
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
鳥類による空間利用に影響する街路樹の分析	日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究		代	500	2025	2027
学内研究助成金						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
2022.4-2026.4現在	日本緑化工学会 評議員					
2023.6-2026.4現在	日本造園学会, 論文集編集委員会, 委員					
2023.11-2026.4現在	日本緑化工学会, 大会号(論文部門) 編集幹事					
2024.6-2026.4現在	日本造園学会ランドスケープ遺産インベントリー委員会, 委員					
2024.11-2026.4現在	日本造園学会街路樹研究推進委員会, 幹事					
2025.6-2026.4現在	日本造園学会, 学術委員会, 委員					
2025.11-2026.4現在	日本緑化工学会, 企画事業部会, 委員					
社会貢献活動						
公開講座						
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要		
令和7年(2025)年甲東公民館講座 街路樹と鳥類に関するランドスケープ研究～身近な自然の見方を変えてみる～	2025.11.10	甲東公民館	単	内容/甲東公民館における市民講座にて街路樹や鳥類に関する市民講座を実施した。		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名等					
海外での活動						
期間	国名	概要				

researchmap ; https://researchmap.jp/y_takabayashi

高木 俊人

学位			
学士（理学），修士（理学），博士（理工学）			
専門分野			
集団遺伝学			
研究課題			
野生生物の集団遺伝構造形成過程の解明			
教育活動			
担当授業（大学） 演習Ⅰ, 演習Ⅱ, 卒業研究, 地域活性化総合実習, 生物有機化学, 生命環境データサイエンス基礎, 生命科学基礎実習(講義を含む), バイオサイエンス基礎実習(講義を含む), 生命環境データサイエンス応用			
担当授業（大学院） 人間科学合同演習Ⅰ, 人間科学合同演習Ⅱ, 人間科学合同演習, 応用生命科学特論			
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要
プレスリリース：沖縄県やんばる地域で発見されたニホンジカの由来を解明 — 遺伝解析で明らかとなる国内外来種の移動経路—	2026.3	学生、教職員、一般市民	和文誌に掲載された研究成果について、大学生にとってもわかりやすい文章で解説した。 https://www.kobe-c.ac.jp/news/260306pres/
プレスリリース：奈良公園の宝石はシカ集団の孤立・断片化によって生まれた！？	2025.5	学生、教職員、一般市民	国際誌に掲載された研究成果について、大学生にとってもわかりやすい文章で解説した。 【神戸女学院大学・福島大学】奈良公園の宝石はシカ集団の孤立・断片化によって生まれた！？.pdf
生命環境データサイエンス基礎	2025.7	大学生	現役で活躍するサイエンスライターのいわさきはるか氏をゲスト講師として招き、テキストコミュニケーションの手法について講義いただいた。同時に、授業内容を学部HPで紹介するWEB記事の作成を学生課題とし、実践的な学びの場を提供した。 https://b.kobe-c.ac.jp/news/2025/07/14/post_103.html
生命環境データサイエンス応用	2025.6	大学生	野生動物の保護管理を担う民間企業に勤めている林航平氏をゲスト講師として招き、クマやシカなどの管理手法について、実際の業務の用具や動画などを見せながら講義いただいた。 https://b.kobe-c.ac.jp/news/2025/06/24/post_96.html

研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
学術論文						
「近畿地方のニホンジカとオオセンチコガネの遺伝構造から読み解く人間活動の歴史的な影響」(査読あり)	2025.5	地球環境, 30	共	共著/高木俊人, 荒木祥文, 兼子伸吾. pp53-62.		
「奈良県天川村におけるヒメヒミズの確認記録とそのミトコンドリアDNA ハプロタイプ」(査読あり)	2025.9	紀伊半島の野生動物, 15	共	共著/高木俊人, 高野彩子, 上野山菜月. pp1-5.		
DNA 解析で迫る! 茨城のシカはどこからやってきた?	2025.12	森林野生動物研究会誌, 50	共	共著/永田純子, 高木俊人, 兼子伸吾. pp. 67-68		
"Maternal lineage of rewilded swine in Fukushima contributes to faster introgression in wild boar populations" (査読あり)	2026.1	Journal of Forest Research	共	共著/Anderson, D., Takagi, T., Ishiniwa, H., & Kaneko, S.		
"A non-native sika deer found in the Yambaru region of Okinawa-jima Island, southern Japan, exhibits a genotype originating from northern lineage" (査読あり)	2026.3	Mammal Study	共	共著/Takagi, T., Nagata, J., Nakata, K., Kaneko, S., Tamate, H. B., & Watari, Y.		
学会発表						
「国内外来種ニホンジカ ～あなたの周りのシカはどこから?～」	2025.8.22-25	日本哺乳類学会2025年度大会	共	共同/高木俊人, 兼子伸吾, 永田純子		
「ツキノワグマにおけるY染色体SSRマーカー開発」	2025.12.6-7	日本生態学会東北地区第70回大会	共	共同/箱崎惇太郎, 大西尚樹, 遠藤優, 高木俊人, 兼子伸吾		
「広島県大久野島のアナウサギ集団はどのように形成されたのか?」	2025.12.6-7	日本生態学会東北地区第70回大会	共	共同/奈良岡胡春, 高木俊人, 小室宗士, 兼子伸吾		
「遺伝解析と文献調査で明らかにする国内外来種ニホンジカの実態」	2025.12.19-21	第30回「野生生物と社会」学会大会	共	共同/高木俊人, 兼子伸吾, 永田純子		
"Sacred or ordinary? Genetic evidence for population replacement risk after over a millennium of protection"	2026.2.10-14	11th International Deer Biology Congress	共	共同/Takagi, T., Torii, H., Kaneko, S., Tamate, H. B.		
"Genetic disturbance of sika deer (<i>Cervus nippon</i>) progressing across the Japanese archipelago"	2026.2.10-14	11th International Deer Biology Congress	共	共同/Nagata, J., Takagi, T., Kaneko, S.		
「北関東地域のニホンジカの遺伝子型とその分布」	2026.3.6	第23回とちぎ野生動物研究交流会	共	共同/高木俊人, 丸山哲也, 玉城陸, 兼子伸吾, 永田純子		
「遺伝情報にもとづくニホンジカの広域管理の課題と展望: 長野県の事例から」	2026.3.16-19	第137回日本森林学会	共	共同/熊瀬卓己, 高木俊人, 兼子伸吾, 永田純子, 瀧井暁子, 泉山茂之, 黒江美紗子, 津田吉晃		
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
大型野生哺乳類における遺伝的攪乱の実態解明: 指定管理鳥獣の人為的導入の影響評価	日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究		代	1,600	2025	2027

国際的保護管理策提案に向けたアジア大陸全域におけるツキノワグマの保全ゲノミクス	日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B)	分	1,000	2025	2027
遺伝情報を用いたニホンジカ分布拡大プロセスの解明	日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C)	分	400	2025	2027
学内研究助成金					
その他 (著書、学術論文以外) の執筆および訳書					
「静岡市で採取されたニホンジカの変形角」	2026.3	自然史しずおか 92号	単	単著/高木俊人。pp8	
自然共生サイト 神戸女学院 愛神愛隣の森 -150周年を迎えた伝統校が目指す未来-	2026.3	SuSPCA持続コン協会報 No.100	単	単著/高木俊人。pp72-77。	
学会役員					
就任期間	学会役員名				
2022.9-現在	日本哺乳類学会 哺乳類保護管理専門委員会 シカ部会				
2023.4-2026.3	日本生態学会 大会企画委員 ポスター部会				
2025.4-現在	Journal of Asia-Pacific Biodiversity, Subject Editors				
社会貢献活動					
公開講座					
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要	
子どもサイエンス体験「DNAってなんだろう？」	2025.8.5	神戸女学院大学	単	内容/子どもサイエンス体験。主催/神戸女学院大学 生命環境学部	
「うさぎのしま」出版記念トークイベント	2025.8.30	奈良蔦屋書店	共	内容/絵本作家との野生生物に関する研究トークショー。主催/奈良蔦屋書店	
学外機関委員等					
就任期間	機関名・委員名・役職名等				
その他社会活動上特記すべき事項					
西宮市立甲東小学校校外学習自然観察会講師 2025.5.7 (本学谷門の森)					
西宮市立甲東小学校校外学習自然観察会講師 2025.7.9 (本学谷門の森)					
西宮市立門戸幼稚園どんぐり拾い指導 2025.10.14 (本学構内)					
西宮市立甲東小学校どんぐり拾い指導 2025.11.4 (本学構内)					
西宮市立甲東小学校校外学習自然観察会講師 2025.11.12 (本学谷門の森)					
西宮市立甲東小学校校外学習自然観察会講師 2026.1.13 (本学谷門の森)					
海外での活動					
期間	国名	概要			

researchmap ; https://researchmap.jp/toshihito_takagi

小坂 美保

学位			
学士（教育学）, 修士（教育学）			
専門分野			
スポーツ社会学, 体育学, 体育科教育学			
研究課題			
身体の近代化に関する研究			
教育活動			
担当授業（大学）			
初期神戸女学院, 健康スポーツ科学, 生涯スポーツコース(健やかさ再考[講義]), 生涯スポーツコース(スポーツと社会[講義]), 生涯スポーツコース(ネット型スポーツ), 生涯スポーツコース(フィットネス)			
担当授業（大学院）			
-			
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要
健康スポーツ科学	2025.4-2026.3	学生	<ul style="list-style-type: none"> ・教育内容の工夫 学生の運動スキルに関わらず、一人ひとりが「自分にあった運動やスポーツ」を発見できるよう、多様な運動・スポーツ種目を取り扱うカリキュラムを設計した。これにより、大学卒業後の生涯スポーツへの参画を促す意識付けを行った。 ・教育方法の工夫 実技内でのペアワークやグループワークの編成にあたっては、意図的にくじ引き等によるランダムなグループ分けを多用した。学生同士の多様な交流を生み出すことで、実技を通じたコミュニケーション能力や協働性を育む授業運営に努めた。 ・教材、課題の工夫 学びの質を保証するため、毎時間、授業前にオリジナルの学習資料をMoodleに掲載し、事前・事後の見通しを持たせた。授業内では「活動記録表」を活用し、心拍数や歩数を記録することで学生自身が自らの活動量を客観的に数値化・把握できるようにした。さらに、毎時間の振り返り課題を課すことで、各自の運動を理論的・客観的にリフレクションできるようにした。 ・インクルーシブな環境づくり 心身の状況や障害、運動経験の差など、特別な配慮が必要な学生に対しては、必要に応じて事前に個別の内容確認や面談を行い、すべての学生が孤立せず、安心して主体的に授業へ参加できる安心・安全な環境づくりを心掛けた。
健康スポーツ科学・生涯スポーツコース	2025.4-2026.3	教員	<ul style="list-style-type: none"> ・本科目のコーディネーターとして 複数クラスの円滑な運営と教育の質保証のため、各担当教員が安心して実技指導に専念できる環境づくりを主導した。具体的には、各講師のシラバス記載内容の事前確認・整合性の確保、限られた学内施設における授業場所の適切な調整、および期末試験に関する基準や実施手順の情報提供など、多角的な支援体制を構築した。これにより、非常勤講師との緊密な連携を図り、科目全体における教育水準の平準化と円滑な組織運営に貢献した。

スポーツと社会	2025.4-7	学生	<p>・教育方法について</p> <p>○視覚的教材の活用による受講生の関心喚起 スポーツへの関心が必ずしも高くない学生に対しても学問的な興味・関心を誘発できるように、授業デザインの工夫を行った。毎時間、オリジナルの講義資料を作成するとともに、視覚的な動画資料や具体的な社会的事例を多く取り入れることで、抽象的な理論を直感的に理解し、身近に引き寄せて考察できるようアプローチした。</p> <p>○フィードバックによる学習支援 学生との双方向的な対話と学修の定着を重視し、毎回の授業で課しているレポートに対しては、個別にコメントを付して次回の授業時等に返却した。個々の思考に対してフィードバックを継続することで、学生のモチベーション維持と記述力の向上を促した。</p> <p>○受講生の背景に配慮した授業の実施 本科目は、諸事情により必修の体育実技を履修することが困難な学生の「読替科目」としての役割も担っている。そのため、精神的・身体的な理由から集団行動や対人コミュニケーションに不安を抱える学生であっても安心して受講できるよう、あえてグループワーク等の集団活動は取り入れず、一人ひとりが自分のペースで思考を深め、安心して学問に向き合える個別完結型の受講環境を徹底して整備した。</p>
ネット型スポーツ（生涯スポーツコース）	2025.4-7	学生	<p>・教育内容の工夫</p> <p>ネット型スポーツの授業運営において、特定の1種目のみに限定せず、「テニス」「バドミントン」「卓球」「バレーボール」といった代表的な種目を幅広く取り扱う授業デザインを実践した。</p> <p>多様な種目に触れる機会を設けることで、学生が自らの適性に応じたスポーツの魅力を多角的に発見できる環境を整えた。また、技術的な障壁を低くし、誰もが「楽しく主体的・能動的に受講できる環境づくり」に努め、実技を通じた心身のリフレッシュとコミュニティ形成を促した。</p>
健やかさ再考	2025.9-2026.3	学生	<p>・教育内容・方法について</p> <p>ウェルビーイングを多角的に考察する本科目においては、学生が健康を「自分ごと」として主体的に捉え、実践につながられるよう、体験・五感・客観的データを重視した授業を展開した。</p> <p>○グローバルな視点の導入とジェンダー・健康課題へのアプローチ 健康を身近な問題として相対化するため、世界の多様な国々における健康増進の取り組みや政策を紹介した。また、ライフステージにおける重要な課題として「女性特有の生理（月経）」に関する講義回を設けた。その際、概念的な説明にとどまらず、多様な生理用品（次世代型サニタリー製品等）の実物を教室内に提示し、学生が手に取って構造や選択肢を確認できる機会を設けることで、リプロダクティブ・ヘルス（性と生殖に関する健康）への深い相互理解とリテラシー向上を促した。</p> <p>○客観的データに基づく自己身体の可視化 自らの身体状態を科学的に把握するため、授業内に「体組成測定」「骨密度測定」「ロコモ度チェック（移動機能低下の評価）」などの簡易測定セッションを導入した。数値を客観的に確認・分析させることで、将来的な健康リスクへの気づきを与え、行動変容を促す工夫を行った。</p> <p>○ヘルシーキャンパスの理念に基づくフィールドワークの実施 都市全体で健康な環境づくりを目指す「ヘルシーシティ」の精神に基づき、ヘルシーキャンパスを考えると教室内での座学にとどまらない校内散策（キャンパス・フィールドワーク）を実施した。学生とともに学内を歩きながら、運動・リフレッシュなどの観点から「学生の健康にとって有益な場所」を共に見出し、確認し合うことで、日常の学生生活空間と健康増進を結びつける実践的な教育を試みた。</p>

フィットネス（生涯スポーツコース）	2025.9-2026.3	学生	<p>・教育内容について</p> <p>本科目においては、学生の顕著な運動不足解消と健康維持増進（ウェルビーイングの向上）を主たる目標に掲げ、有酸素運動を中心とした多面的なプログラムを展開した。特定の運動様式に限定せず、ミニランポリン、ステップ台、バランスボールを用いた多様なエクササイズをはじめ、エアロビクスや自重等による筋力トレーニング（レジスタンストレーニング）など、バリエーション豊かな運動種目を体系的に紹介・実践した。これにより、学生が単調さを感じることなく、個々の体力レベルや興味に合わせて主体的に身体を動かせる環境を整えた。</p> <p>授業運営を通じて、各自が自身の身体特性や好みに適したフィットネス技法を発見できるようアプローチし、大学生活における当面の運動不足を解消するだけでなく、生涯にわたって自発的に健康管理・運動実践を継続するための確かな動機付け（ライフスタイルへの定着）に努めた。</p>			
研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
公園の運動場化と身体	2025.6.22	日本体育社会学会第3回大会	単			
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
2024.4-現在	兵庫県体育・スポーツ科学学会 理事					
2022.4-現在	西日本スポーツ社会学会 世話人					
社会貢献活動						
公開講座						
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要		
福祉レク・ネット大阪10月研修会	2025.10.6	東成区民センター	単	内容/クリスマスに向けたレクリエーション(ゲーム、クラフト)の紹介。主催/福祉レク・ネット大阪。		
学外機関委員等						
就任期間	機関名・委員名・役職名等					
2025.4-2026.3	国庫補助事業令和7年度地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業 地域スポーツ推進団体連絡会議 委員					
2025.4-2026.3	令和7年度総合型地域スポーツクラブ兵庫県協議会登録審査委員会 委員					
2025.4-2026.3	令和7年度部活動地域移行推進委員会(兵庫県) 委員					
2025.4-2026.3	芦屋市部活動の地域展開推進会議 委員					
2025.4-2026.3	西宮市スポーツ推進会議 委員(委員長)					
2025.4-2026.3	加古川市スポーツ推進会議 委員					
2024.11-2025.11	全国体育学習研究協議会 広報委員(委員長)					
2025.4-2026.3	西猪名公園管理運営協議会 委員(副委員長)					
2025.4-2026.3	部活動の地域移行のあり方検討委員会(神戸市) 委員					

その他社会活動上特記すべき事項		
2025.4-2026.3 福祉レクリエーション・ネットワーク大阪事務局長		
海外での活動		
期間	国名	概要

安田 友紀

学位						
学士（体育学）、修士（スポーツ科学）						
専門分野						
体育学、ダンス（ダンス・ムーブメント・セラピー）、アダプテッド・スポーツ						
研究課題						
インクルーシブダンスにおける実践研究～地域交流事業としての評価検討の試み～、インクルーシブな活動におけるダンスプログラムの展開、生徒主体型学習に有効な身体表現（ダンス）の教材開発						
教育活動						
担当授業（大学）						
-						
担当授業（大学院）						
-						
研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金						
学会役員						
就任期間		学会役員名				
社会貢献活動						
公開講座						
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要		
地域公開講座 特別支援教育教育講演会 ～障害児・者の正しい理解と適切な支援 を行うために～	2026.3.22	大阪体育大学	共	内容/ダンス公演「アマカマ・ドゥ」 指導。主催/大阪体育大学。		
学外機関委員等						
就任期間		機関名・委員名・役職名等				
2016.04-現在		大阪女子体育連盟 理事				
その他社会活動上特記すべき事項						
2005.04-現在 障がい児・者を主としたダンスグループ(Dance Assemble アマカマ・ドゥ)におけるダンス指導						
海外での活動						
期間	国名	概要				

備考：2025.4-2026.3 休業

Margaret KIM

学位						
B.A., M.A.						
専門分野						
英語教育 (TESOL)						
研究課題						
cross cultural communication						
教育活動						
<u>担当授業 (大学)</u>						
Communication in English, Communication in English(II), English Honors (II)						
<u>担当授業 (大学院)</u>						
-						
その他教育活動上特記すべき事項		年月	対象者	概要		
For GE270 Honors class, I invited guests speakers to talk about human trafficking as well as other related topics of student`s interests.						
研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
学術論文						
"Promoting Cross-Cultural Integration: A comparative analysis of Japanese and international students in integrated language classes "	2025.6	Thai TESOL Journal	共	Gordy Carlson, John Jackson, Brian Nuspliger, Evelyn Toth. pp.85-110		
"Microaggressions in Japan: Foreign-Origin University Students` Lived Experiences and Metapragmatic Reflections"	2025.12.15	Journal of Intercultural Studies, Taylor and Francis	共	Gregory Paul Glasgow. pp.1-19		
学会発表						
"Developing Inclusive Workplaces: A DEI Workshop on Microaggressions"	2025.5.17	PanSIG Conference	共	May Kyaw Oo, Shawna M. Carroll, Gretchen Clark, Gregory Glasgow, Sachiko Nakagome, Yaya Yao		
"Becoming Someone Else: How Actors Can Transform Their Identities"	2025.10.4	LOTE Conference 2025	共	Donna Fujimoto, Amanda Giles-Furutaka		
"Lessons in the Classroom: Teaching in Culturally Integrated ESL Classes"	2025.4.27	Osaka JALT Back to School	共	Gordon Carlson, John Jackson, Brian Nuspliger, Evelyn Toth.		
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元		代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度
学内研究助成金						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
2024.4 - present	Asian Conference for Innovation in Education					

社会貢献活動				
公開講座				
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名等			
その他社会活動上特記すべき事項				
2016 -present Kansai SIETAR committee member: co-chair and co-program coordinator				
海外での活動				
期間	国名	概要		
2022.4 to present	Thailand	Thai Internship: train Otemae students to teach language and culture to Mahidol Wittayanusorn School students.		

田岡 千明

学位			
学士（文学），修士（英文学），M.A., Ph.D.			
専門分野			
認知言語学, 英語教育			
研究課題			
英語検定試験対策・指導法の研究			
教育活動			
担当授業（大学）			
English for International Communication(Ⅰ), Reading and Writing English, English Honors(Ⅰ), English Workshop, English for International Communication(Ⅱ), Academic English for TOEFL and IELTS, English in Practice(Ⅱ), Advanced TOEIC Preparation			
担当授業（大学院）			
-			
その他教育活動上特記すべき事項	年月	対象者	概要
GE152(1)各種テスト・資料のMoodle上での準備	2025.04-2025.07	GE152(1)受講生・担当 教員	コーディネーターとして教材や資料を準備して各Moodleクラスに配置した。統一テストの作成も行った。
GE153(1)各種テスト・資料のMoodle上での準備	2025.04-2025.07	GE153(1)受講生・担当 教員	コーディネーターとして教材や資料を準備して各Moodleクラスに配置した。統一テストの作成も行った。
GE231(1)各種テスト・資料のMoodle上での準備	2025.04-2025.07	GE231(1)受講生・担当 教員	コーディネーターとして教材や資料を準備して各Moodleクラスに配置した。
GE131(2)各種テスト・資料のMoodle上での準備	2025.09-2026.01	GE131(2)受講生・担当 教員	コーディネーターとして教材や資料を準備して各Moodleクラスに配置した。統一テストの作成も行った。
GE161(2)各種テスト・資料のMoodle上での準備	2025.09-2026.01	GE161(2)受講生・担当 教員	コーディネーターとして教材や資料を準備して各Moodleクラスに配置した。統一テストの作成も行った。
GE261(2)各種テスト・資料のMoodle上での準備	2025.09-2026.01	GE261(2)受講生・担当 教員	コーディネーターとして教材や資料を準備して各Moodleクラスに配置した。
TOEICオンラインラーニングオリエンテーションと説明会	2025.05	GE231(1)受講生・担当 教員	5月2週目の週に、一週間GE231(1)の各クラスを回り、TOEICオンラインラーニングの使用方法についてのオリエンテーションを行った。
留学のための英語資格検定(TOEFL/IELTS)について説明動画の作成	2025.06	全学科・全学年	留学する際に必要となる英語検定試験であるTOEFLとIELTSについてその違いや準備方法について、約35分の動画を作成した。
留学に必要な英語検定試験情報のMoodle掲載	2025.04-2026.03	全学科・全学年	共通英語教育研究センターのMoodleコース上にTOEFLとIELTSの受験情報をまとめたトピックを作成した。
GE153(1)RRクラスについてのミーティング	2026.01.07	GE153(1)RRクラス担当 教員	2026年度新設の当該科目について担当教員と概要・進捗・評価について意見交換を行った。
非常勤講師対象オリエンテーションオンラインミーティング	2026.03.06	2026年度 GE152(1)GE161(2)担当 教員	GE152(1)・GE161(2)担当教員を対象として、2026年度当該科目の概要・進捗・評価について説明・意見交換を行うミーティングを開催した。

非常勤講師対象オリエンテーションオンラインミーティング	2026.03.06	2026年度 GE153(1)GE131(2)担当 教員	GE153(1)・GE131(2)担当教員を対象として、2026年度当該科目の概要・進捗・評価について説明・意見交換を行うミーティングを開催した。			
非常勤講師対象オリエンテーションオンラインミーティング	2026.03.06	2026年度 GE231(1)GE261(2)担当 教員	GE231(1)・GE261(2)担当教員を対象として、2026年度当該科目の概要・進捗・評価について説明・意見交換を行うミーティングを開催した。			
研究活動						
名称	発行(開催)年月	発行、開催	単/共	共著者、共同発表者、共演者、担当頁等		
著書・CD						
学術論文						
学会発表						
学外研究助成金 (支給額は当該年度の直接経費配分額)						
研究タイトル	助成金種類、支給元	代/分	支給額(千円)	開始年度	終了年度	
学内研究助成金						
学会役員						
就任期間	学会役員名					
社会貢献活動						
公開講座						
講座名、講演名	年月	場所	単/共	概要		
「TOEFL iBTテストスキルアップセミナー (大学コンソーシアム京都)」	2025.05.17	オンライン(Zoom)による実施	単	内容/TOEFL iBT受験予定・経験者向けに、テストに関する基本情報とスコアアップに向けてのより効果的な学習方法についての解説と指導を行った。3時間の講座。主催/ETS Japan、大学コンソーシアム京都		
「TOEFL ITPからTOEFL iBTへジャンプ! TOEFL iBT80を目指す! ステップアップセミナー」	2025.05.22	オンライン(Zoom)による実施	単	内容/TOEFL ITP®を受験したことがあり、今度TOEFL iBT®に挑戦しようとしている初級者向けの90分のセミナー。ITPでの知識を4技能試験のiBTにどう生かすか、主に勉強法について指導・解説した。主催/ETS Japan		
「英語ライティング講座1」	2025.07.12	オンライン(Zoom)による実施	単	内容/小林聖心女子学院の中学3年生から高校3年生の希望者を対象に、適切な単語や文法、論理的な構成を用いて自分の考えを英語で効果的に表現する方法を指導する2時間の講座。第1回目は「英語検定試験におけるWriting」「100語パラグラフを300語エッセイの書き方」「論理的に書くとは」というトピックを扱った。主催/小林聖心女学院		

「英語ライティング講座2」	2025.09.06	オンライン(Zoom)による実施	単	内容/小林聖心女子学院の中学3年生から高校3年生の希望者を対象に、適切な単語や文法、論理的な構成を用いて自分の考えを英語で効果的に表現する方法を指導する2時間の講座。第2回目は「議論型英作文」「文法・語法の確認」「オンラインツールを使用した学習法」というトピックを扱った。主催/小林聖心女学院
「英語ライティング講座3」	2025.10.04	オンライン(Zoom)による実施	単	内容/小林聖心女子学院の中学3年生から高校3年生の希望者を対象に、適切な単語や文法、論理的な構成を用いて自分の考えを英語で効果的に表現する方法を指導する2時間の講座。第3回目は「説明型英作文」「語数を増やすには」「エッセイで使える表現」というトピックを扱った。主催/小林聖心女学院
「英語ライティング講座4」	2025.10.25	オンライン(Zoom)による実施	単	内容/小林聖心女子学院の中学3年生から高校3年生の希望者を対象に、適切な単語や文法、論理的な構成を用いて自分の考えを英語で効果的に表現する方法を指導する2時間の講座。第4回目は「サマリー型英作文」「ライティングの重要テクニック」「paraphrasingについて」というトピックを扱った。主催/小林聖心女学院
「改訂版TOEFL iBTセクション別セミナー Writing」	2026.03.05	オンライン(Zoom)による実施	単	内容/2026年1月に改訂されたTOEFL iBTのWritingセクションについての概要と学習方法について解説する50分のオンラインウェビナー。主催/ETS Japan
「Teaching TOEFL iBT Skills Workshop」	2026.03.27	リファレンス大阪駅前第4ビル貸会議室	単	内容/英語教員を対象とした、TOEFL iBT テストの概要と学術英語の指導方法について解説するインタラクティブな4時間のワークショップ。主催/ETS Japan

学外機関委員等

就任期間	機関名・委員名・役職名等
2016.08-現在	ETS Authorized Propell® Facilitator (米国Educational Testing Service公認 TOEFL iBT テストトレーナー)
2017.09-現在	ETS TOEFL ITP® Teacher Development Workshop Facilitator (米国Educational Testing Service公認TOEFL ITPテストトレーナー)

海外での活動

期間	国名	概要